

町民アンケート結果（速報版）

1. 目的

- ニセコ町は、「ニセコ町まちづくり基本条例」に基づき、「住むことが誇りに思えるまち」を目指し、町民の「自治」を基本としたまちづくりを実践してきた。「自治創生」においても、同条例に基づくまちづくりの実践を基本として、多様なアプローチをかけて町民と協働し、町民意見の収集・反映を特に丁寧に進めていく。
- 「ニセコ町自治創生協議会」には公募の町民委員5名に参画いただいております、また、今後、（町民の投票により選定された）ニセコ町議会議員の議論をいただく予定であるものの、それらの取組だけでは、多種多様な町民意見を丁寧に収集・反映するには限界がある。
- 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（平成26年12月閣議決定）は、「まち・ひと・しごと創生」政策5原則の1つに「地域性」を掲げており、各地域の実態に合った施策に取り組むため、客観的データに基づき実状分析や将来予測を行うべき旨を示している。町民意見は、「地域性」の観点からも極めて重要。
- 町民アンケートは、まちづくりの主体である町民の意見を広く収集して客観的データとして取りまとめ、ニセコ町の地域性を反映した「ニセコ町総合戦略」を策定するために実施したもの。

2. 実施結果

（1）アンケートの対象者

- 「自治創生」は、ニセコ町が人口減少社会を克服し、将来にわたって豊かで魅力ある町をつくることを目指していることから、特に将来（「ニセコ町人口ビジョン」の将来推計の範囲（例えば2040年、2060年など（詳細は今後検討））を担う主体となる世代（現在15歳～49歳；約2,000人（うち外国人約100人））の町民を対象に実施した。
- なお、アンケート対象以外の町民の意見は、まちづくり町民講座、意見交換会などの場を積極的に設けるなど、アンケートとは別の方法により収集・反映する。

（2）集計結果（速報版）（別添参照）

ニセコ町アンケート分析結果

2015年10月28日

ニセコ町民の方から、440件の回答をいただきました

調査方法及び調査の概要

- 調査対象者、調査方法、調査実施時期、調査票配付数、有効回答件数、有効回収率は、次のとおりです。

調査対象者	15歳～49歳までの町民男女全員(外国人含む*)
調査方法	郵送法
調査実施時期	2015/8/26～9/9(外国人向けは2015/9/4～9/18)
調査表配布数	1,954件
有効回収件数	440件(うち外国人15件)
有効回収率	22.5%

*平成27年7月末現在で住基登録されている外国人

アンケート分析結果のまとめ

単純集計結果・クロス集計結果のまとめ

1. ニセコ町のまちについて

- 「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した人が、約8割を占めています。
- 住みやすい理由としては、「自然環境が豊かである」が最も多く、次いで「水や食べ物がおいしい」、「静かで落ち着いている」が続きます。
- 住みにくい理由としては、「日常の買い物がしにくい」が最も多く、次いで「病院等医療施設が充実していない」、「積雪量が多い、除雪が大変」が続きます。

2. ニセコ町の働きやすさについて

- 「働きやすい」、「どちらかといえば働きやすい」と回答した人が47.5%いる一方で、「働きにくい」、「どちらかといえば働きにくい」と回答した人が41.8%います。
- 男女別でみると、「働きやすい」と回答した人は男性のほうが女性よりも多くなっています。
- 働きやすい理由としては、「豊かな自然環境が活かせる」が最も多く、次いで「季節雇用等働き方を選択できる」、「通勤がしやすい」が続きます。
- 働きにくい理由としては、「長く安定して働ける場が少ない」が最も多く、次いで「季節雇用等不安定な職種が多い」、「子育てしながら働ける環境がない」が続きます。
- 女性が働きにくい理由としても、「長く安定して働ける場が少ない」が最も多くなっていますが、「子育てしながら働ける環境がない」が次に続いています。
- 働きやすさを向上するために取り組むべきこととしては、「安定した雇用先の確保」が最も多く、次いで「移住者への住宅あっせんや家賃補助等の移住支援」、「企業誘致の推進」が続きます。

3. 結婚について

- 回答者のうち「結婚している(既婚)」と回答した人は66.8%で、男女別でみると、男性は65.4%、女性は67.9%となっています。
- 結婚をしていない理由としては、「家族を養うほどの収入がない」が最も多く、次いで「結婚したいと思える相手がいない」、「まだ若すぎる」が続きます。
- 男女別でみると、男性の結婚していない理由としては「家族を養うほどの収入がない」が最も多く、女性では「結婚したいと思える相手がいない」が最も多くなっています。
- 行政が結婚を支援するために取り組むべきこととしては、「安定した雇用の確保」が最も多くなった一方で、「行政が関わる必要はない」が次いで多かったです。

4. 出産・子育てについて

- 子育てに対するイメージとして、「お金がかかる」が最も多くなっています。
- 回答者の理想的な子どもの数としては、「2人」が最も多く、平均値は2.33人となっています。
- 「現在の子どもの数」と「今後の子どもの数」を足した数が、「理想的な子どもの数」より少ない理由として、「高齢出産になる」が最も多く、次いで「子育てや教育にお金がかかる」、「未婚のため予定数が決まらない」が続きます。

アンケート分析結果のまとめ(前頁続き)

単純集計結果・クロス集計結果のまとめ(前頁続き)

5. 転入について

- 転入経験について、「ニセコ町以外の市区町村から転入した」と回答したが75.5%を占めています。
- 転入したきっかけとしては、「自分の仕事・事業のため(就職・起業・転職・退職・転勤等)」が最も多くなっています。
- 男性の転入したきっかけとしては「自分の仕事・事業のため(就職・起業・転職・退職・転勤等)」が最も多くなっています。
- 女性の転入したきっかけとしても「自分の仕事・事業のため(就職・起業・転職・退職・転勤等)」が最も多くなっていますが、次いで「自分の結婚のため」が続いています。
- ニセコ町に移住転入した際に魅力的と感じた点としては、「自然環境が豊かである」が最も多く、次いで「静かで落ち着いている」、「水や食べ物がおいしい」が続いています。

6. 転出について

- 定住意向として、「ニセコ町に住み続けたい」、「当分の間は住み続けたい」と回答した人は8割近くを占めています。
- 男女別でみると、「ニセコ町に住み続けたい」と回答した人の割合は、男性で44.5%と女性の32.1%を上回っています。
- 「できればほかの市町村に転出したい」、「転出する予定である」と回答した人が考える転出先としては、「札幌市内」が約4割で最も多くなっています。
- 転出を考える、又は転出を決めた理由としては、「自分の仕事・事業のため(就職・起業・転職・退職・転勤等)」が最も多くなっています。

7. 学生向け部分について

- 卒業後の進路希望としては、「進学」を希望する学生が46.9%と最も多く、次いで「就職(自営・家業を含む)」が40.6%で続いています。
- 将来の希望職種としては、「医療・福祉業」を希望する学生が最も多く、次いで「教員・研究員」が続いています。
- 卒業後の居住希望地としては、学生の4人に1人が「ニセコ町に住み続けたい」と回答しています。
- 学生が考える、ニセコ町に住み続けたり将来戻ってきたりするために必要なこととしては、「周辺自治体や都市圏への交通網の整備」が最も多く、次いで「買い物の利便性の向上」、「医療機関の充実」が続きます。

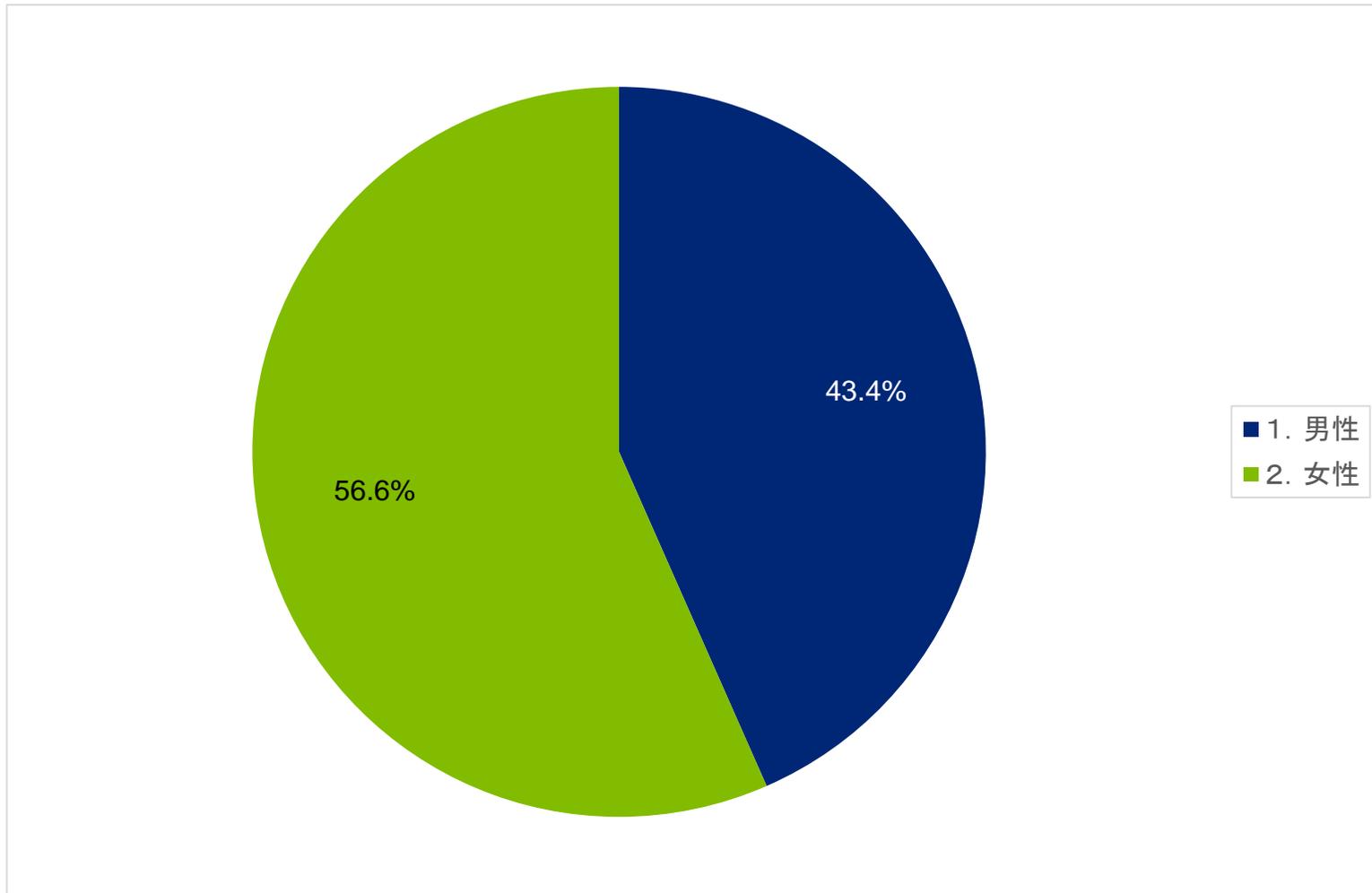
(1) 回答者属性情報

【問1(1)～(10)】

【問1(1)】

アンケートの回答者は「男性」43.4%、「女性」56.6%という結果となっています

図1 アンケート回答者_性別内訳



出所: ニセコ町町民アンケート

【問1(2)】

アンケート回答者の年齢内訳は、「35～49歳」が65%以上を占めています

図2 アンケート回答者_年齢別内訳

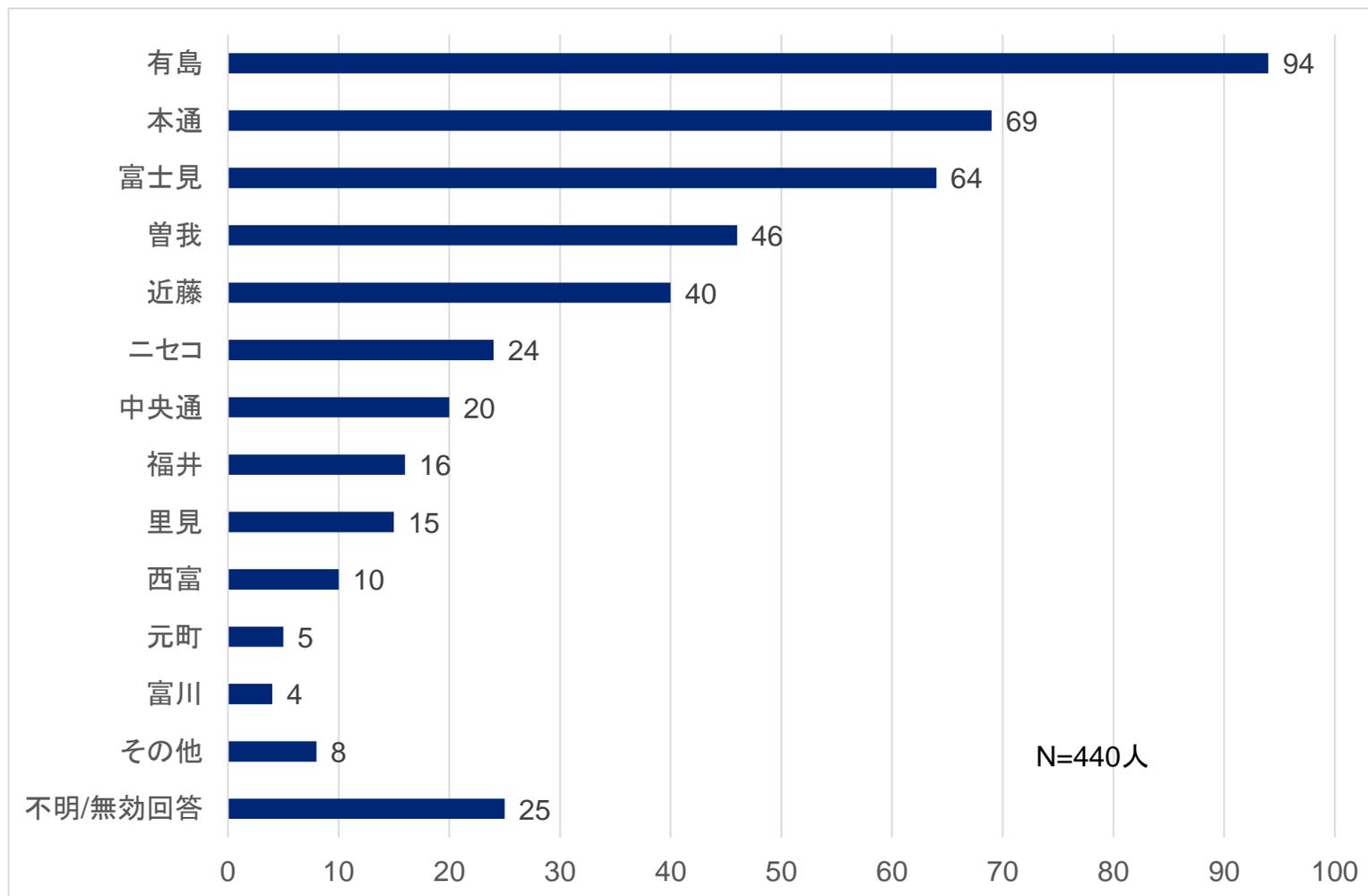
回答	人数	%
0～4歳	0	0.0
5～9歳	0	0.0
10～14歳	0	0.0
15～19歳	31	7.0
20～24歳	17	3.9
25～29歳	30	6.8
30～34歳	49	11.1
35～39歳	93	21.1
40～44歳	112	25.5
45～49歳	88	20.0
50～54歳	5	1.1
55～59歳	1	0.2
60～64歳	0	0.0
65～69歳	0	0.0
70～74歳	0	0.0
75～79歳	0	0.0
80～84歳	0	0.0
85～89歳	0	0.0
90歳～	0	0.0
不明/無効回答	14	3.2
合計	440	100.0

出所：ニセコ町町民アンケート

【問1(3)】

アンケート回答者の居住地内訳は、「有島」在住者が最も多くなっています

図3 アンケート回答者_居住地別内訳

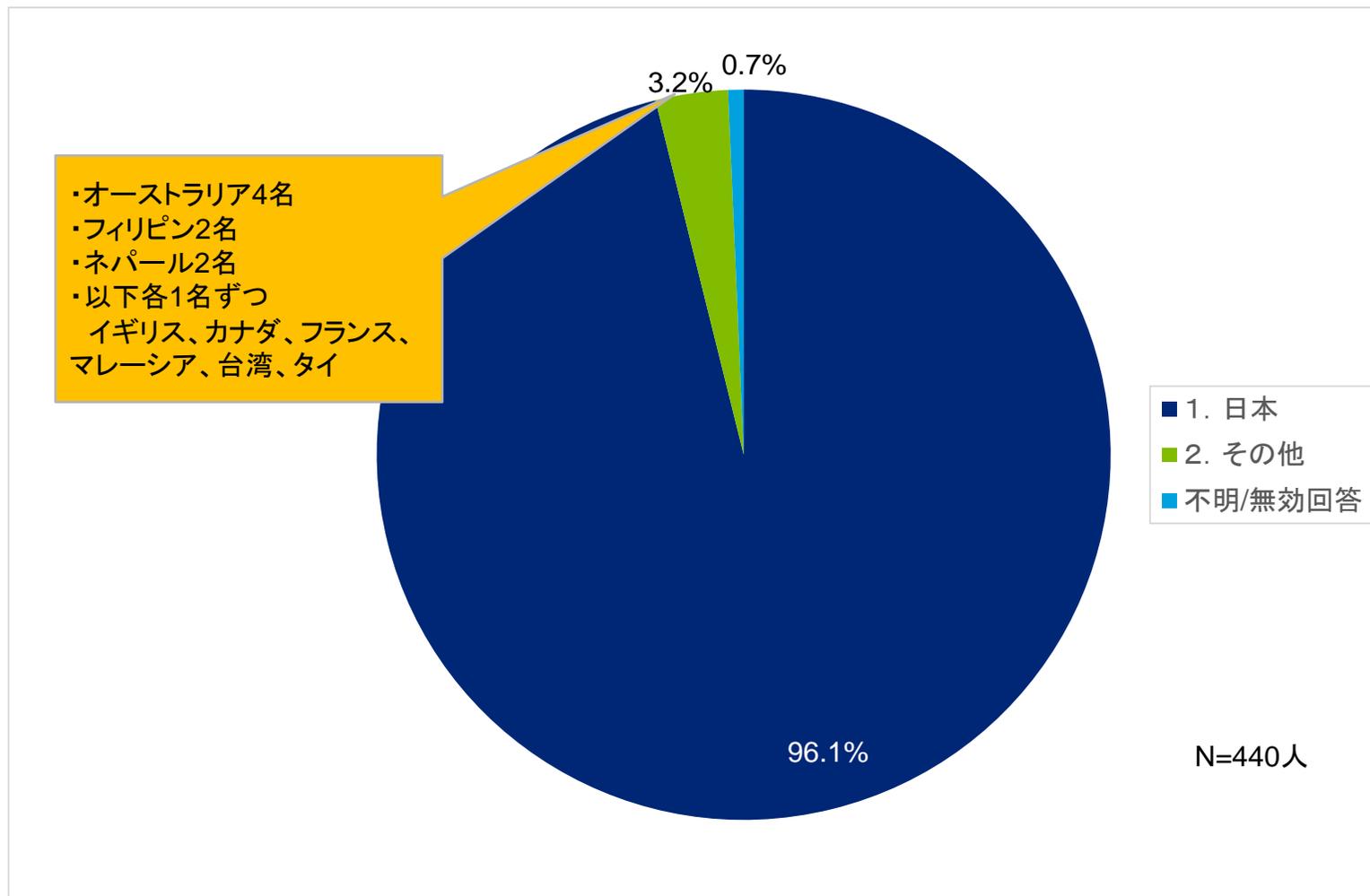


出所：ニセコ町町民アンケート

【問1(4)】

アンケート回答者の国籍は日本人を中心に、一部外国人からも回答をいただきました

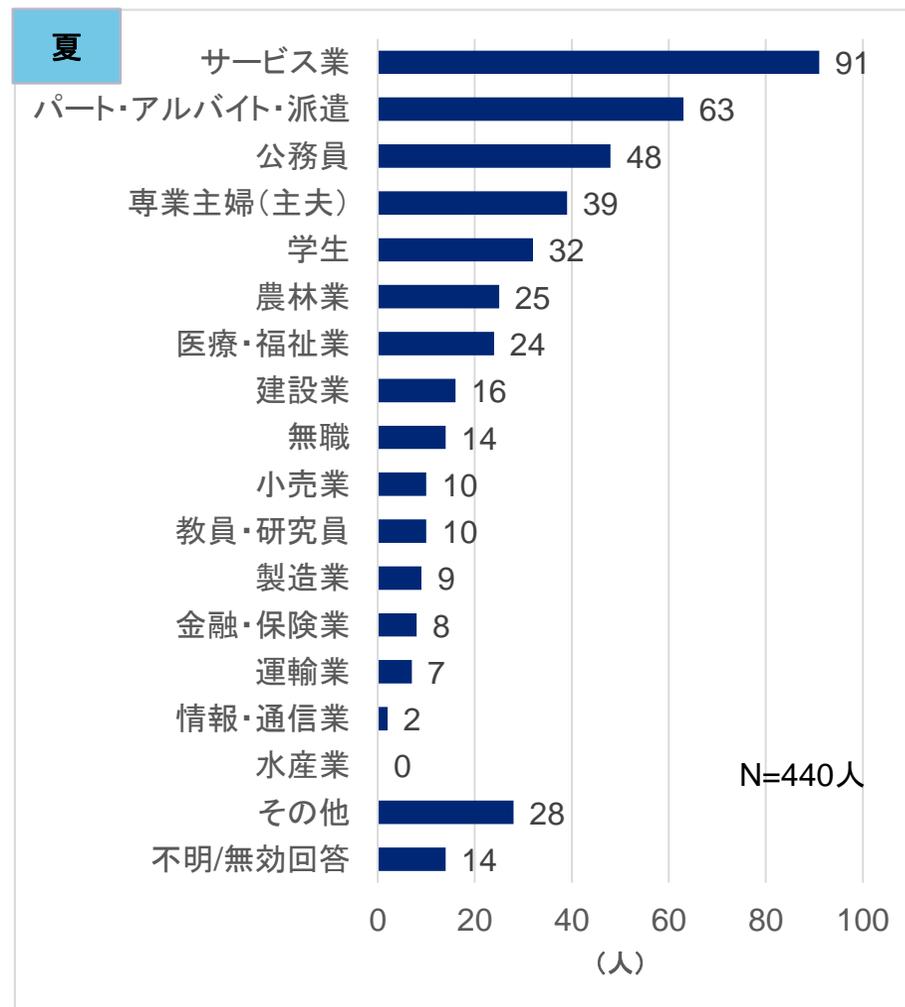
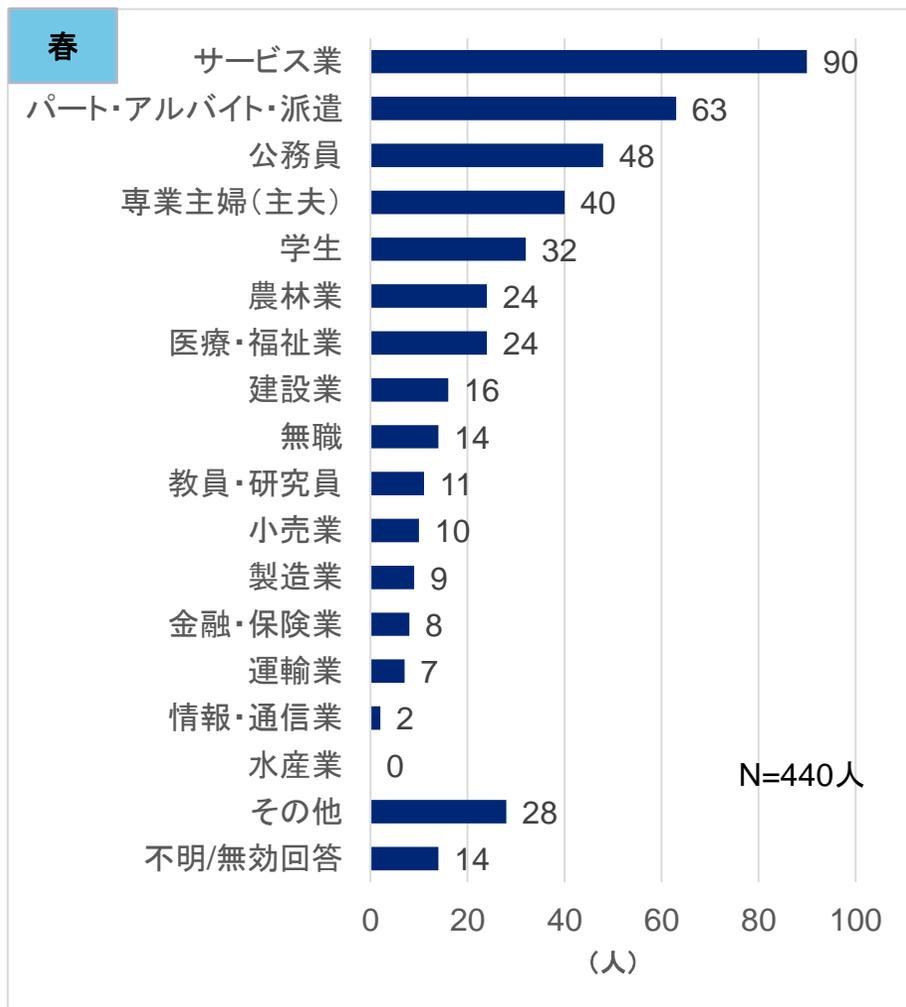
図4 アンケート回答者_国籍



出所：ニセコ町町民アンケート

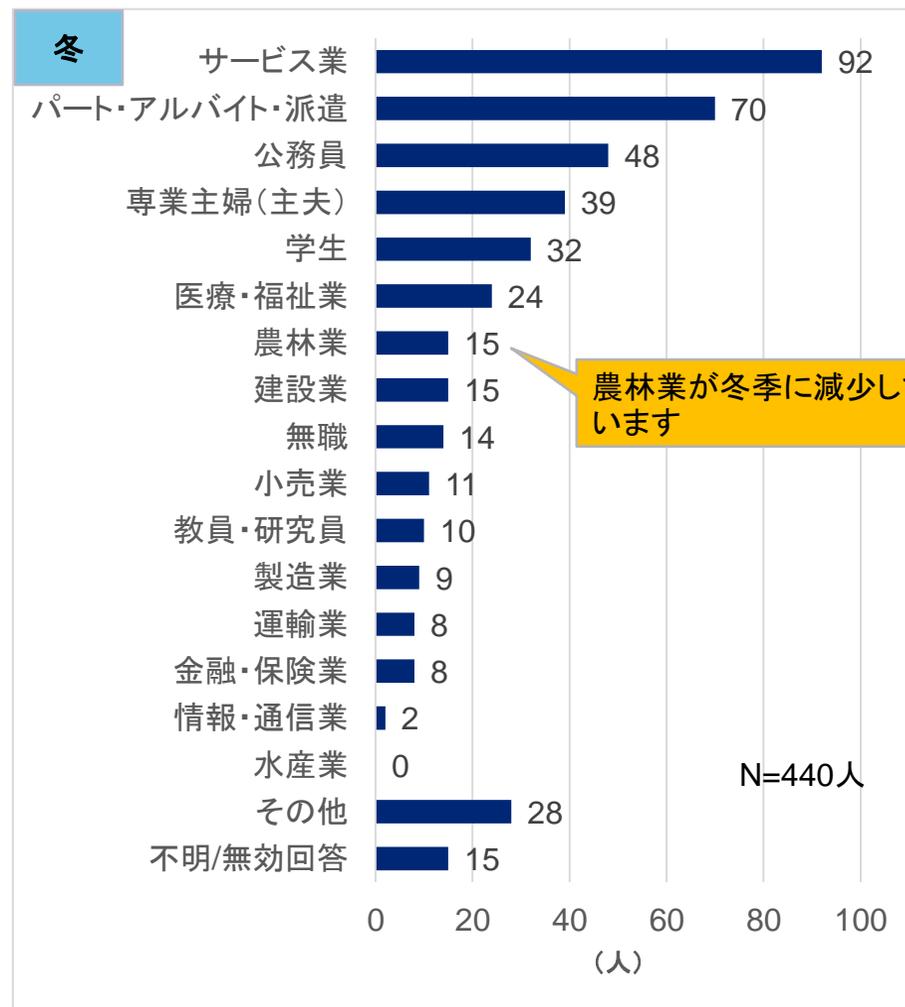
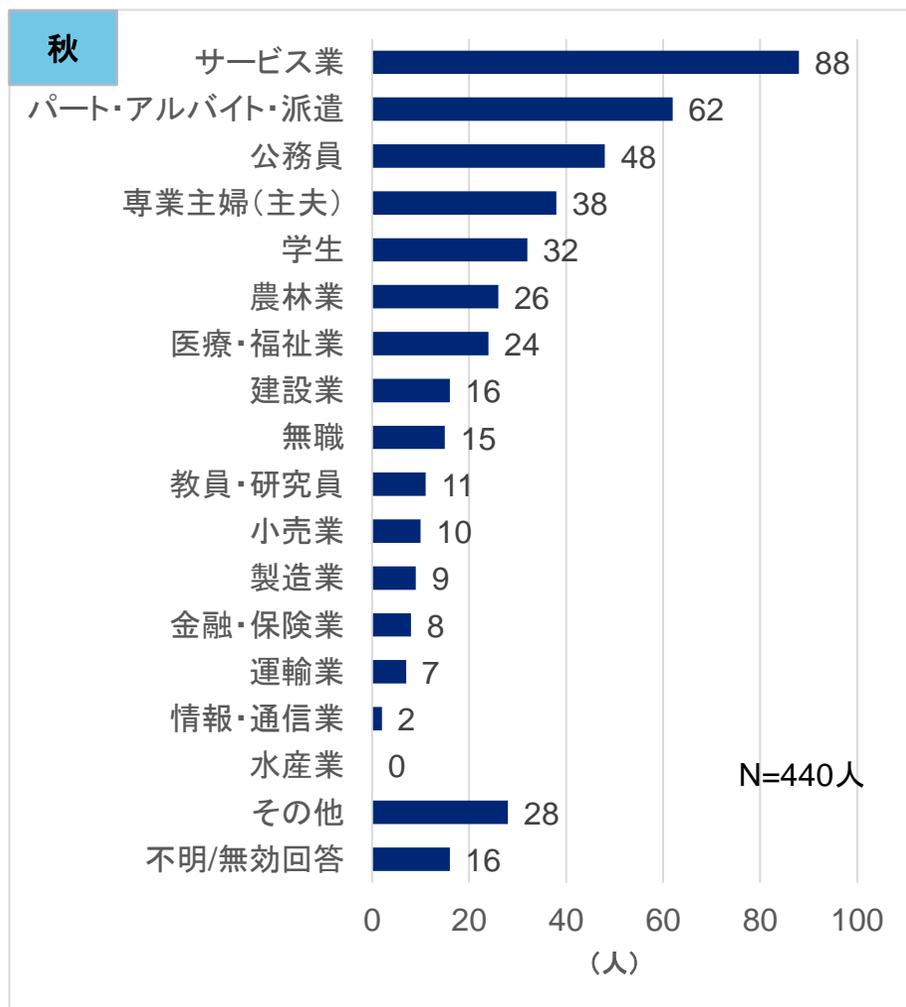
【問1(5)】四季を通してサービス業に従事する回答者が最も多く、冬季には「農林業」に従事する人が減っています

図5 アンケート回答者_季節別職業内訳



出所：ニセコ町町民アンケート

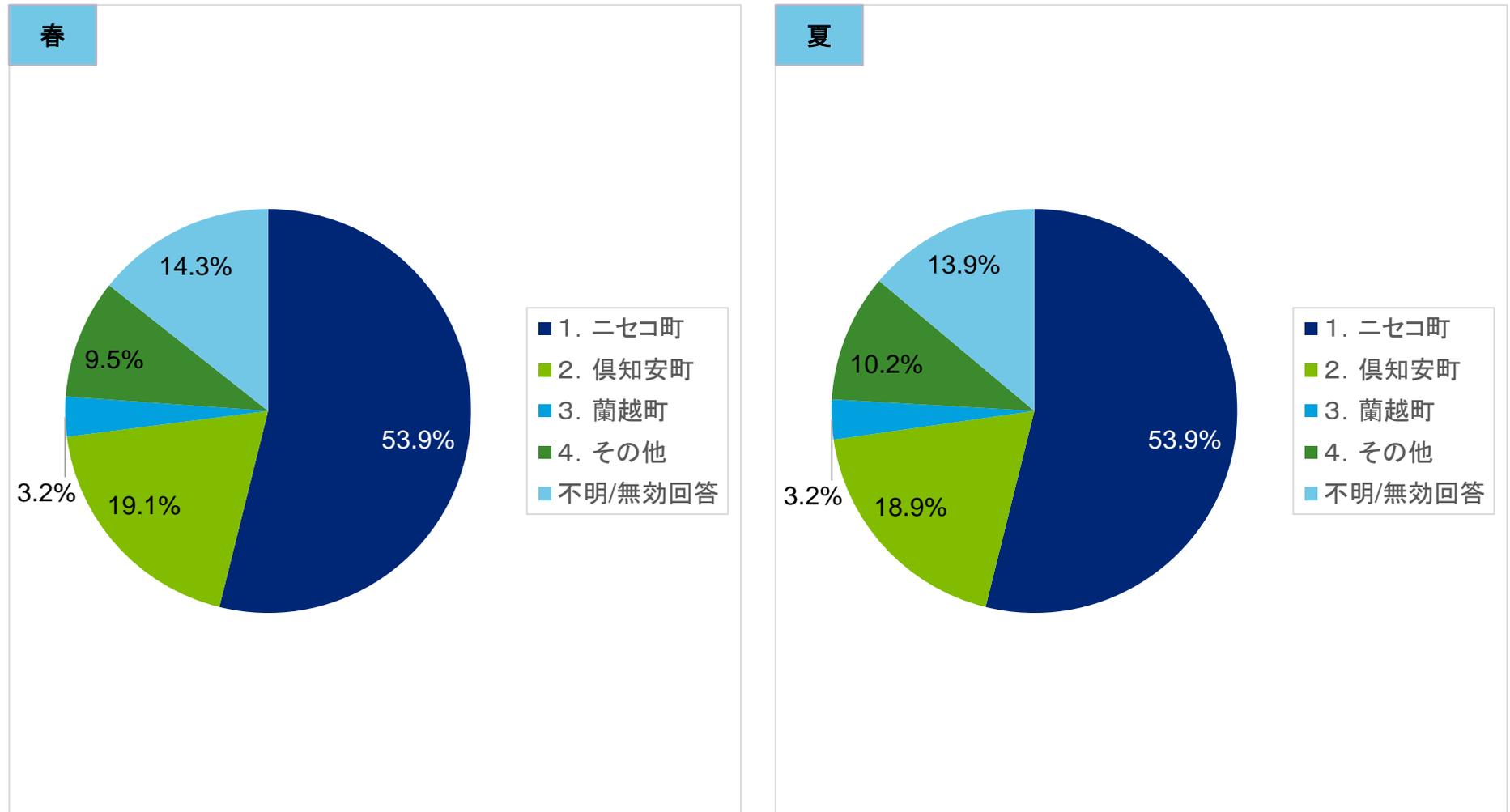
(図5続き)



出所：ニセコ町町民アンケート

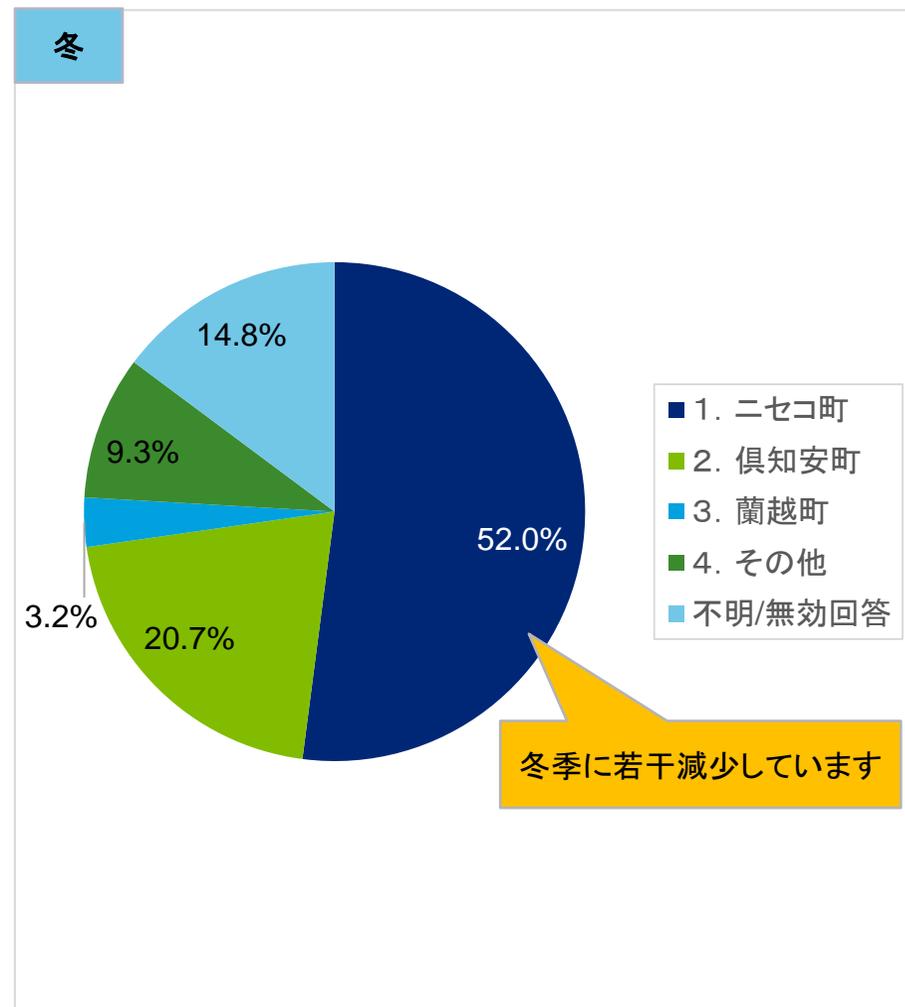
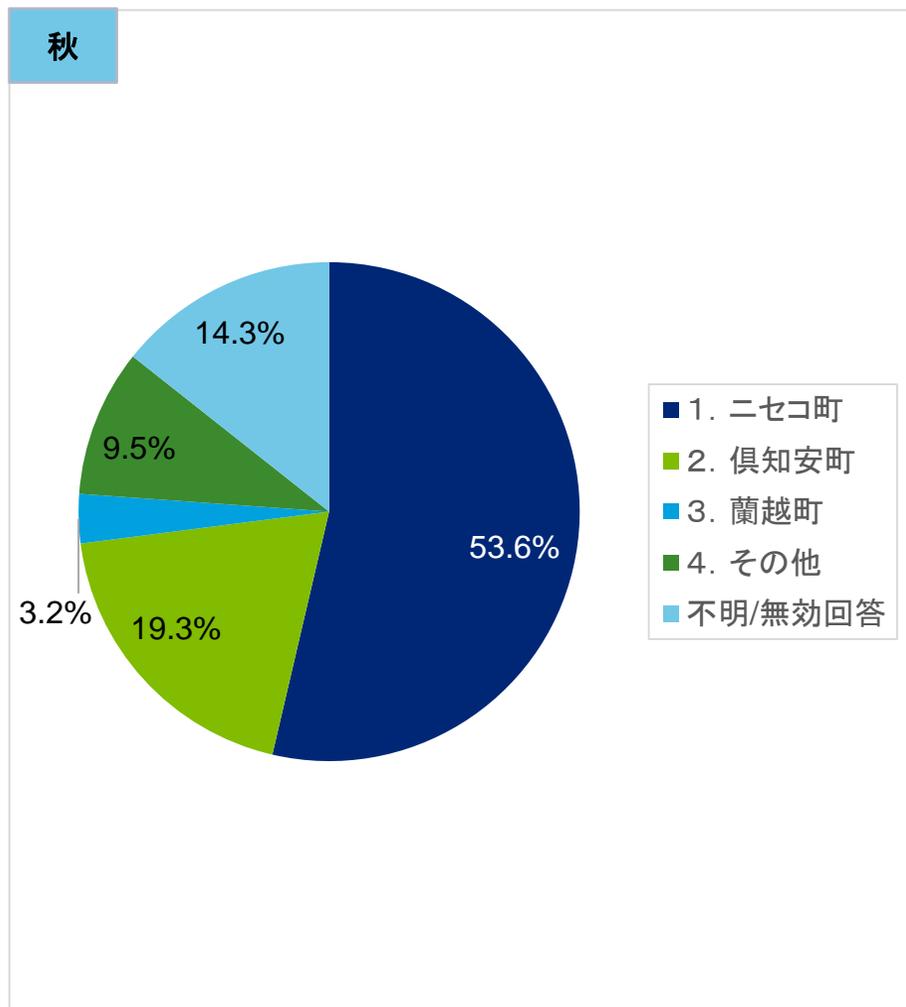
【問1(6)】四季を通してニセコ町内に勤務する回答者が、50%以上を占めており、冬季には約2%減少しています

図6 アンケート回答者_季節別勤務地内訳



出所: ニセコ町町民アンケート

(図6続き)

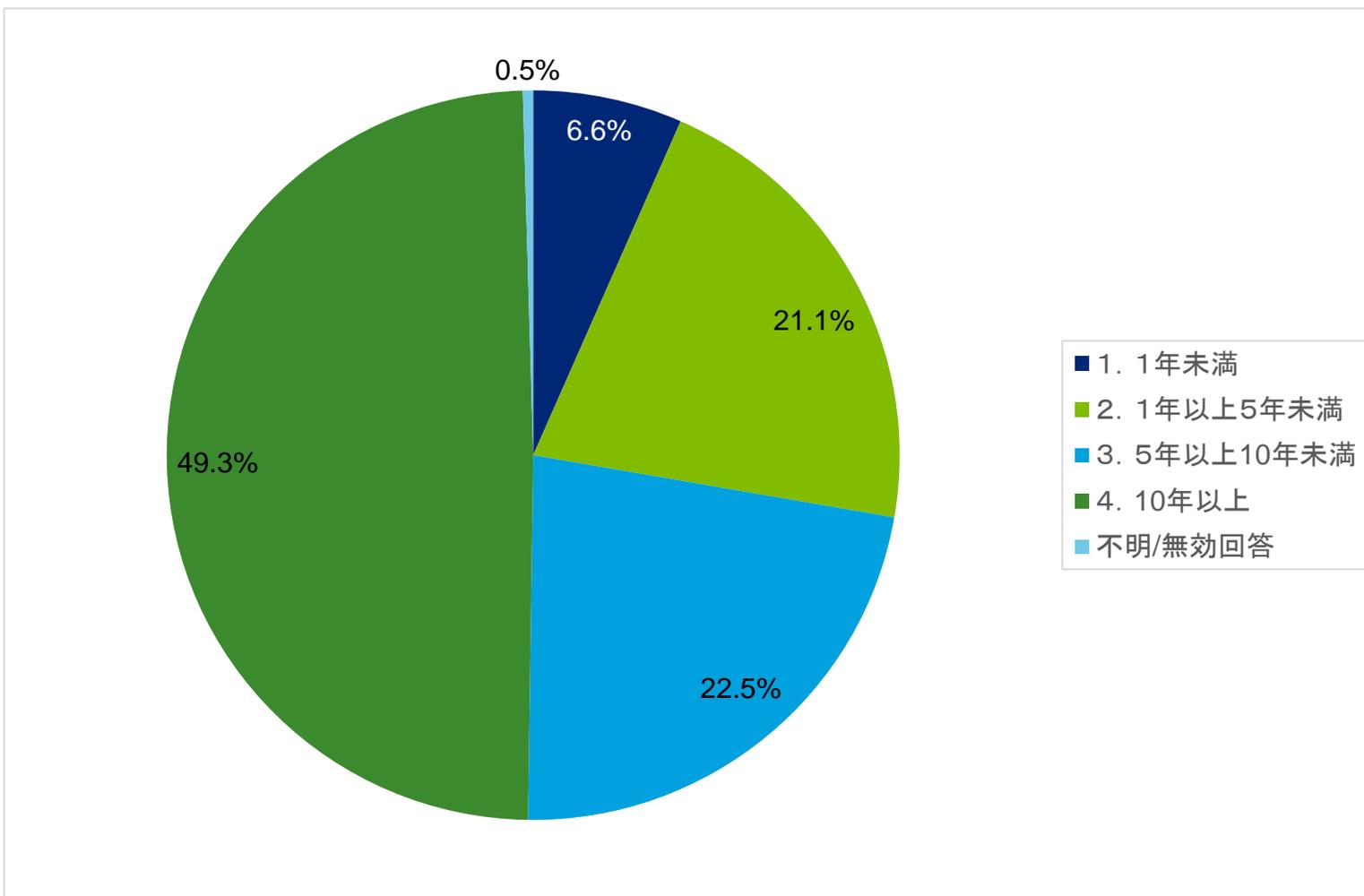


出所：ニセコ町町民アンケート

【問1(7)】

アンケート回答者のうち約半数が、10年以上ニセコ町に居住しています

図7 アンケート回答者_居住年数内訳

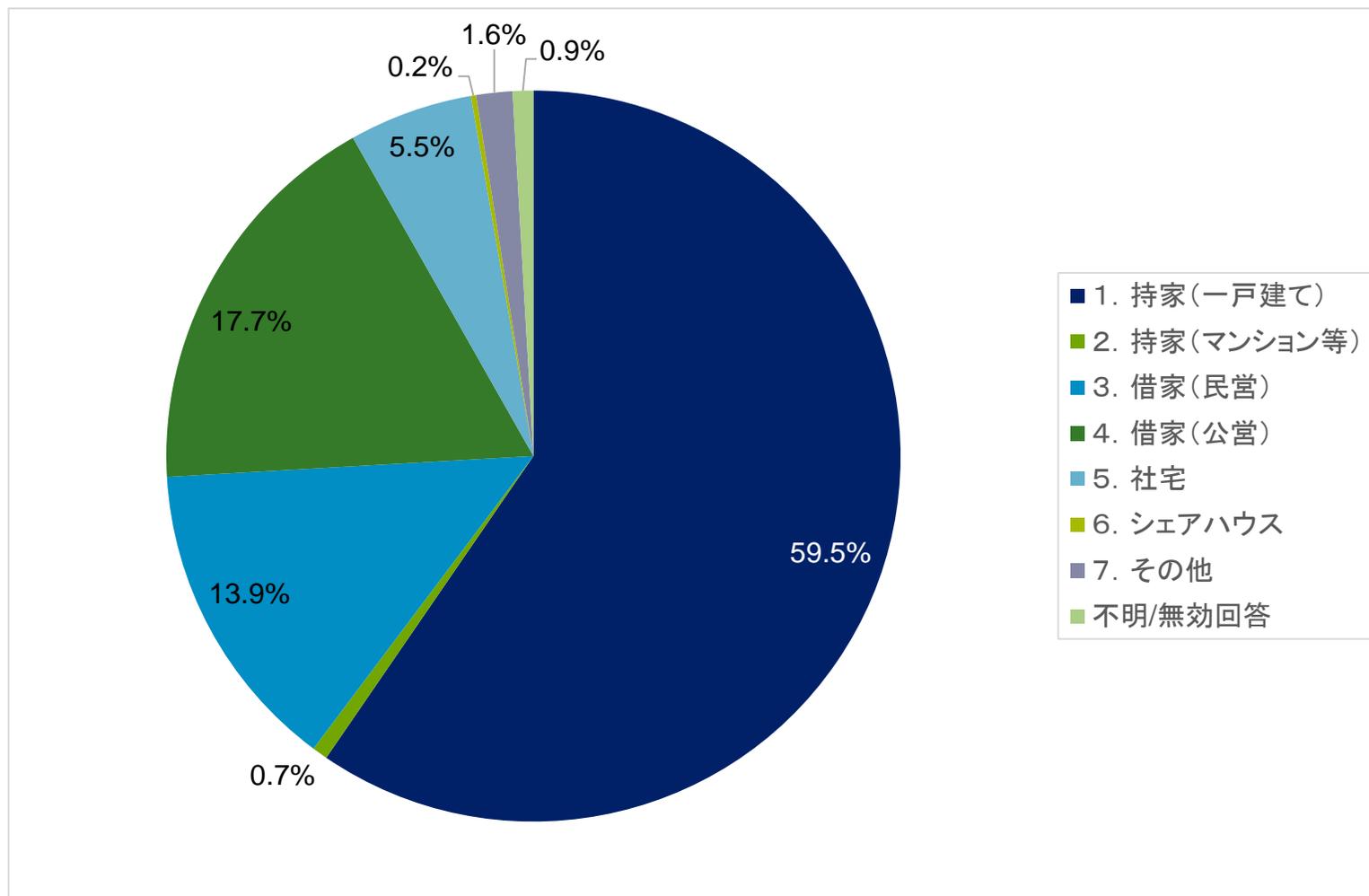


出所：ニセコ町町民アンケート

【問1(8)】

アンケート回答者のうち、持家に住む人は約60%を占めています

図8 アンケート回答者_住宅形態内訳

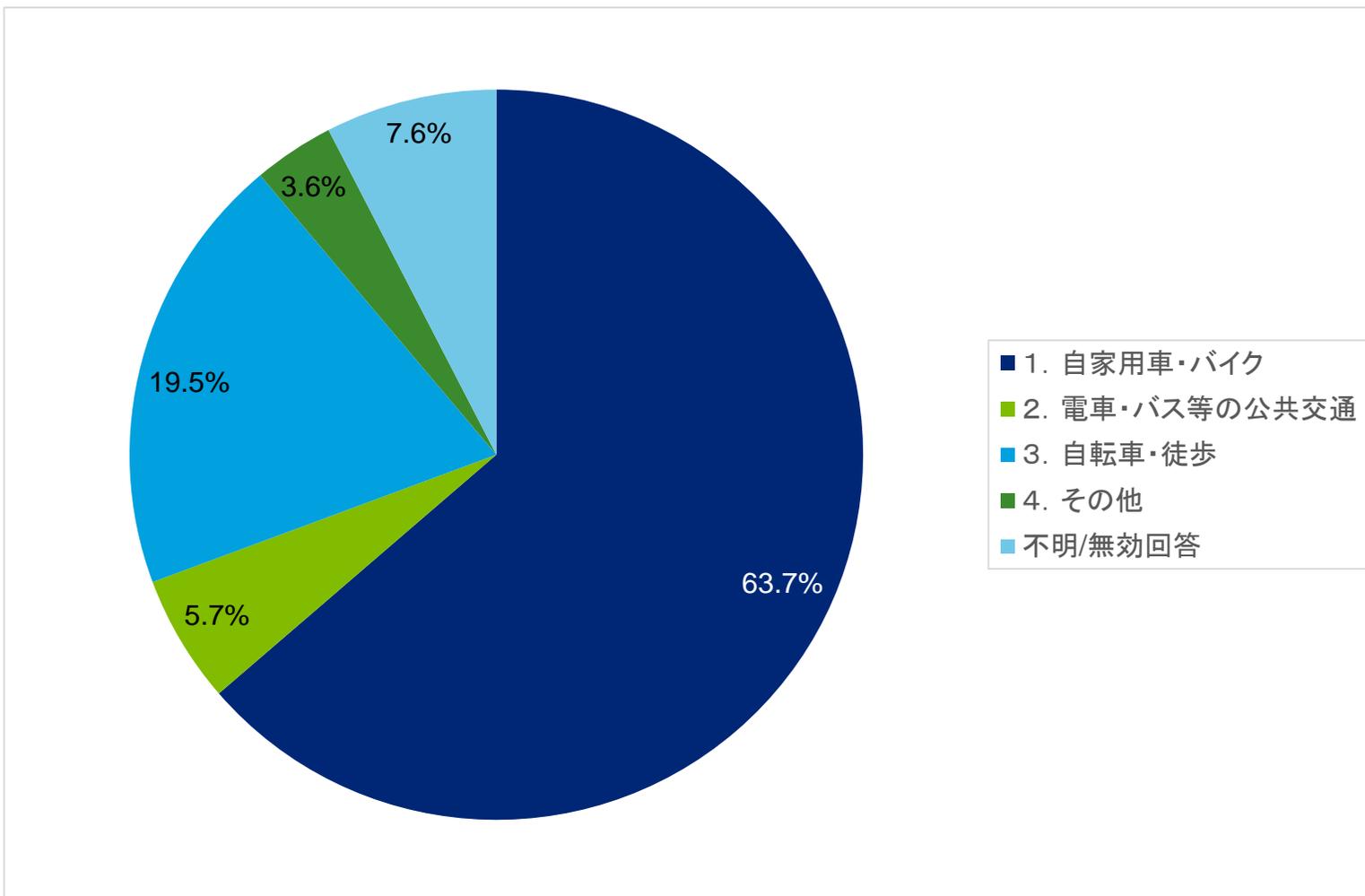


出所: ニセコ町町民アンケート

【問1(9)】

アンケート回答者のうち、63.7%が「自家用車・バイク」で通勤・通学しています

図9 アンケート回答者_通勤・通学手段内訳

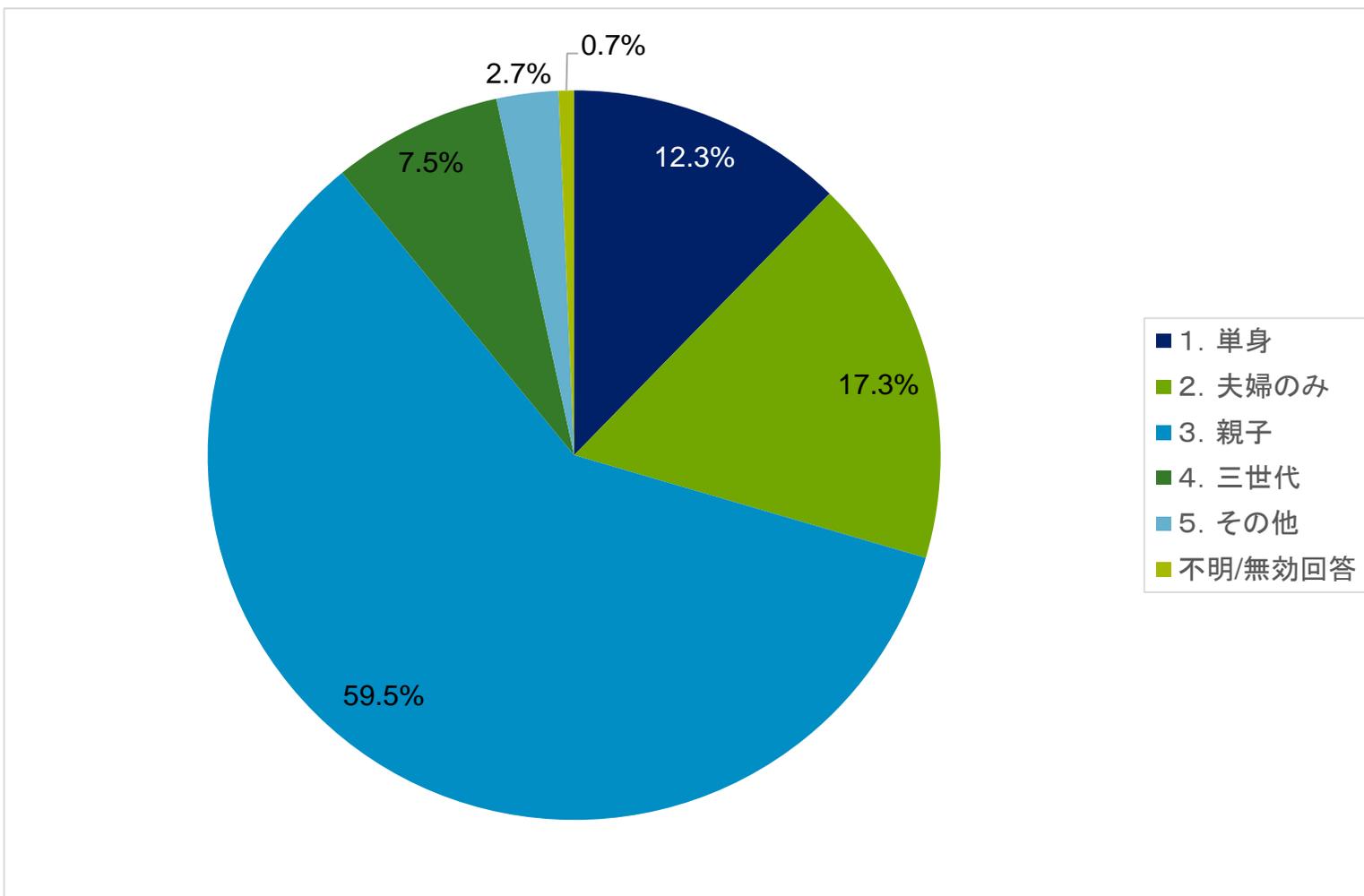


出所：ニセコ町町民アンケート

【問1(10)】

アンケート回答者の家族構成は、「親子」が約60%を占めています

図10 アンケート回答者_家族構成内訳



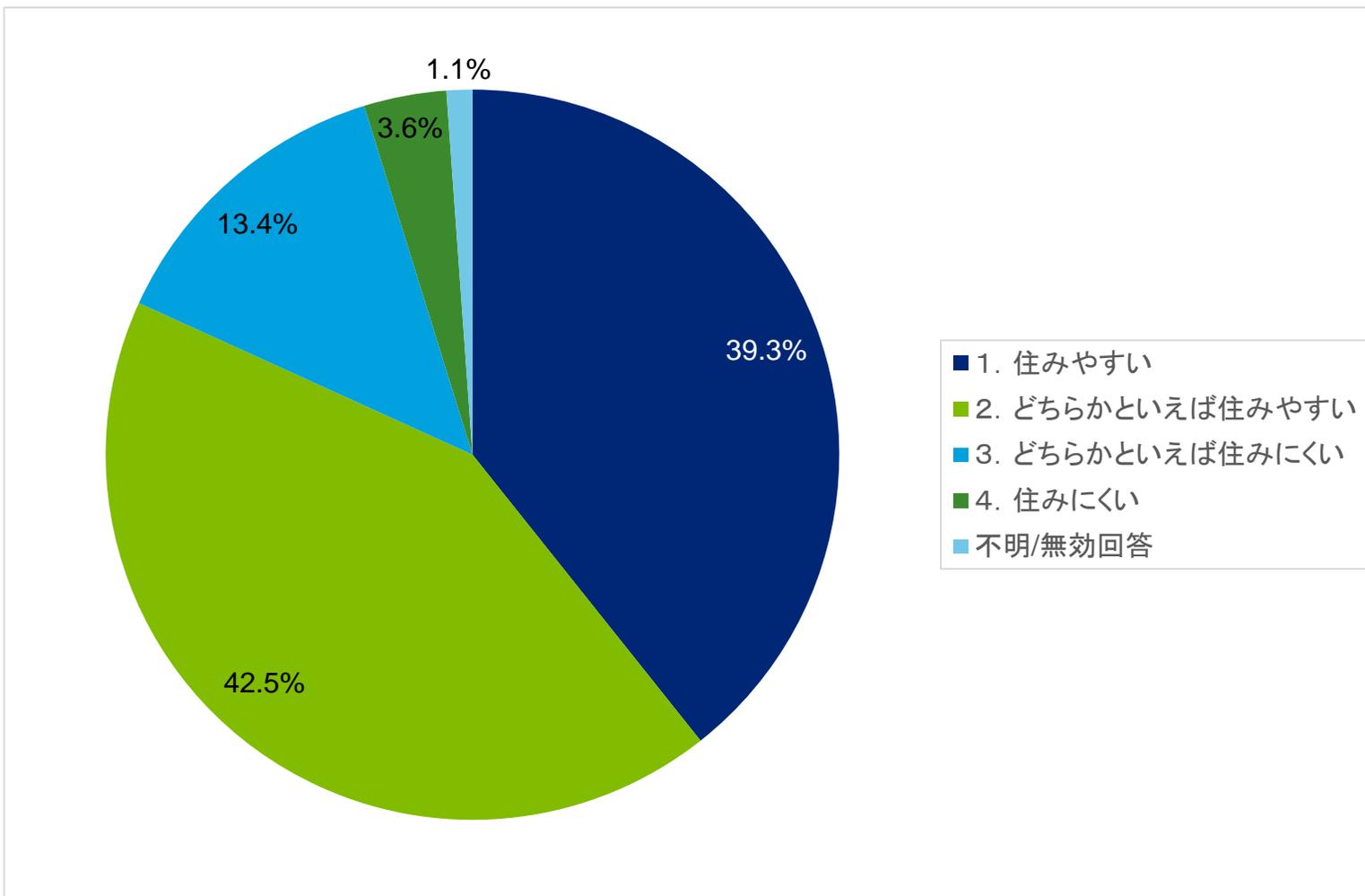
出所：ニセコ町町民アンケート

**(2) ニセコ町の住みやすさについて
【問2～問2-2】**

【問2】

「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した人が、約8割を占めています

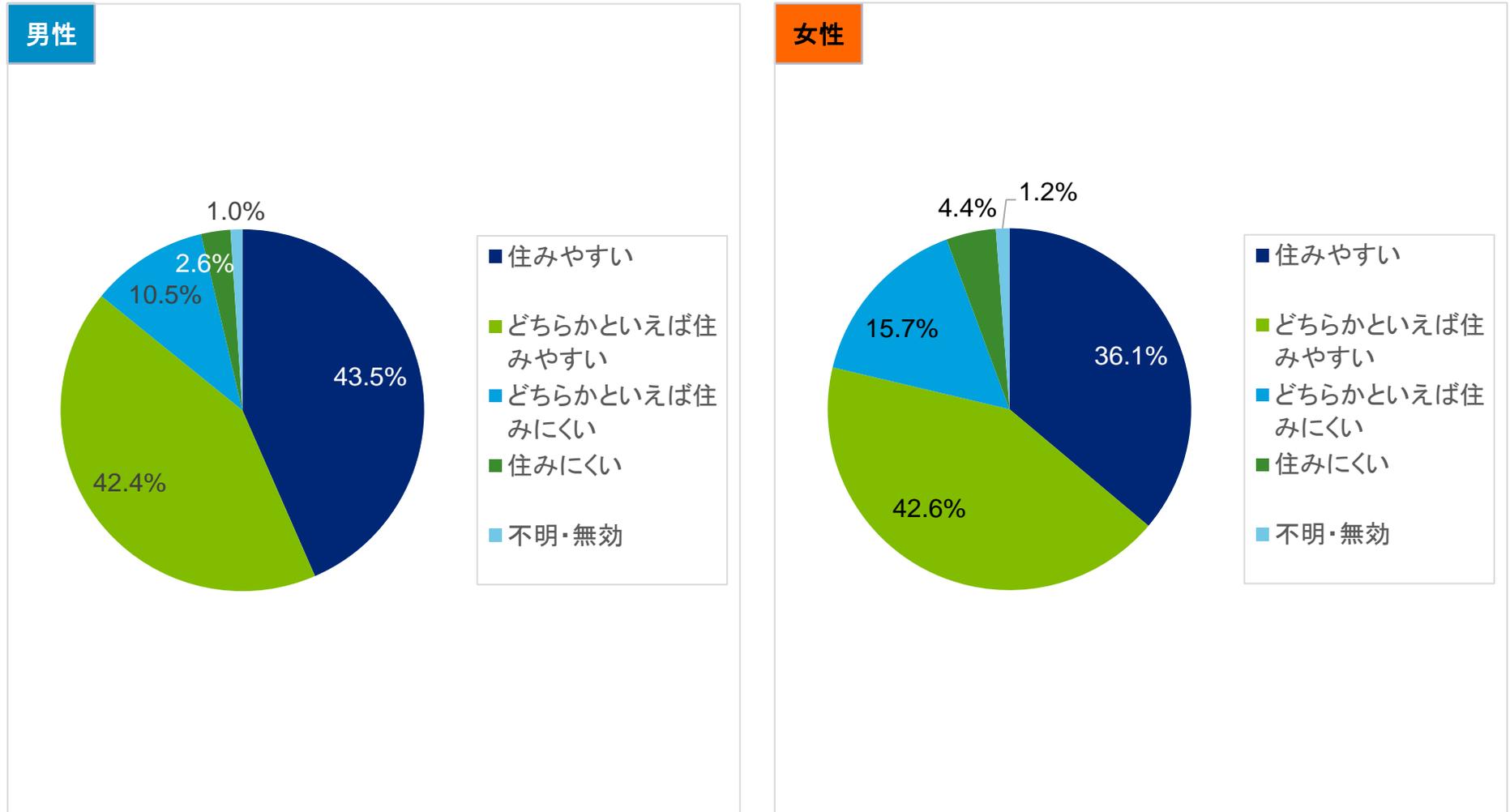
図11 ニセコ町の住みやすさについて



出所：ニセコ町町民アンケート

【男女別】「住みやすい」と回答した割合は、男性のほうが43.5%と女性よりも約7%多くなっています

図12 【男女別】ニセコ町の住みやすさについて

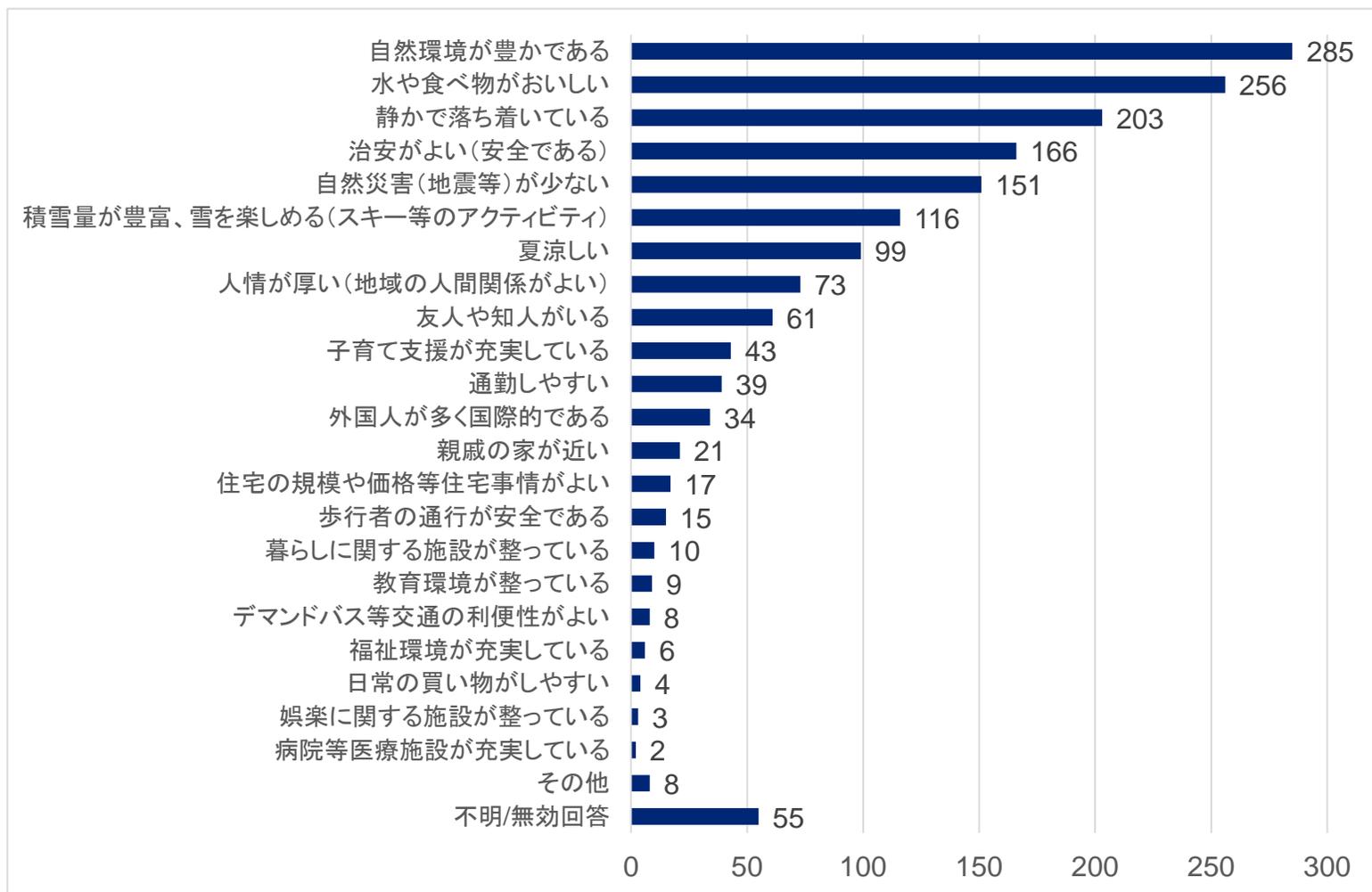


出所：ニセコ町町民アンケート

【問2-1】

住みやすい理由として、自然環境の豊かさに起因するものが上位を占めています

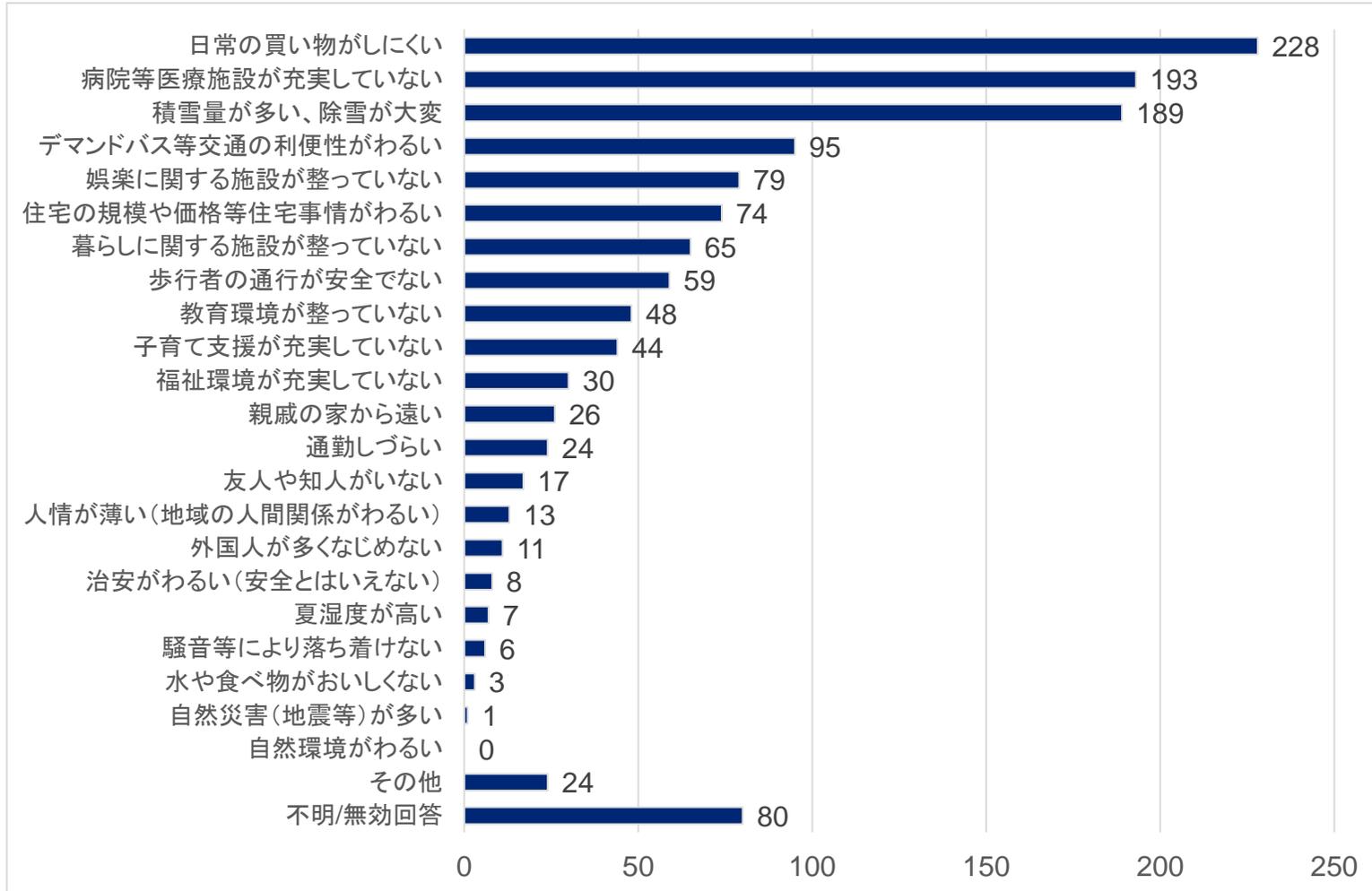
図13 ニセコ町が住みやすいと思う理由(3つまで回答可)



出所：ニセコ町町民アンケート

【問2-2】住みにくさの理由として、「買い物のしにくさ」、「医療施設の不十分さ」、「積雪量の多さ」が上位を占めています

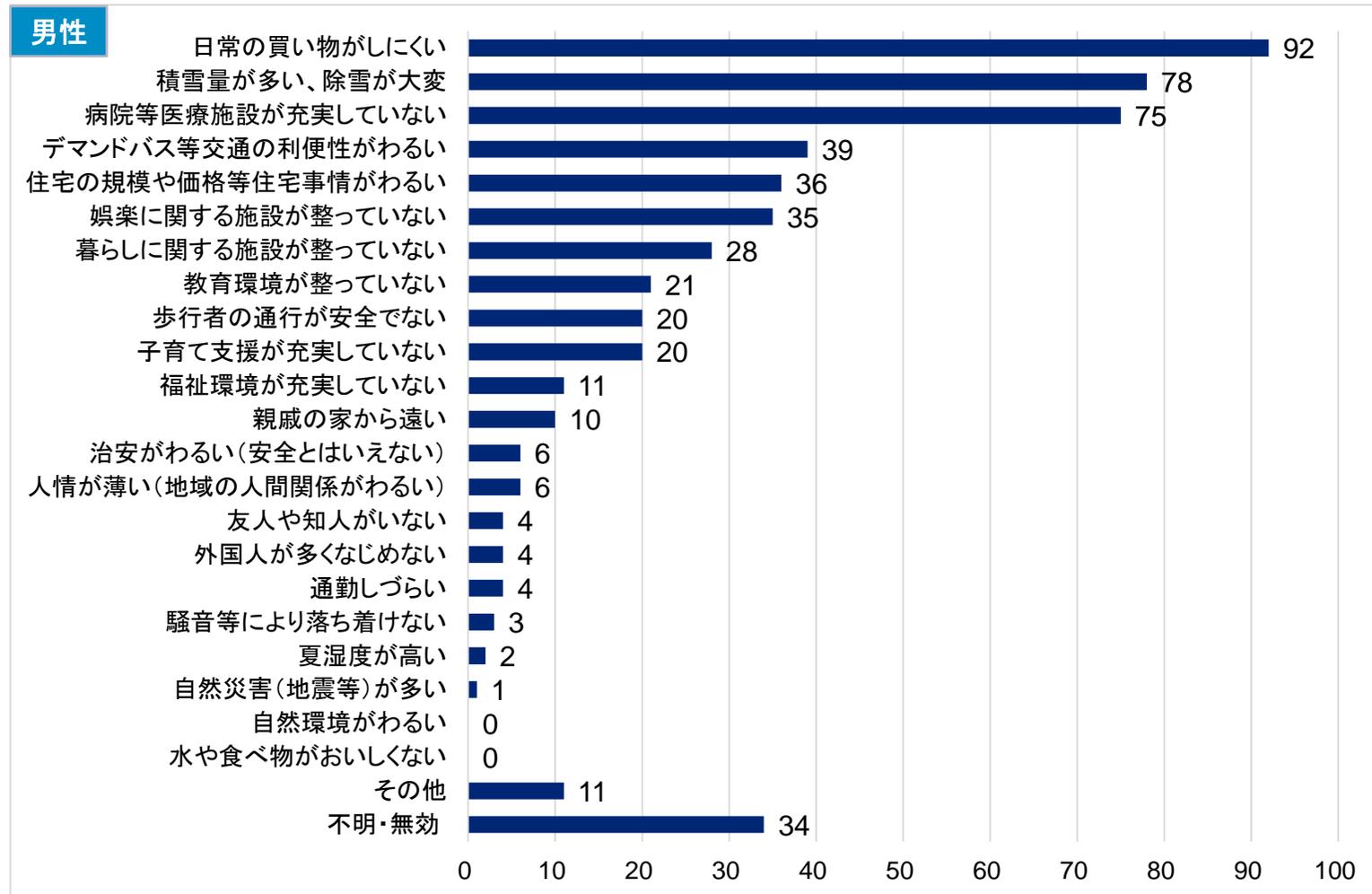
図14 ニセコ町が住みにくいと感ずる理由(3つまで回答可)



出所：ニセコ町町民アンケート

【男女別】男性の場合、住みにくさの理由として「日常の買い物がしにくい」が最も多く、「積雪量が多い、除雪が大変」が次に多くなっています

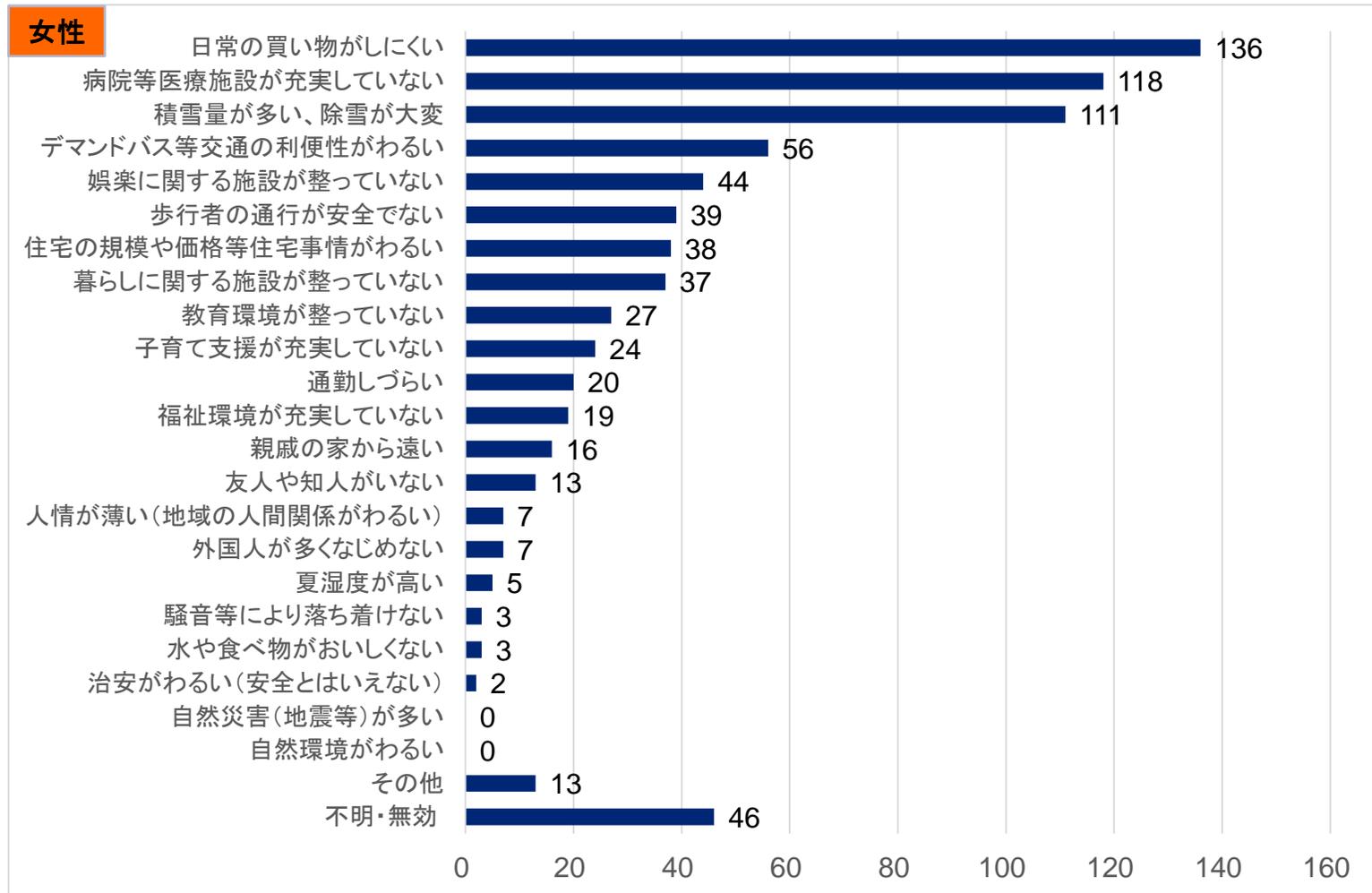
図15 【男性】ニセコ町が住みにくいと感ずる理由(3つまで回答可)



出所：ニセコ町町民アンケート

【男女別】女性の場合、男性同様住みにくさの理由として「日常の買い物がしにくい」が最も多く、「病院等医療施設が充実していない」が次に多くなっています

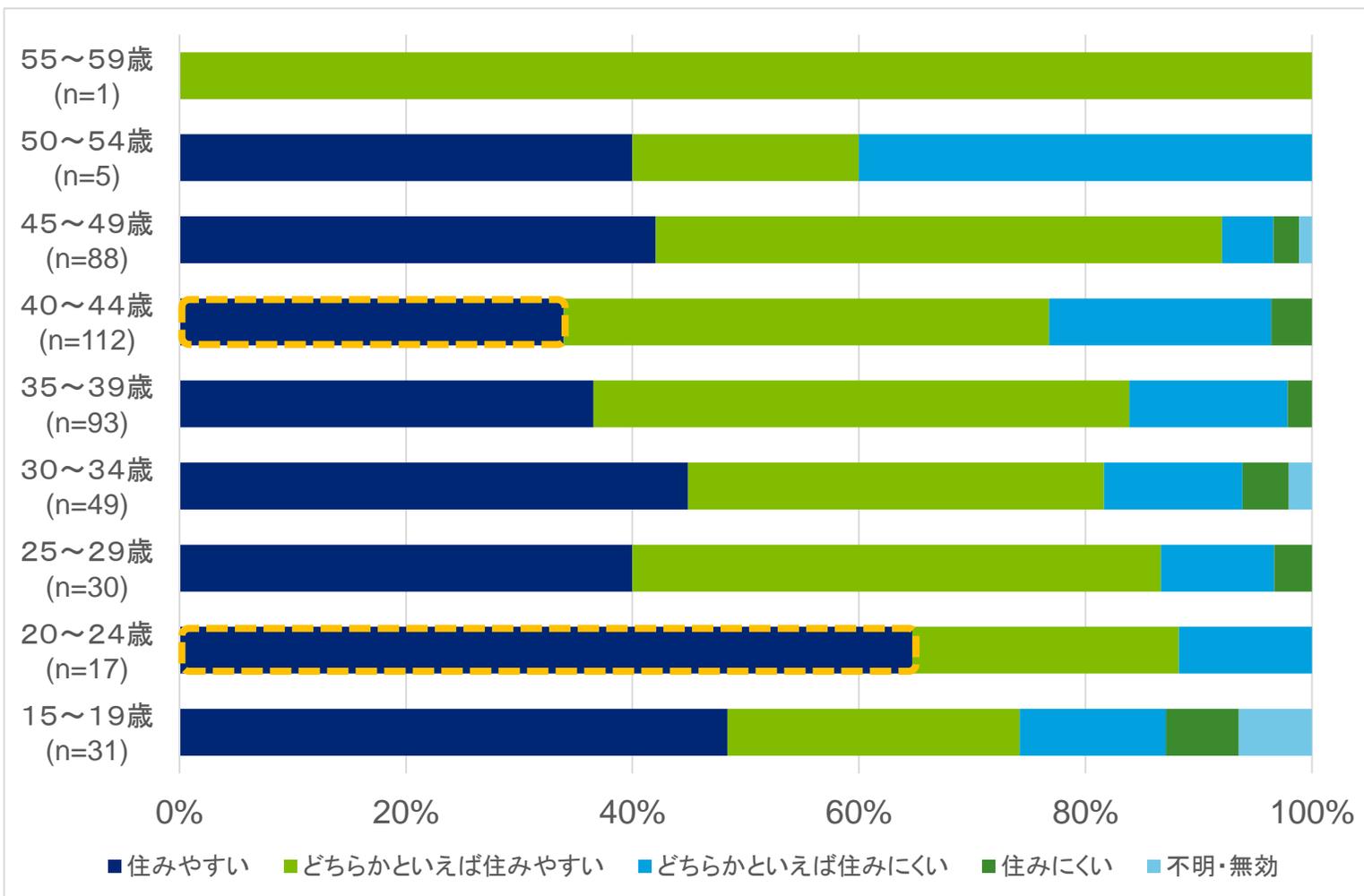
図16 【女性】ニセコ町が住みにくいと感ずる理由(3つまで回答可)



出所：ニセコ町町民アンケート

【生産年齢階層別】住みやすいと回答した割合は、20～24歳で最も多く、40～44歳で最も低くなっています

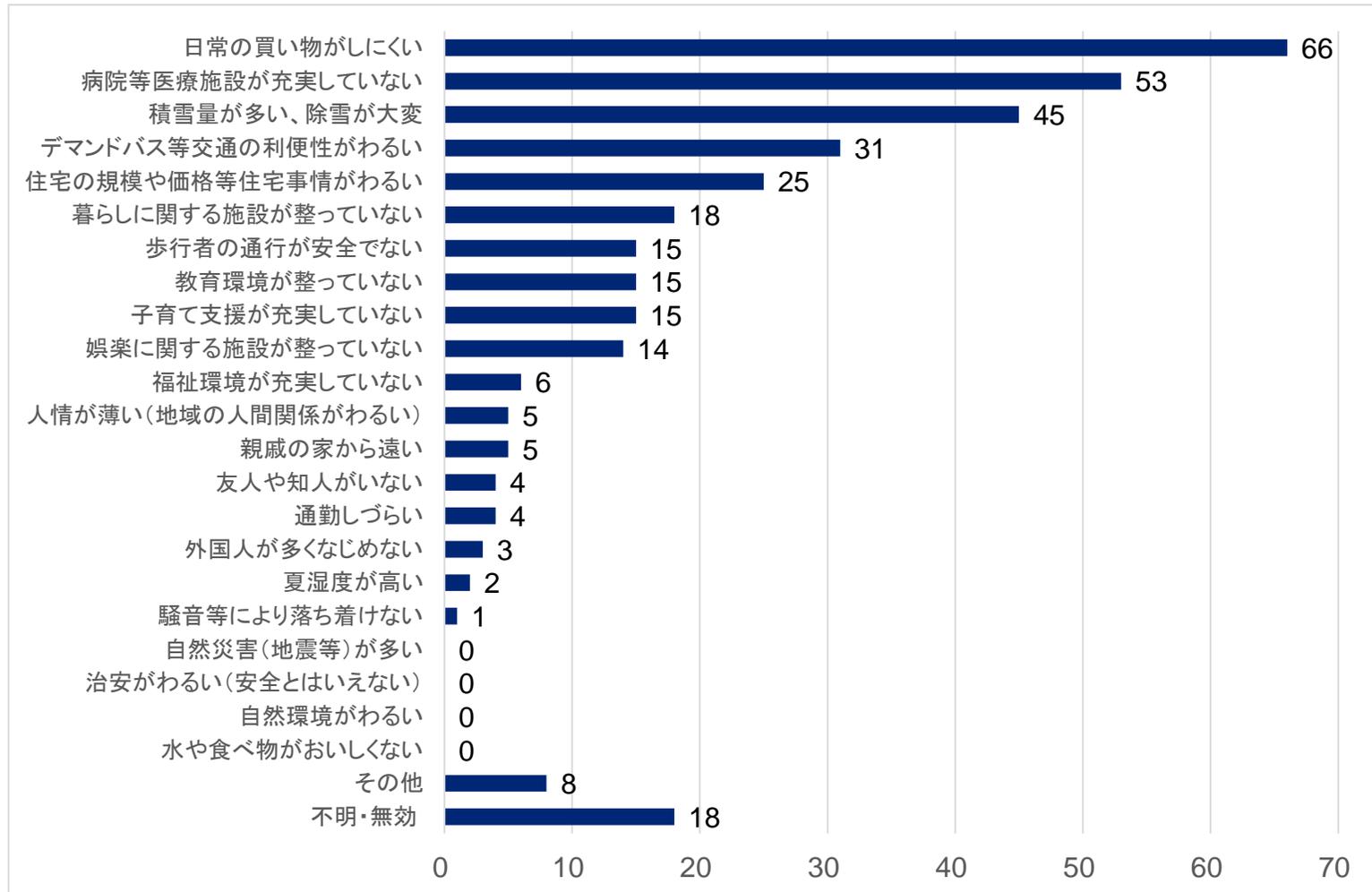
図17 【生産年齢階層別*】ニセコ町の住みやすさについて



* 生産年齢とは15以上65未満の人口を指すが、本アンケートでは60～65歳に該当する年齢層の回答がなかったため、55～59歳までとしている
 出所：ニセコ町町民アンケート

40～44歳の年齢層が住みにくいと思う理由としては、「日常の買い物がしにくい」が最も多く、次いで「病院等医療施設が充実していない」が多くなっています

図18 【40～44歳】ニセコ町が住みにくいと思う理由(3つまで回答可)

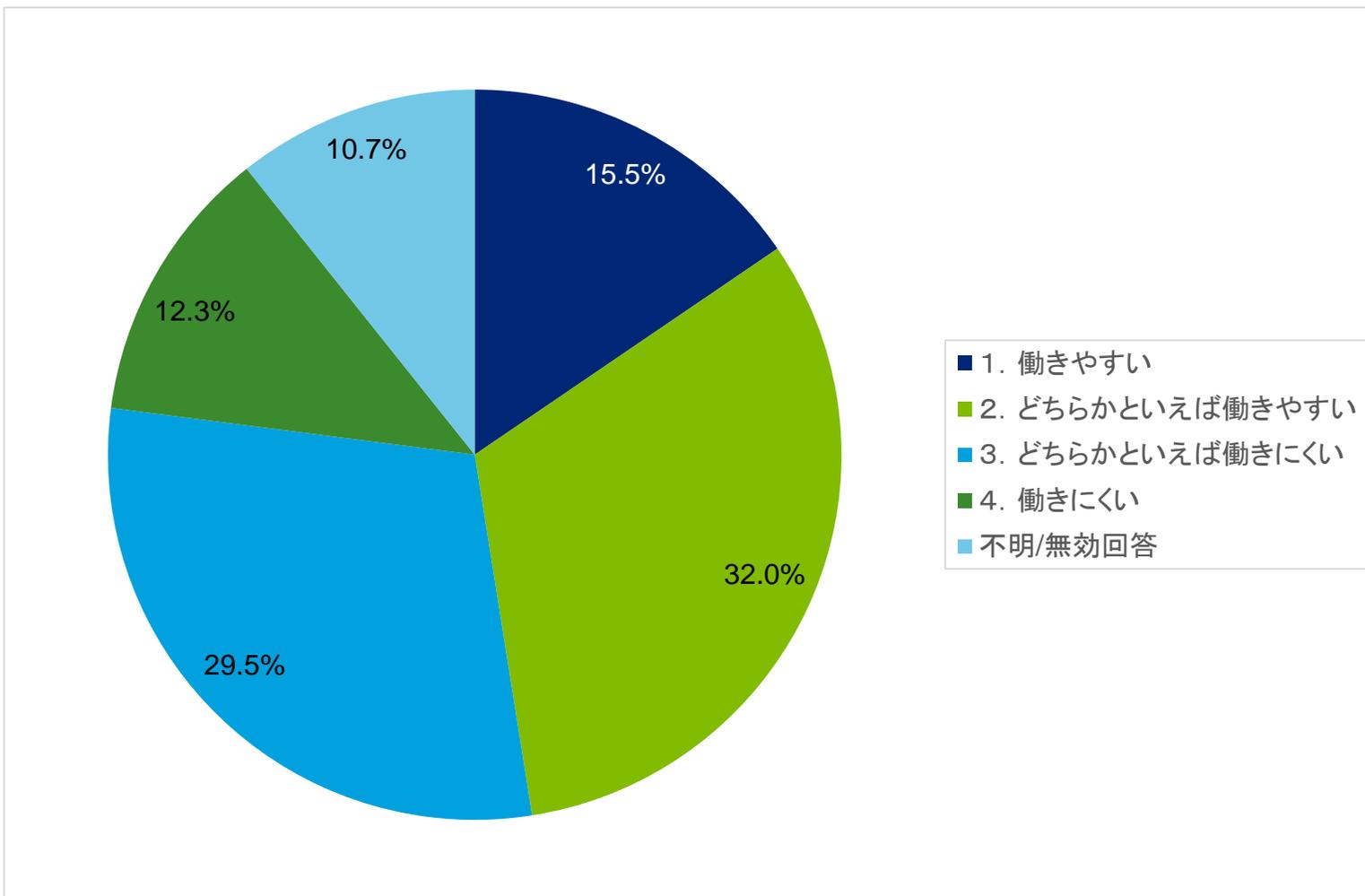


出所：ニセコ町町民アンケート

**(3) ニセコ町の働きやすさについて
【問3～問4】**

【問3】「働きやすい」、「どちらかといえば働きやすい」と回答した人が47.5%いる一方で、「働きにくい」、「どちらかといえば働きにくい」と回答した人が41.8%います

図19 ニセコ町の働きやすさについて

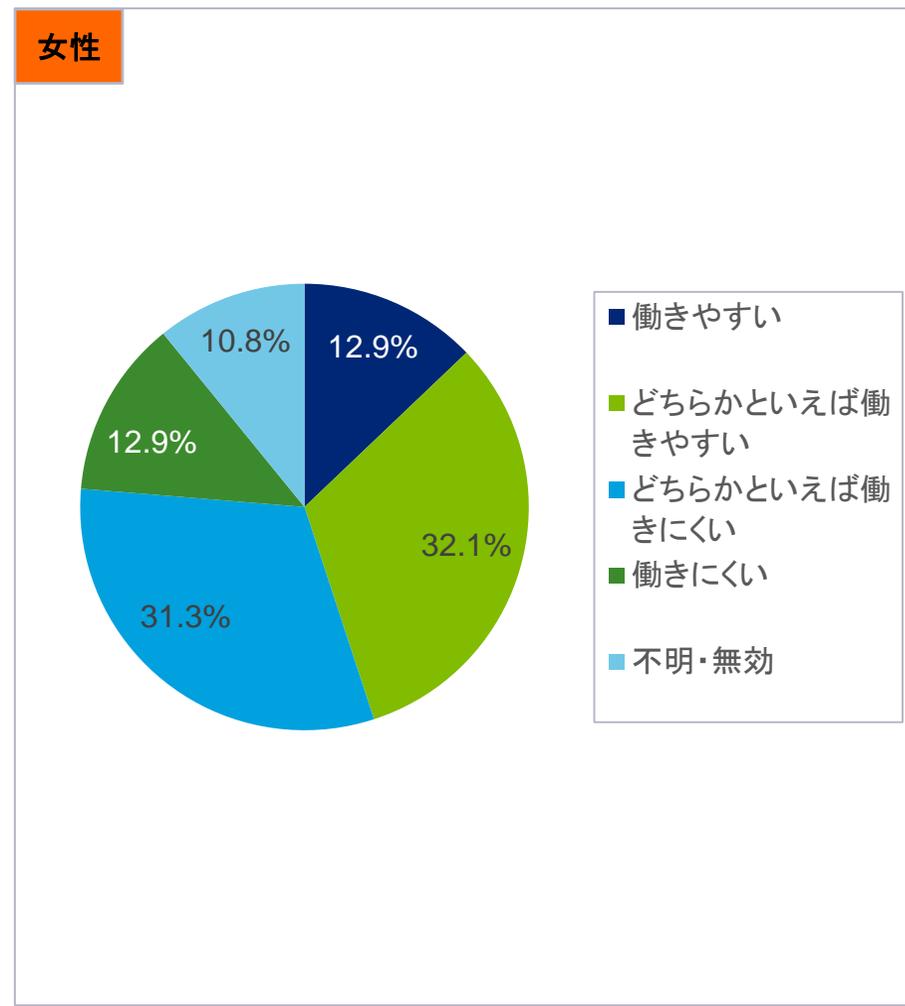
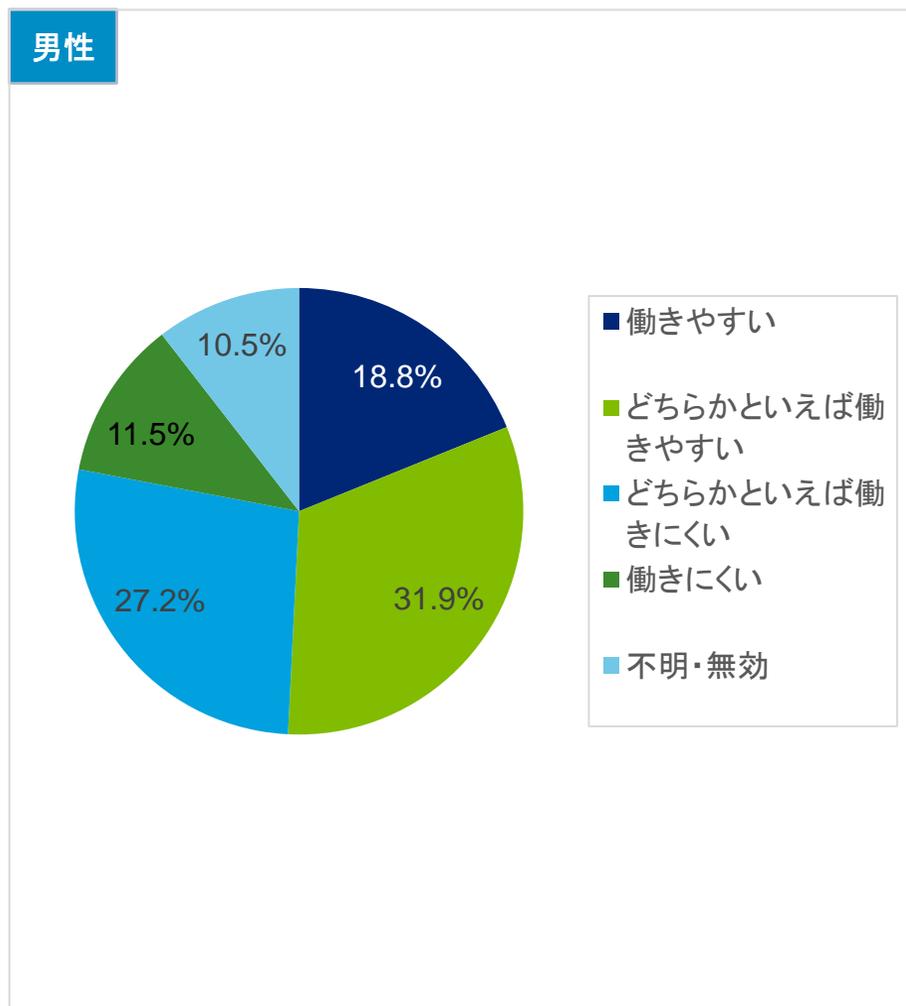


出所：ニセコ町町民アンケート

【男女別】

「働きやすい」と回答した人は、男性で18.8%と女性よりも高くなっています

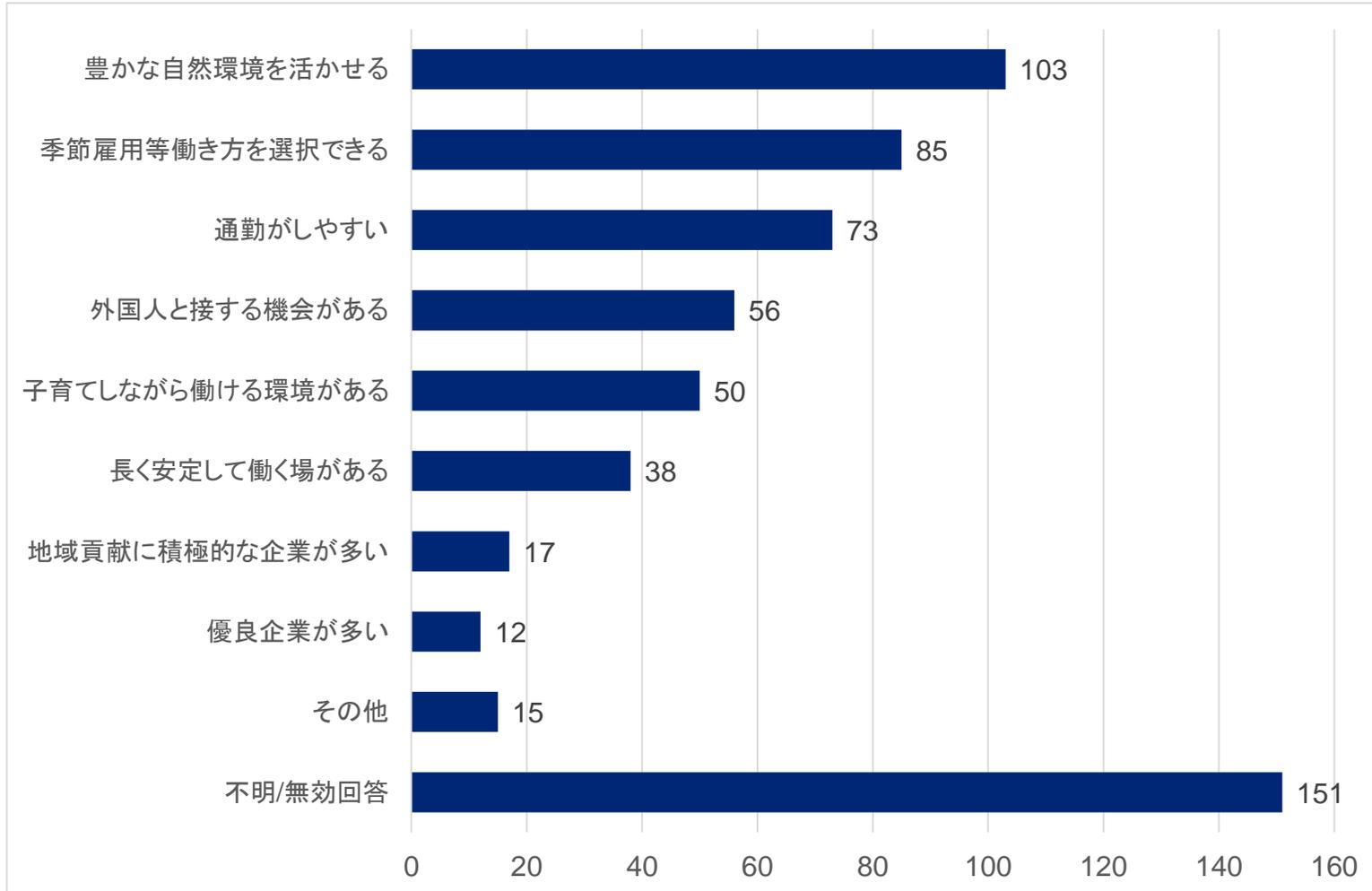
図20 【男女別】ニセコ町の働きやすさについて



出所：ニセコ町町民アンケート

【問3-1】働きやすい理由として、「豊かな自然環境を活かせる」が最も多く、次に「季節雇用等働き方を選択できる」が多くなっています

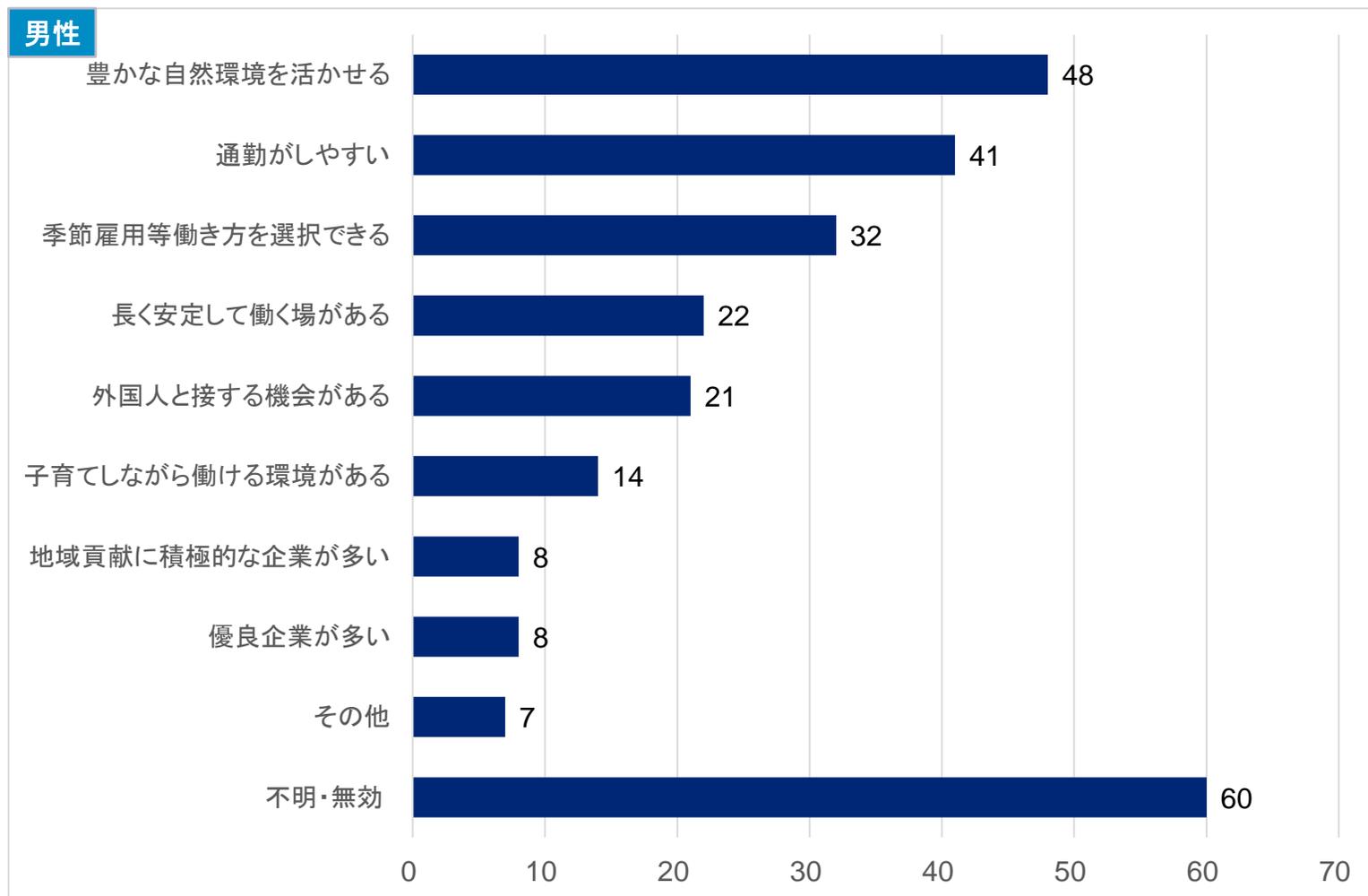
図21 ニセコ町が働きやすいと感じる理由(2つまで回答可)



出所：ニセコ町町民アンケート

【男女別】男性の働きやすいと感じる理由としては、「豊かな自然環境を活かせる」が最も多く、次に「通勤がしやすい」が多くなっています

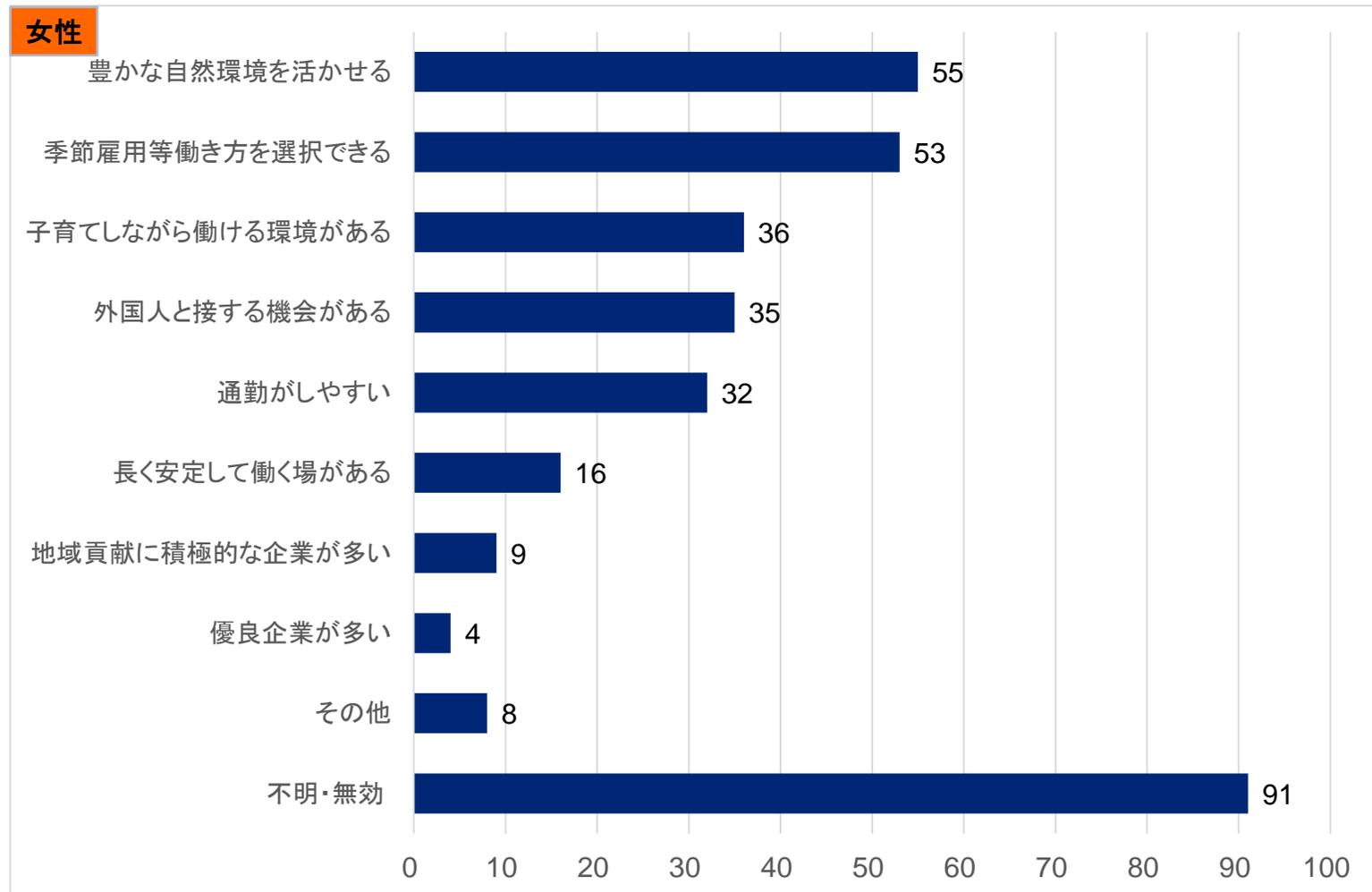
図22 【男性】ニセコ町が働きやすいと感じる理由(2つまで回答可)



出所：ニセコ町町民アンケート

【男女別】女性が働きやすいと感じる理由としては、「豊かな自然環境を活かせる」が最も多く、次に「季節雇用等働き方を選択できる」が多くなっています

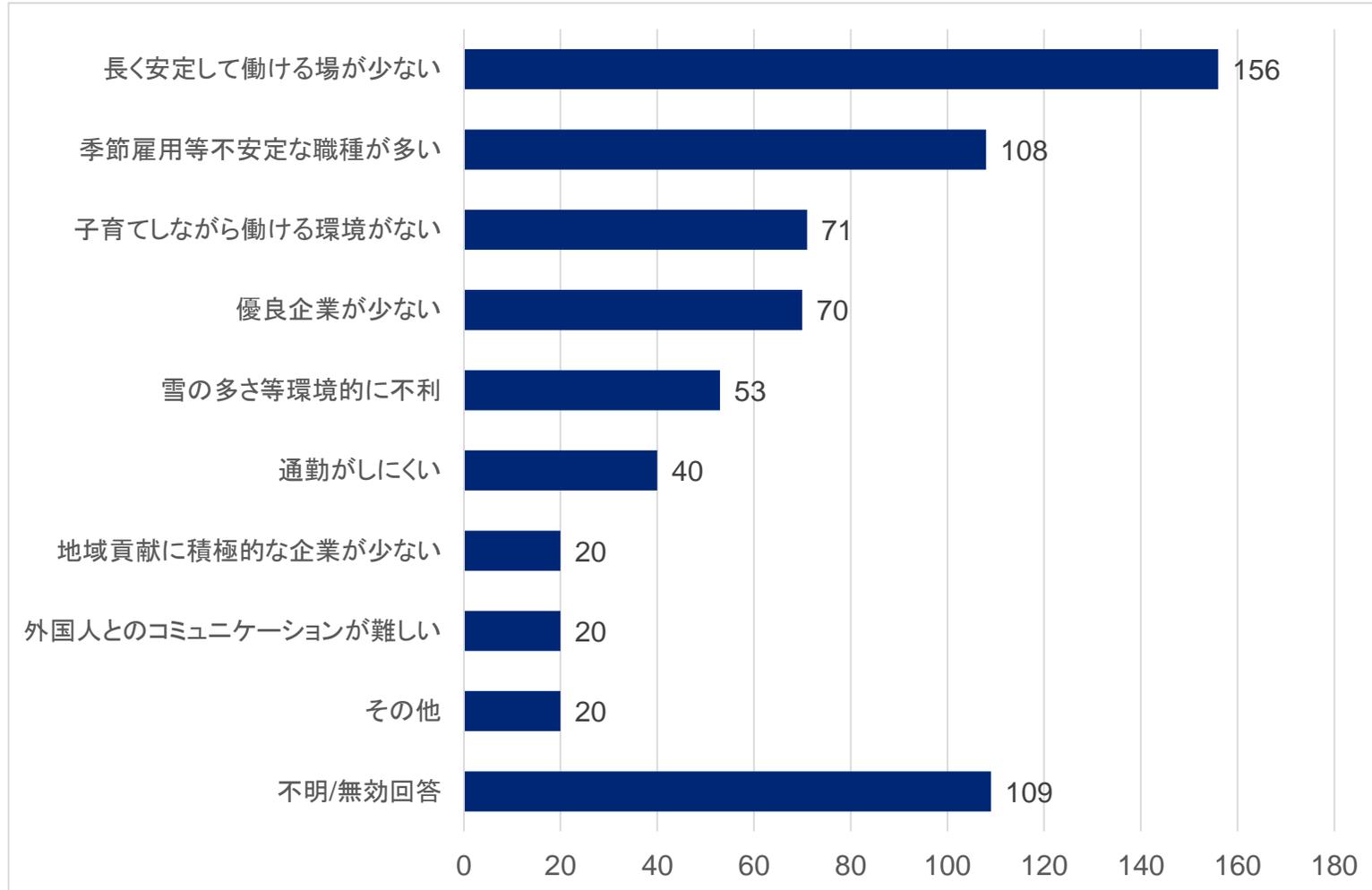
図23 【女性】ニセコ町が働きやすいと感じる理由(2つまで回答可)



出所：ニセコ町町民アンケート

【問3-2】働きにくい理由としては、「長く安定して働ける場が少ない」が最も多く、次に「季節雇用等不安定な職種が多い」が多くなっています

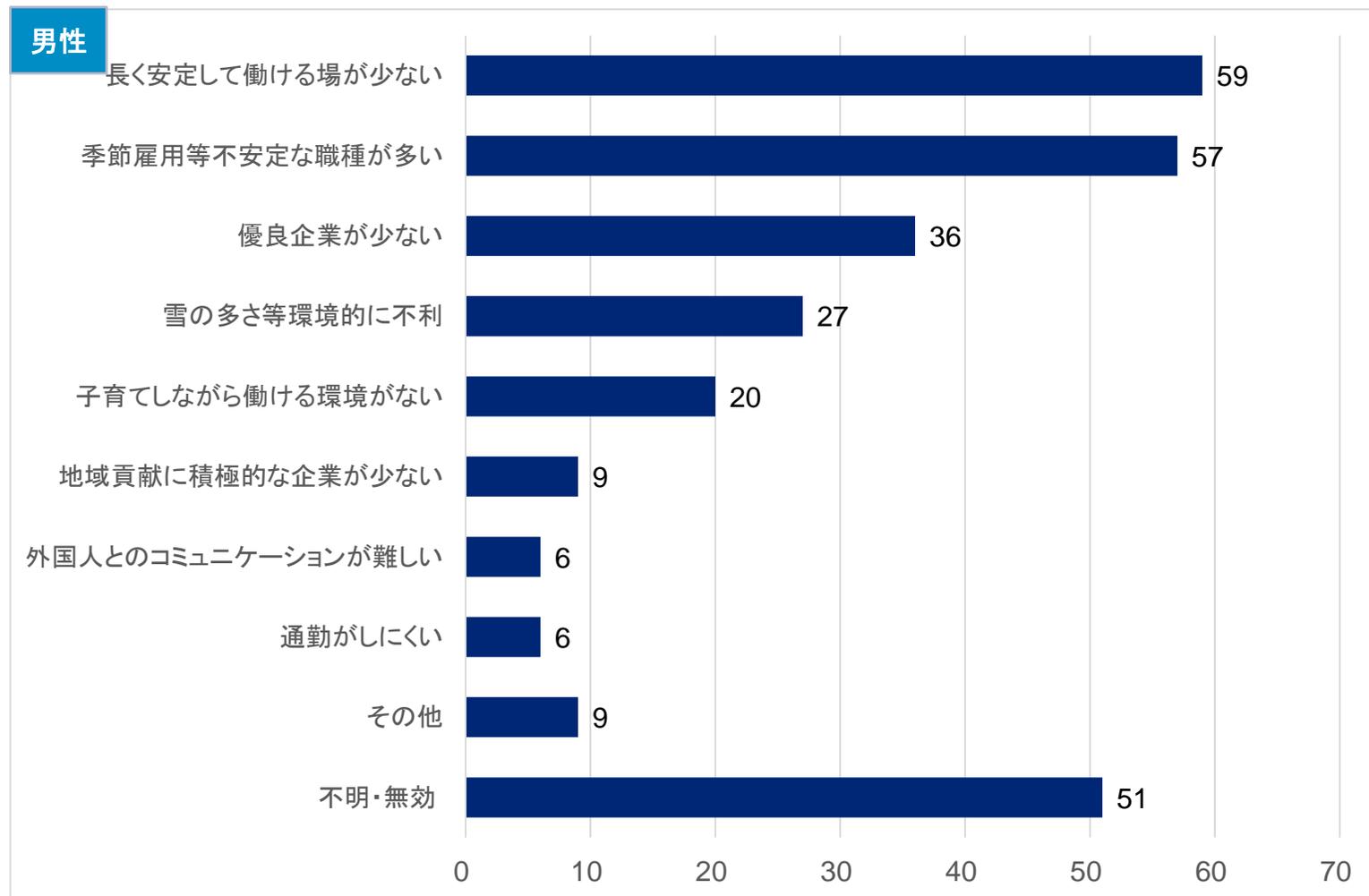
図24 ニセコ町が働きにくいと感じる理由(2つまで回答可)



出所：ニセコ町町民アンケート

【男女別】男性が働きにくいと感じる理由としても、「長く安定して働ける場が少ない」が最も多く、次に「季節雇用等不安定な職種が多い」が多くなっています

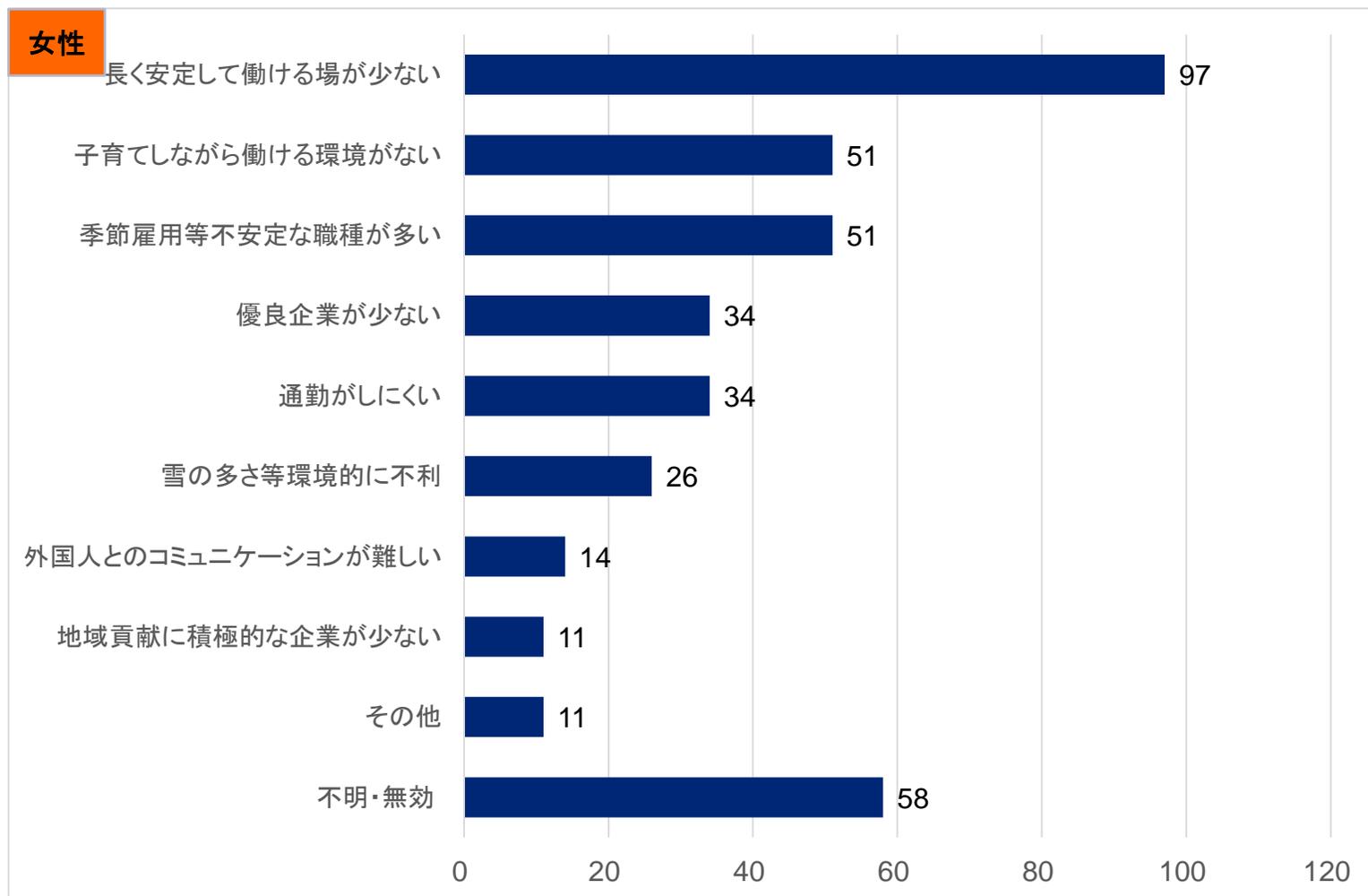
図25 【男性】ニセコ町が働きにくいと感じる理由(2つまで回答可)



出所：ニセコ町町民アンケート

【男女別】女性が働きにくいと感じる理由として、「長く安定して働ける場が少ない」が最も多く、次に「子育てしながら働ける環境がない」が多くなっています

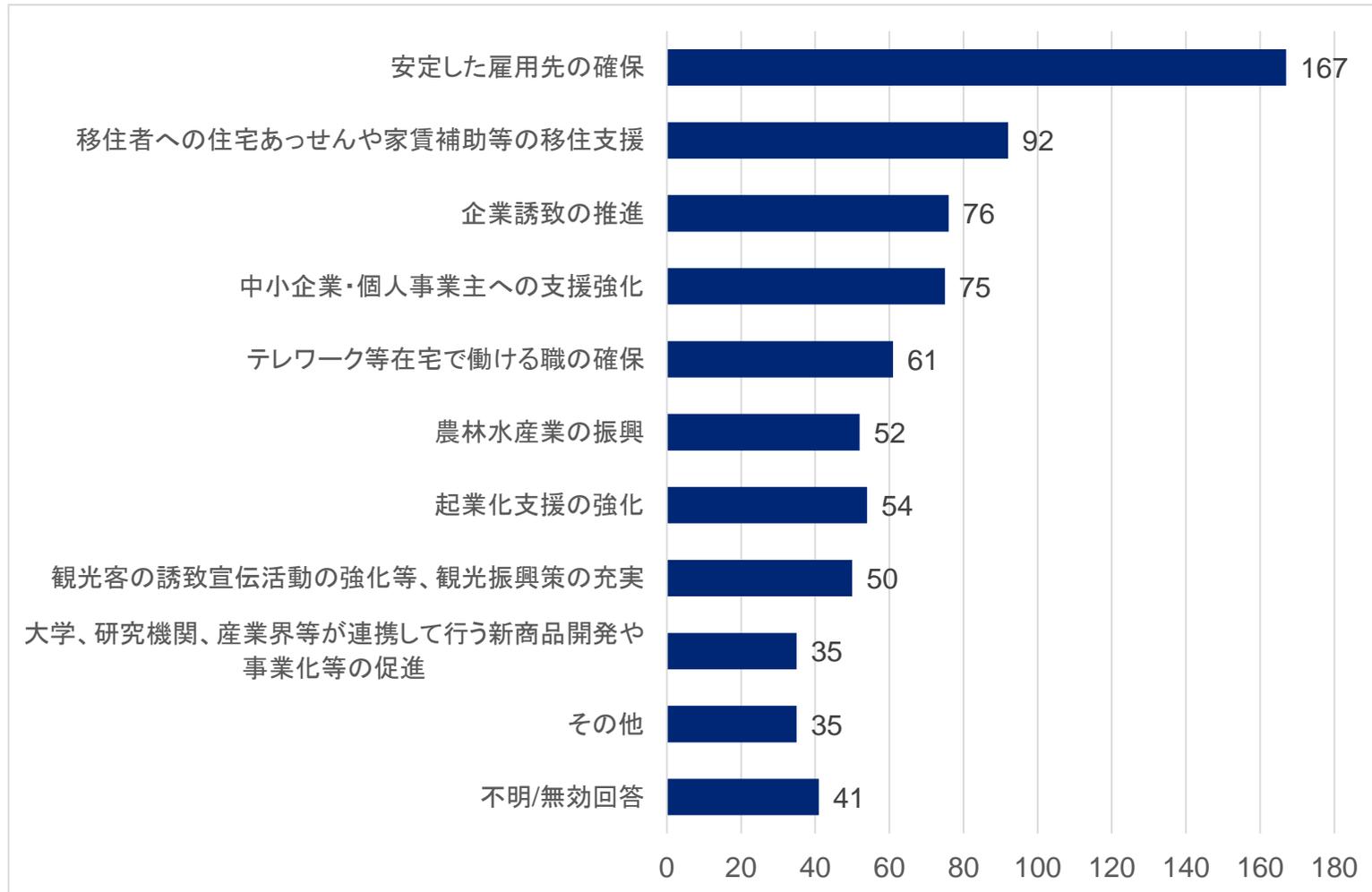
図26 【女性】ニセコ町が働きにくいと感じる理由(2つまで回答可)



出所：ニセコ町町民アンケート

【問4】働きやすさを向上するために取り組むべきこととして、「安定した雇用先の確保」が最も多くなっています

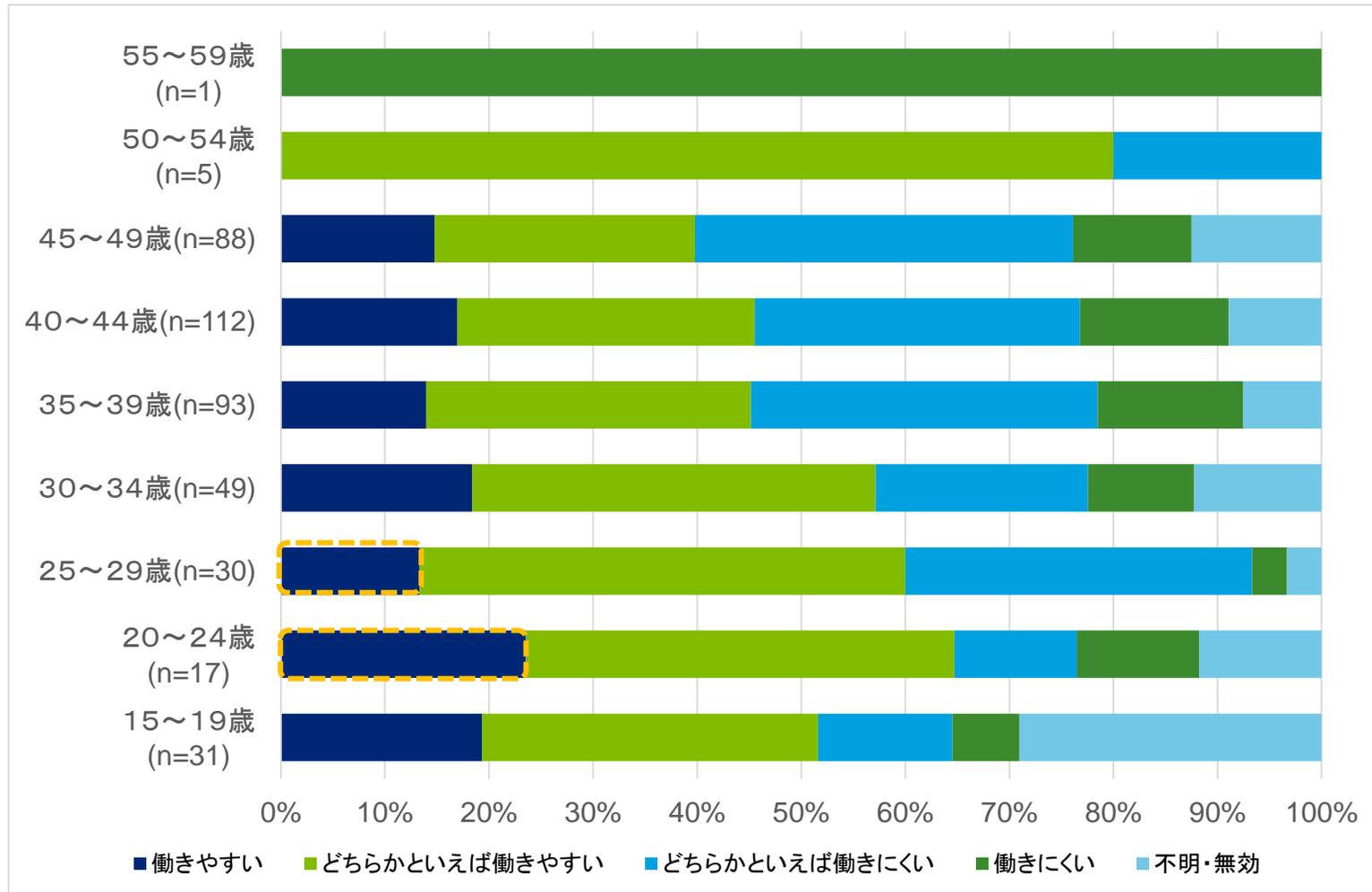
図27 働きやすさを向上するために取り組むべきこと(2つまで回答可)



出所：ニセコ町町民アンケート

【生産年齢階層別】「働きやすい」と回答した割合は、20～24歳で最も多く、25～29歳で最も低くなっています

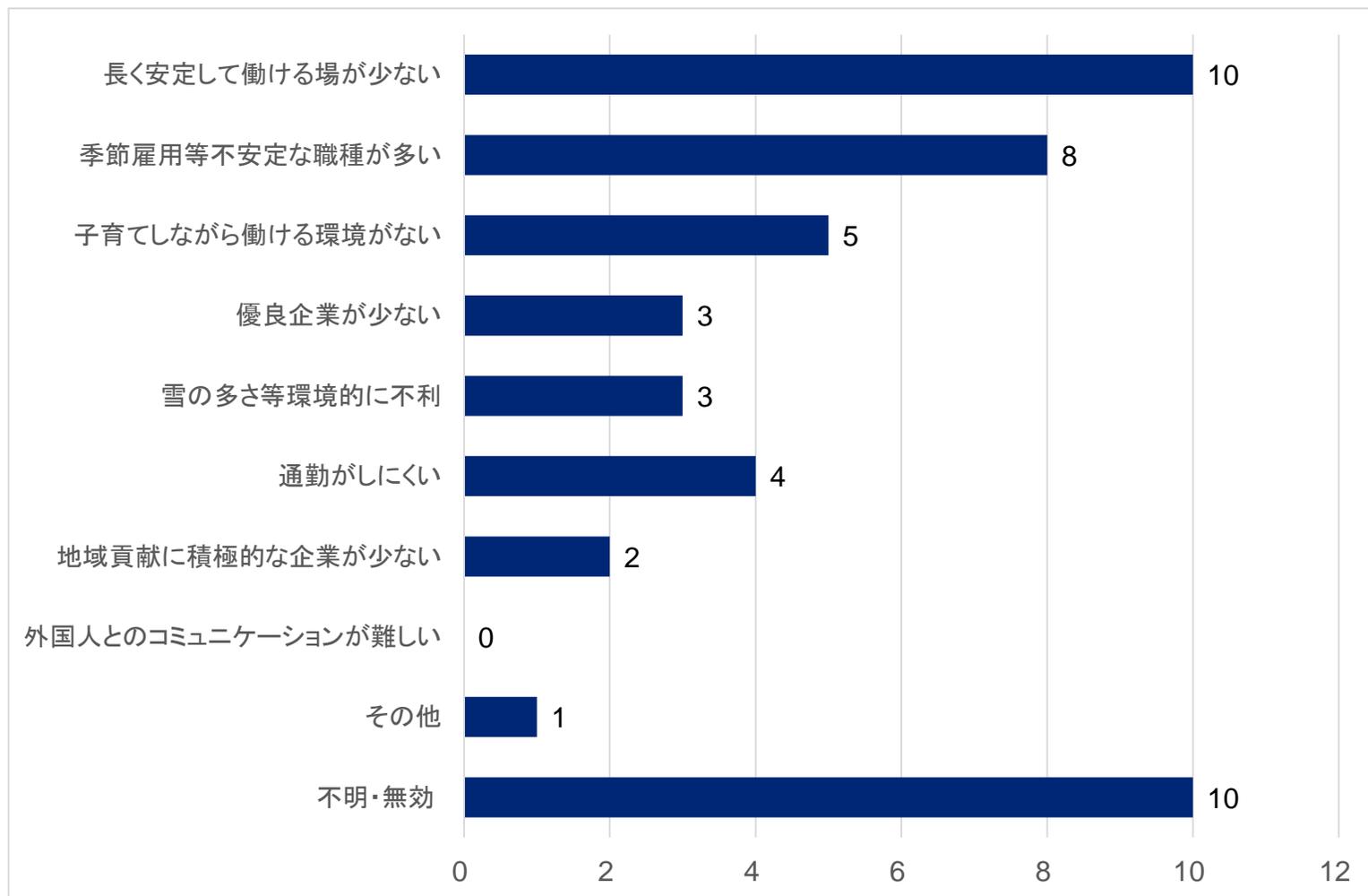
図28 【生産年齢階層別*】ニセコ町の働きやすさについて



* 生産年齢とは15以上65未満の人口を指すが、本アンケートでは60～65歳に該当する年齢層の回答がなかったため、55～59歳までとしている
 出所：ニセコ町町民アンケート

25～29歳が働きにくいと感じる理由としては、「長く安定して働ける場が少ない」が最も多く、「季節雇用等不安定な職種が多い」が次いで多くなっています

図29 【25～29歳】ニセコ町が働きにくいと感じる理由(2つまで回答可)



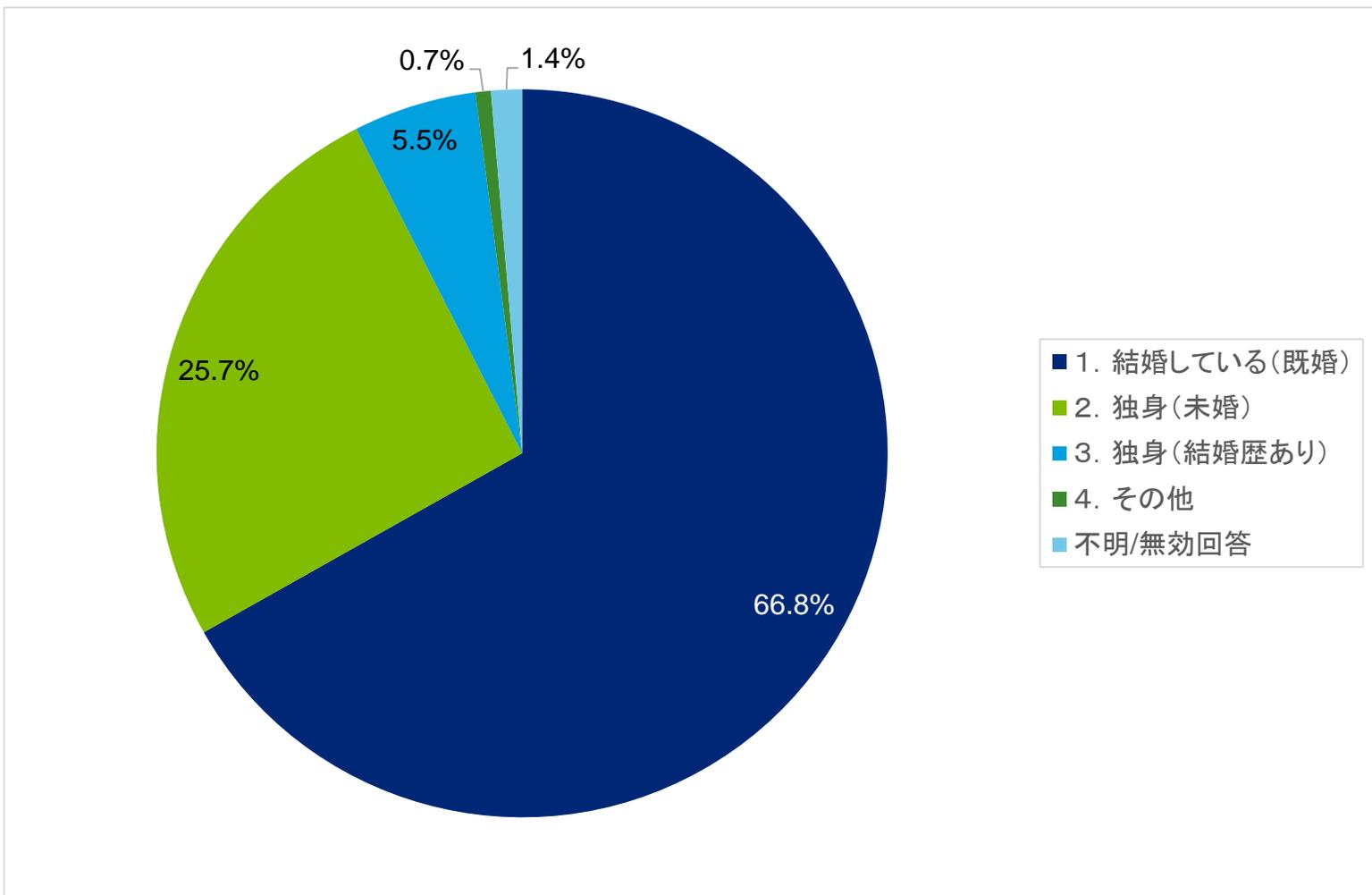
出所：ニセコ町町民アンケート

**(4) 結婚・出産・子育てについて
【問5～問10】**

【問5】

アンケート回答者のうち、66.8%の人が「結婚している」と回答しています

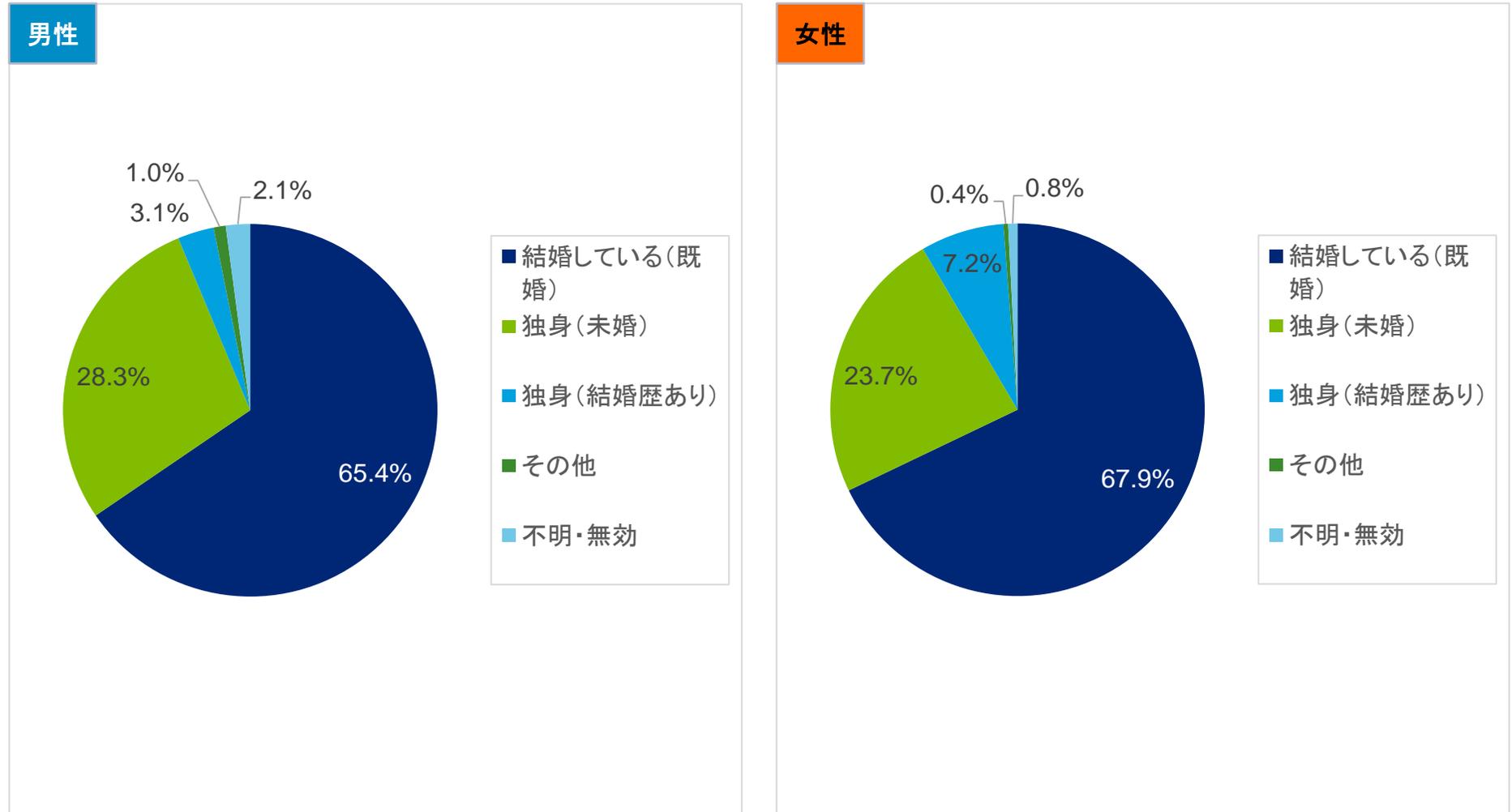
図30 現在結婚しているかどうか



出所：ニセコ町町民アンケート

【男女別】結婚していると回答した人の割合は、女性が67.9%と男性よりも高くなっています

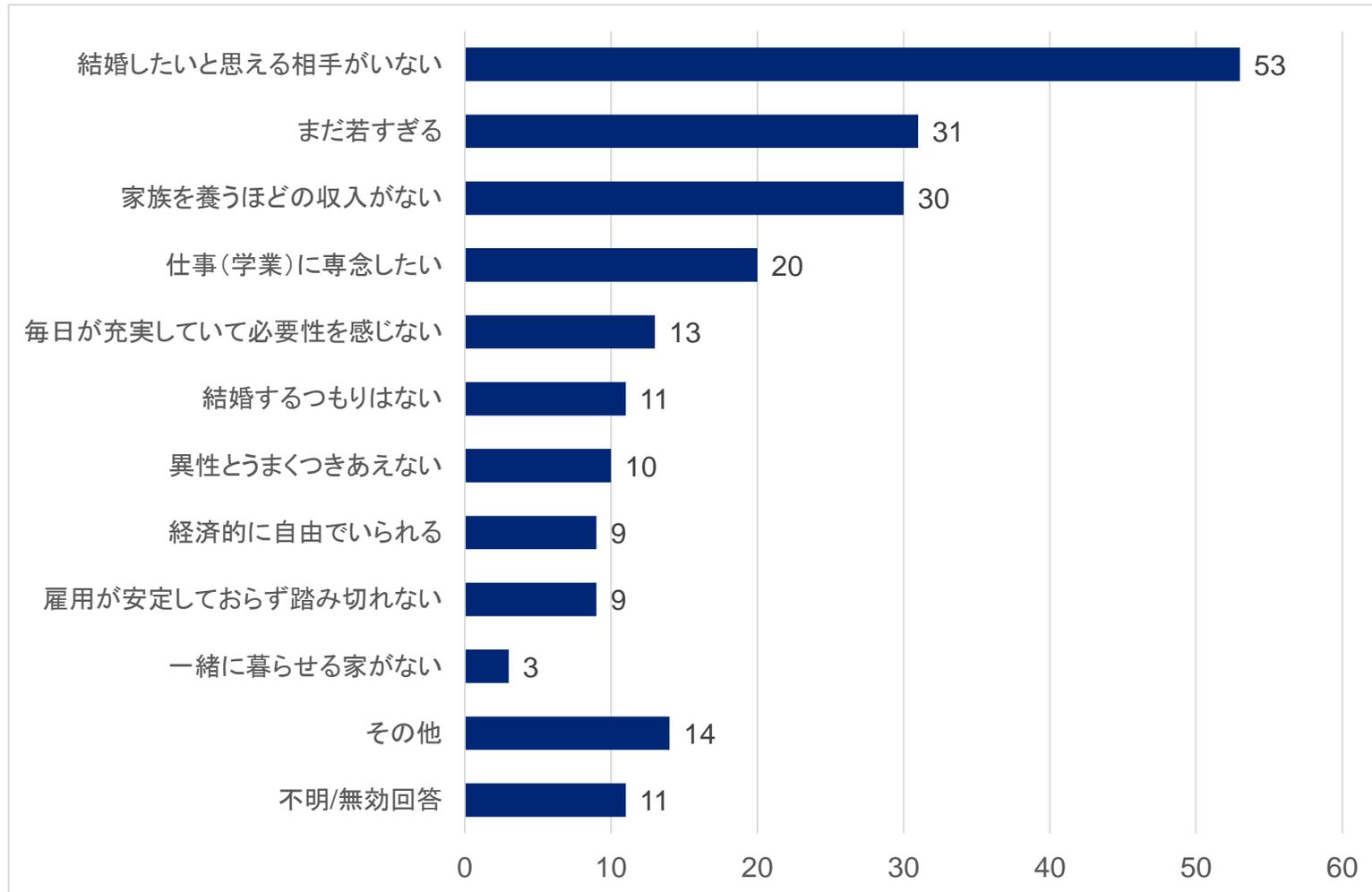
図31 【男女別】現在結婚しているかどうか



出所：ニセコ町町民アンケート

【問6】結婚していない理由としては、「結婚したいと思える相手がない」が最も多く、次に「まだ若すぎる」と回答した人が多くなっています

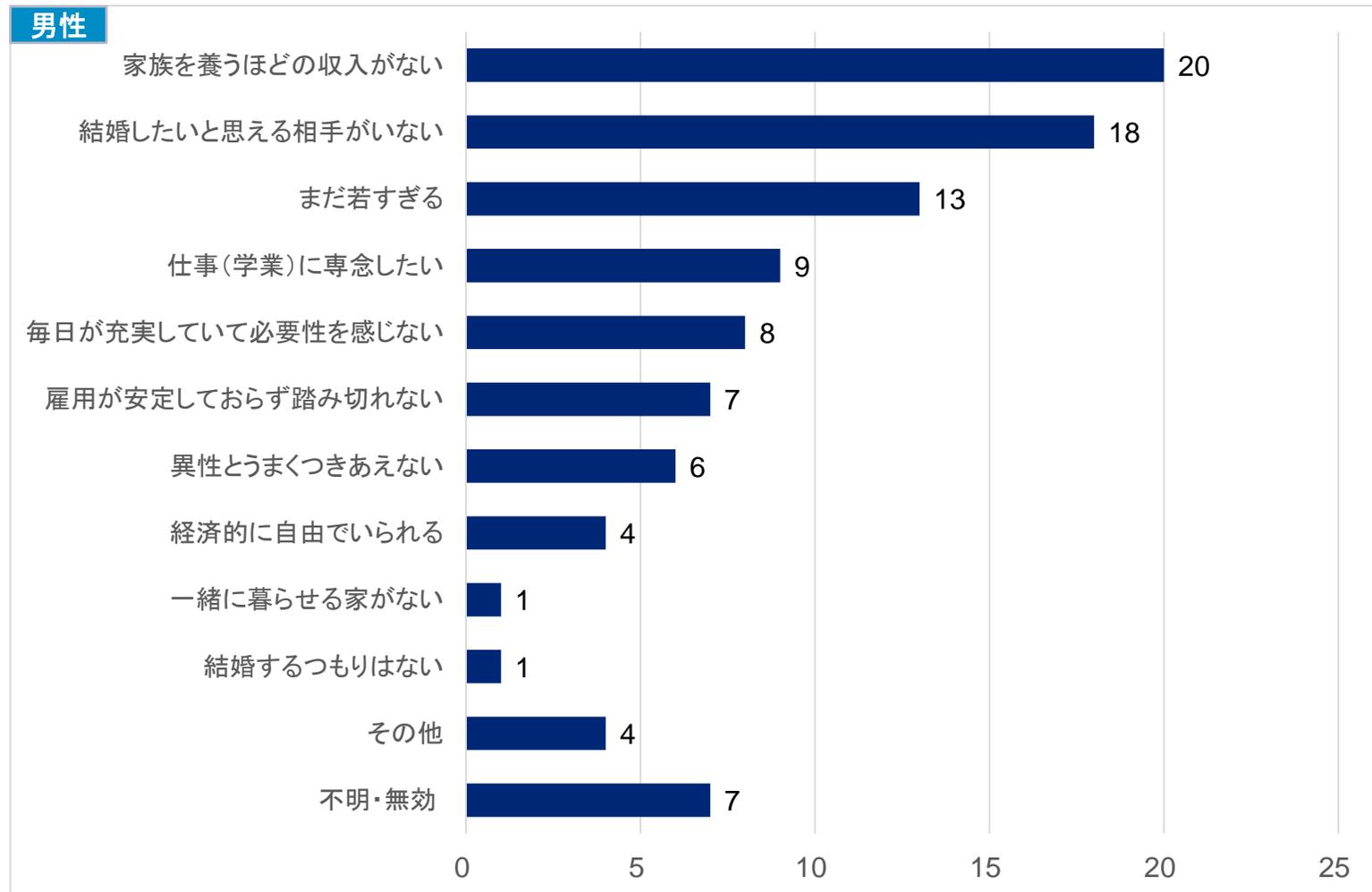
図32 結婚をしていない理由(問5で1～3を選択した回答者、2つまで回答可)



出所：ニセコ町町民アンケート

【男女別】結婚をしていない男性の理由としては、「家族を養うほどの収入がない」が最も多く、次に「結婚したいと思える相手がいない」が多くなっています

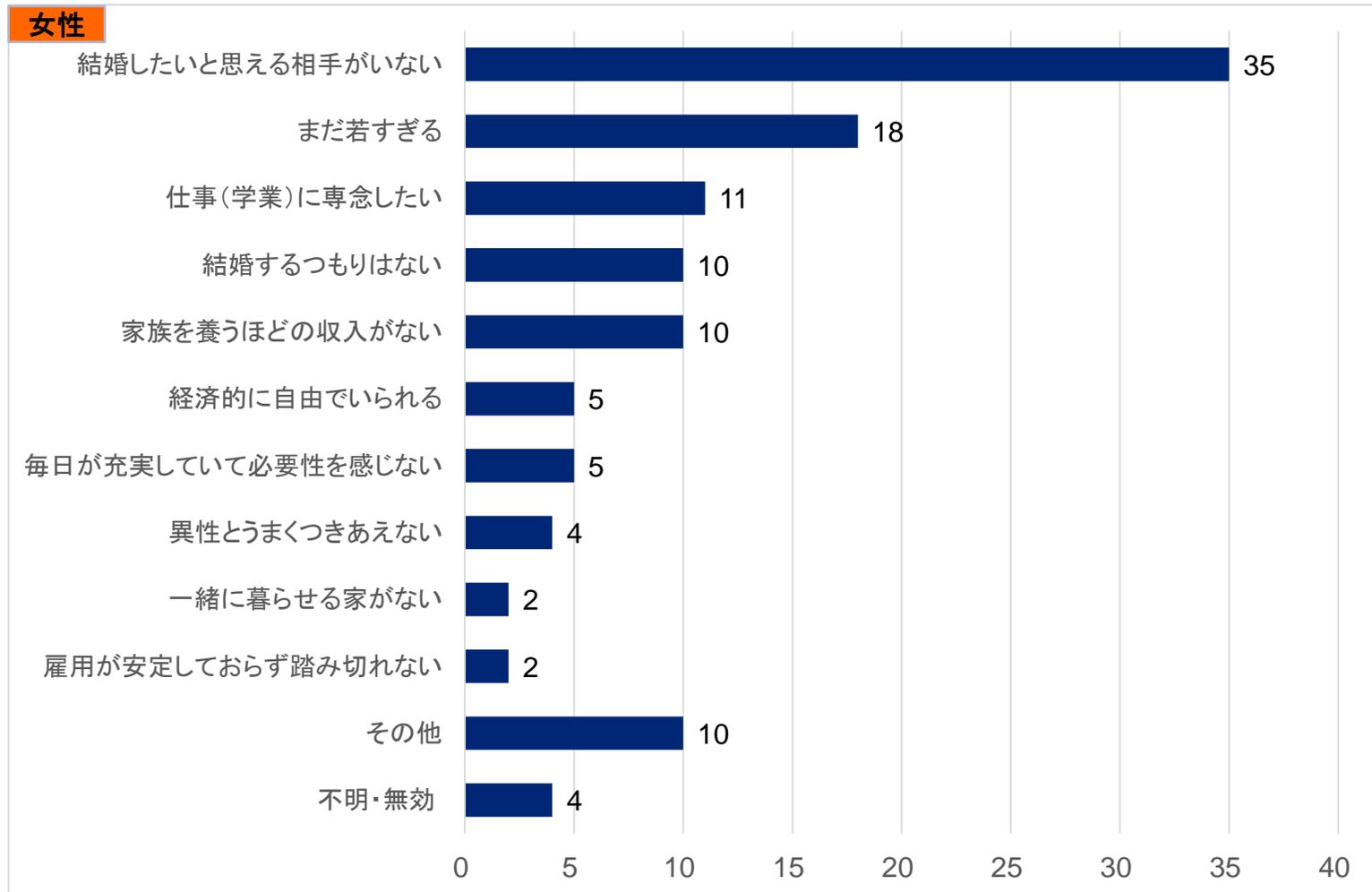
図33 【男性】結婚をしていない理由(問5で1~3を選択した回答者、2つまで回答可)



出所：ニセコ町町民アンケート

【男女別】結婚をしていない女性の理由としては、「結婚したいと思える相手がない」が最も多く、次に「まだ若い」が多くなっています

図34 【女性】結婚をしていない理由(問5で1~3を選択した回答者、2つまで回答可)

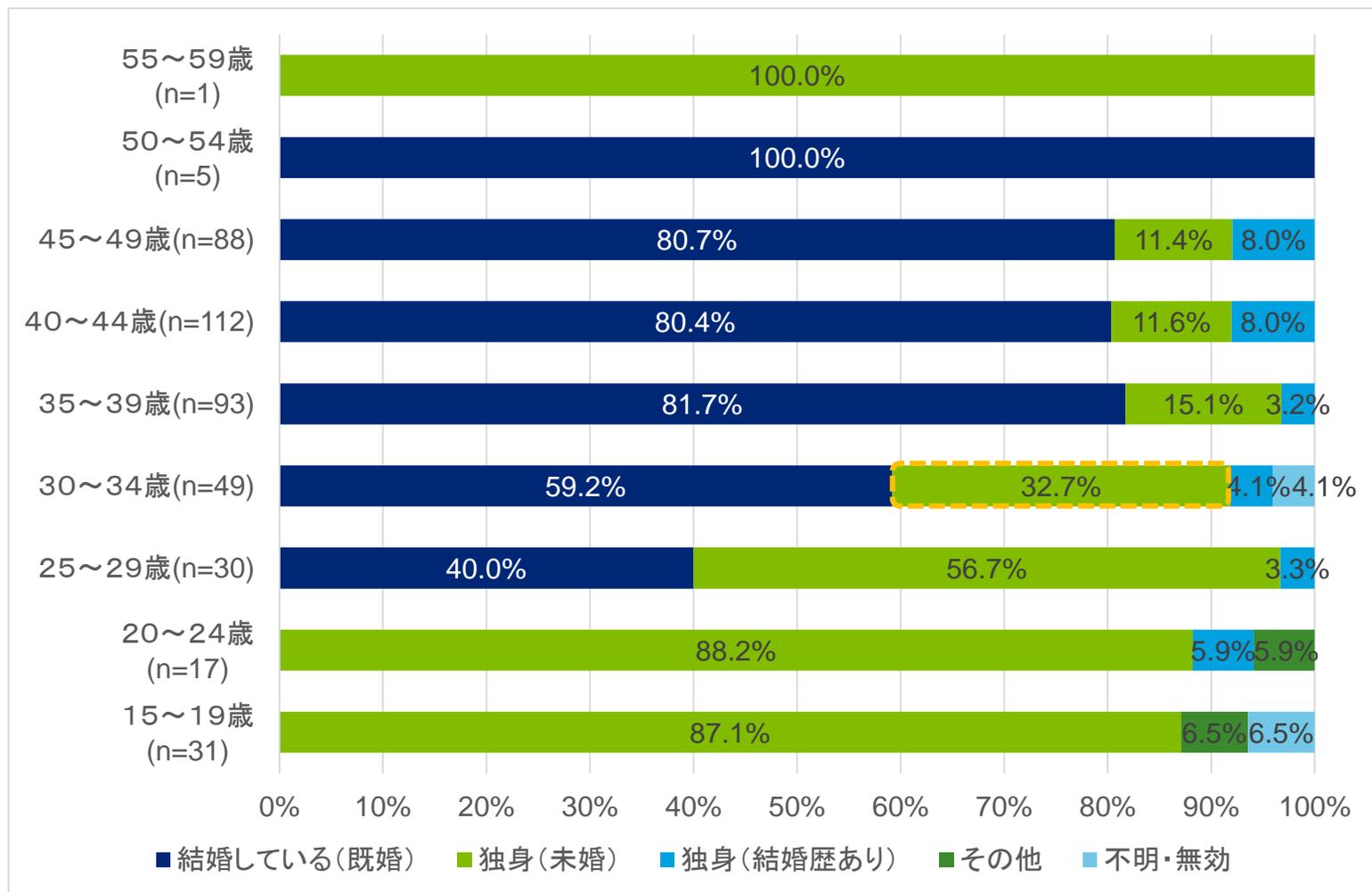


出所：ニセコ町町民アンケート

【生産年齢別】

30～34歳の回答者のうち、約3割が「独身(未婚)」と回答しています

図35 【生産年齢階層別*】現在結婚しているかどうか

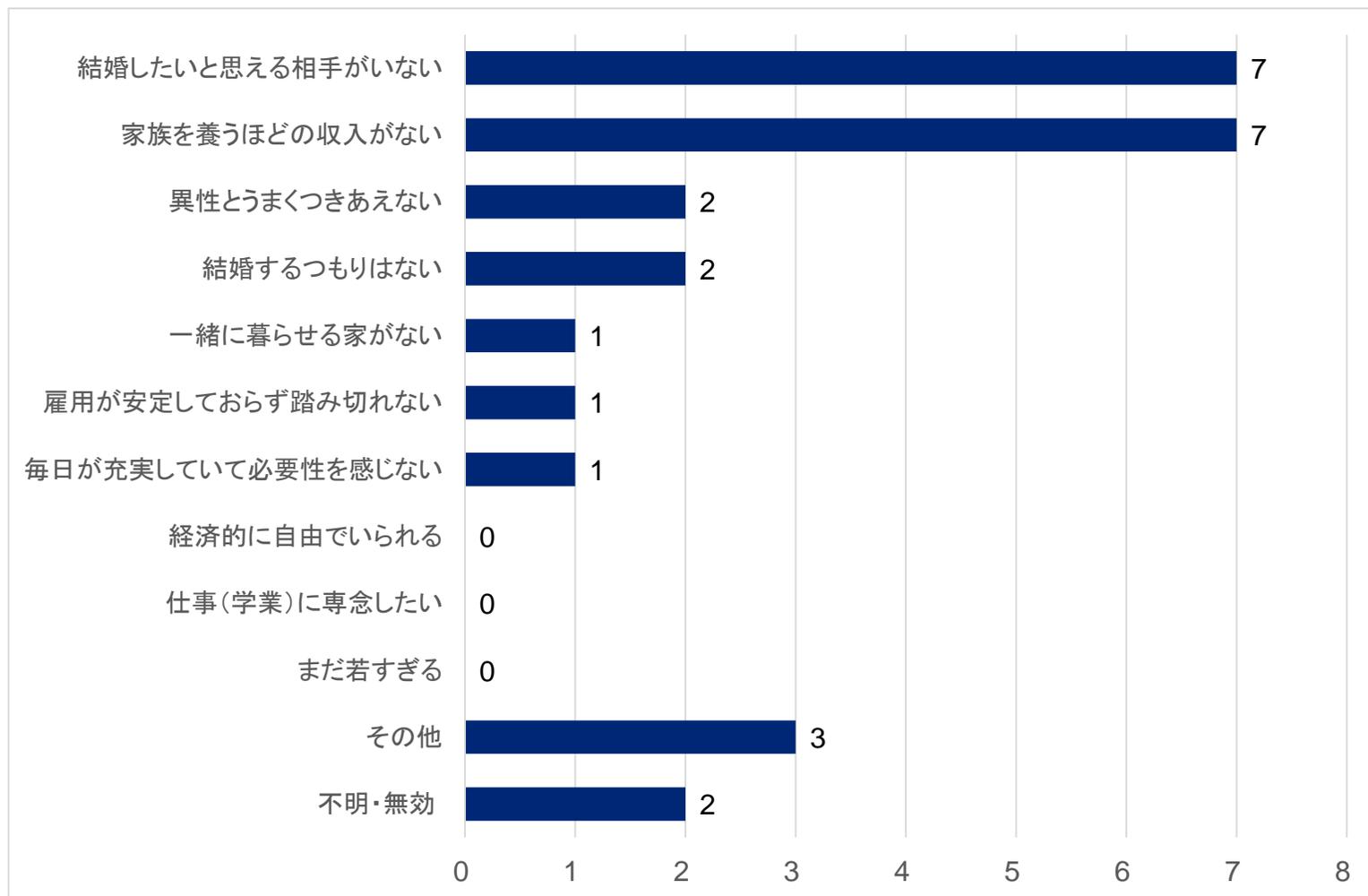


* 生産年齢とは15以上65未満の人口を指すが、本アンケートでは60～65歳に該当する年齢層の回答がなかったため、55～59歳までとしている

出所：ニセコ町町民アンケート

30～34歳が結婚をしていない理由としては、「結婚したいと思える相手がない」と「家族を養うほどの収入がない」と回答した人が最も多くなっています

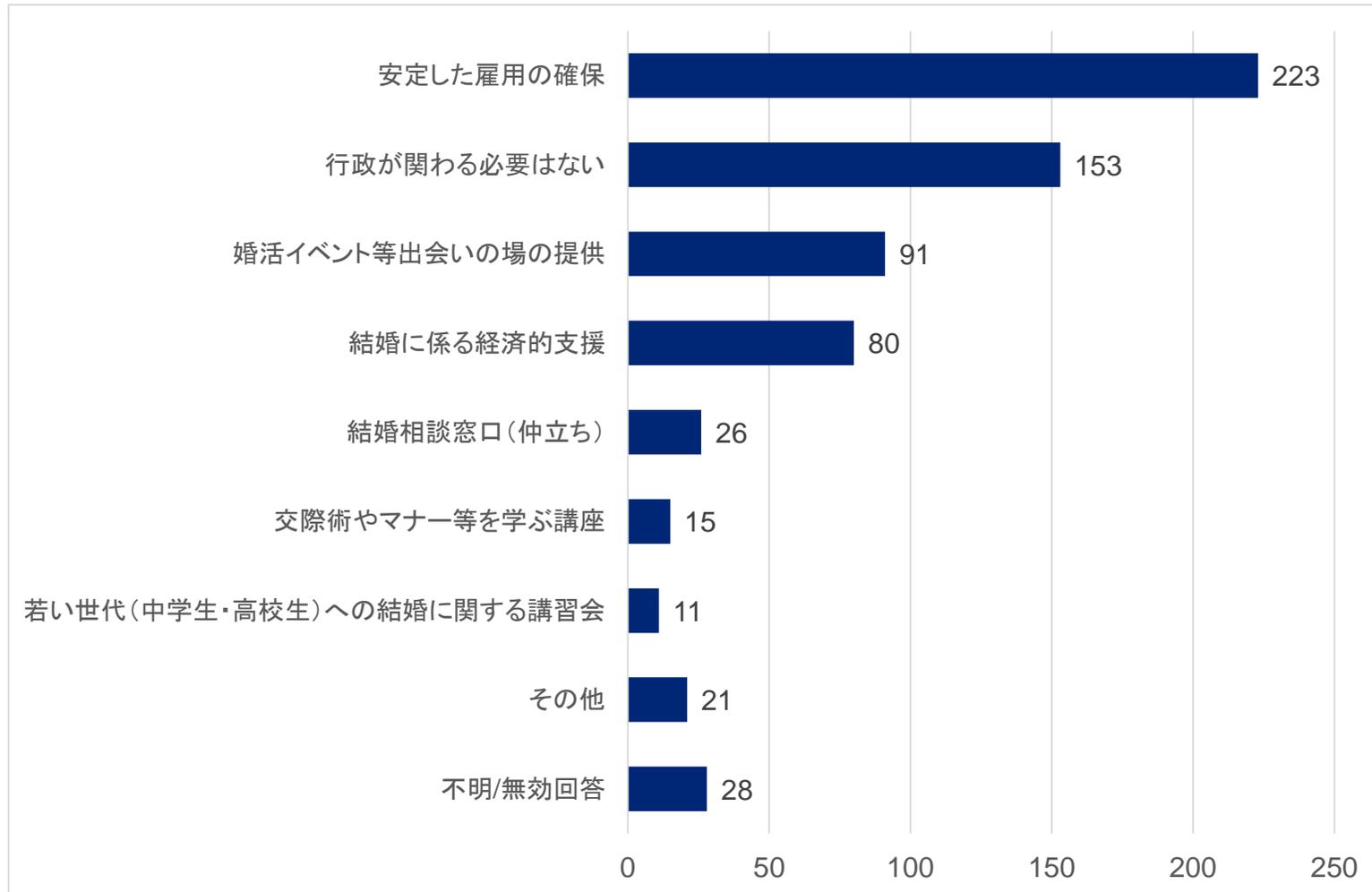
図36 結婚をしていない理由(問5で1～3を選択した回答者、2つまで回答可)



出所：ニセコ町町民アンケート

【問7】行政が結婚を支援するために取り組むべきこととしては、「安定した雇用の確保」が最も多く、「行政が関わる必要はない」が次いで多くなっています

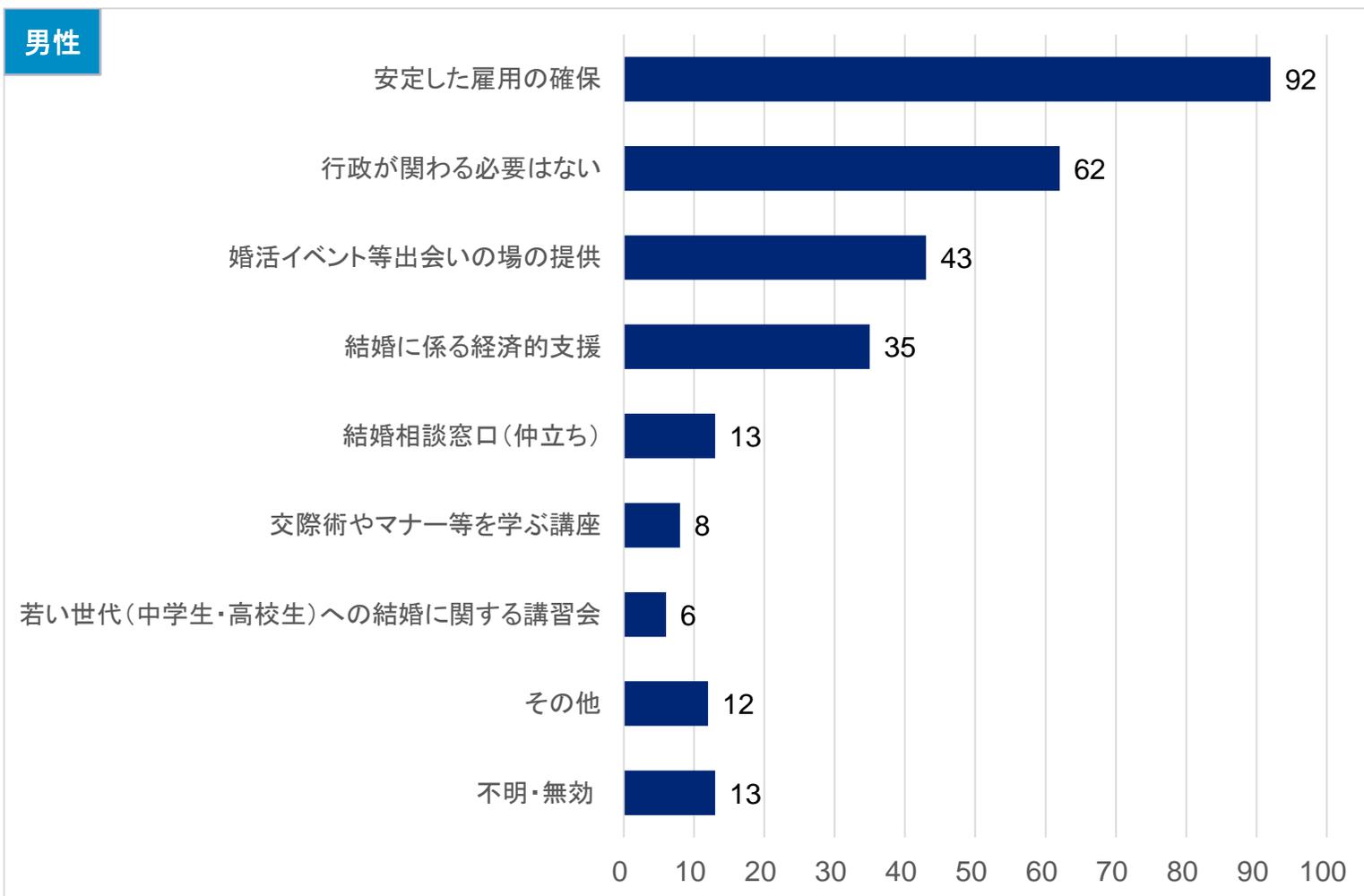
図37 行政が結婚を支援するために取り組むべきと思うこと(2つまで回答可)



出所：ニセコ町町民アンケート

【男女別】男性では行政が結婚を支援するために取り組むべきこととしては、「安定した雇用の確保」が最も多く、「行政が関わる必要はない」が次いで多くなっています

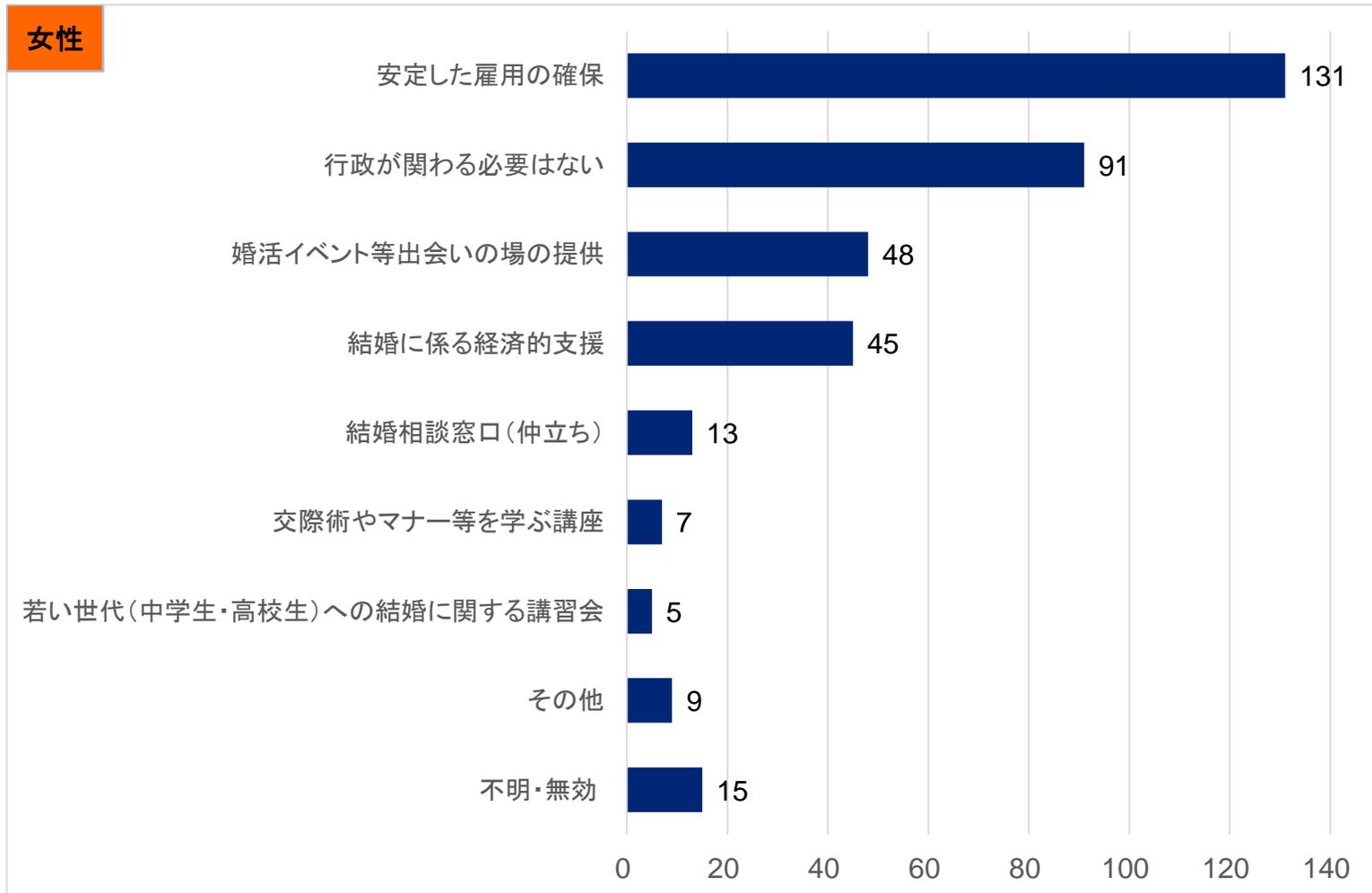
図38 【男性】行政が結婚を支援するために取り組むべきと思うこと(2つまで回答可)



出所：ニセコ町町民アンケート

【男女別】女性も男性同様、「安定した雇用の確保」が最も多く、「行政が関わる必要はない」が次いで多くなっています

図39 【女性】行政が結婚を支援するために取り組むべきと思うこと(2つまで回答可)

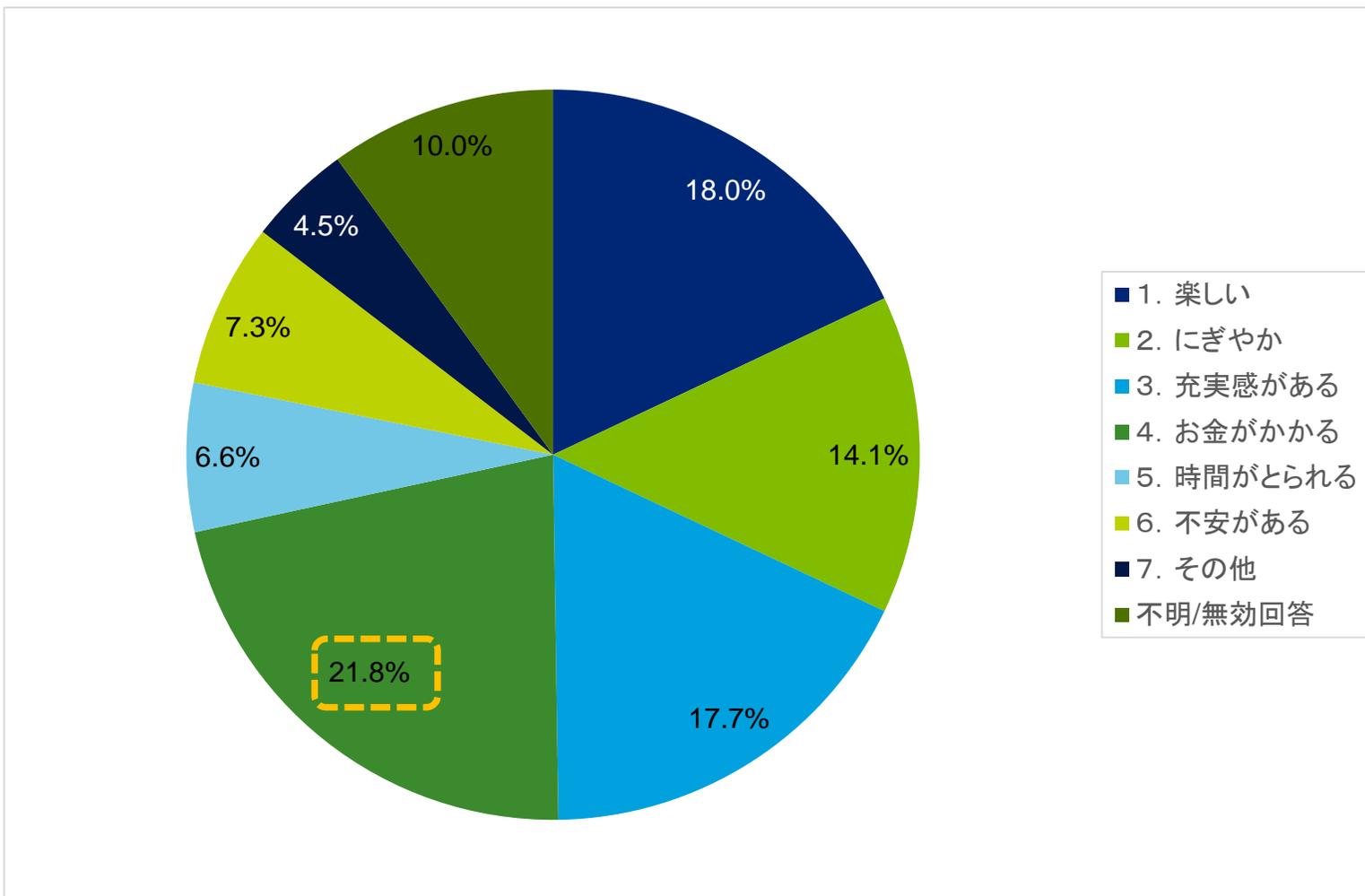


出所：ニセコ町町民アンケート

【問8】

子育てに対し、「お金がかかる」とイメージしている人が最も多くなっています

図40 子育てに対するイメージ



出所：ニセコ町町民アンケート

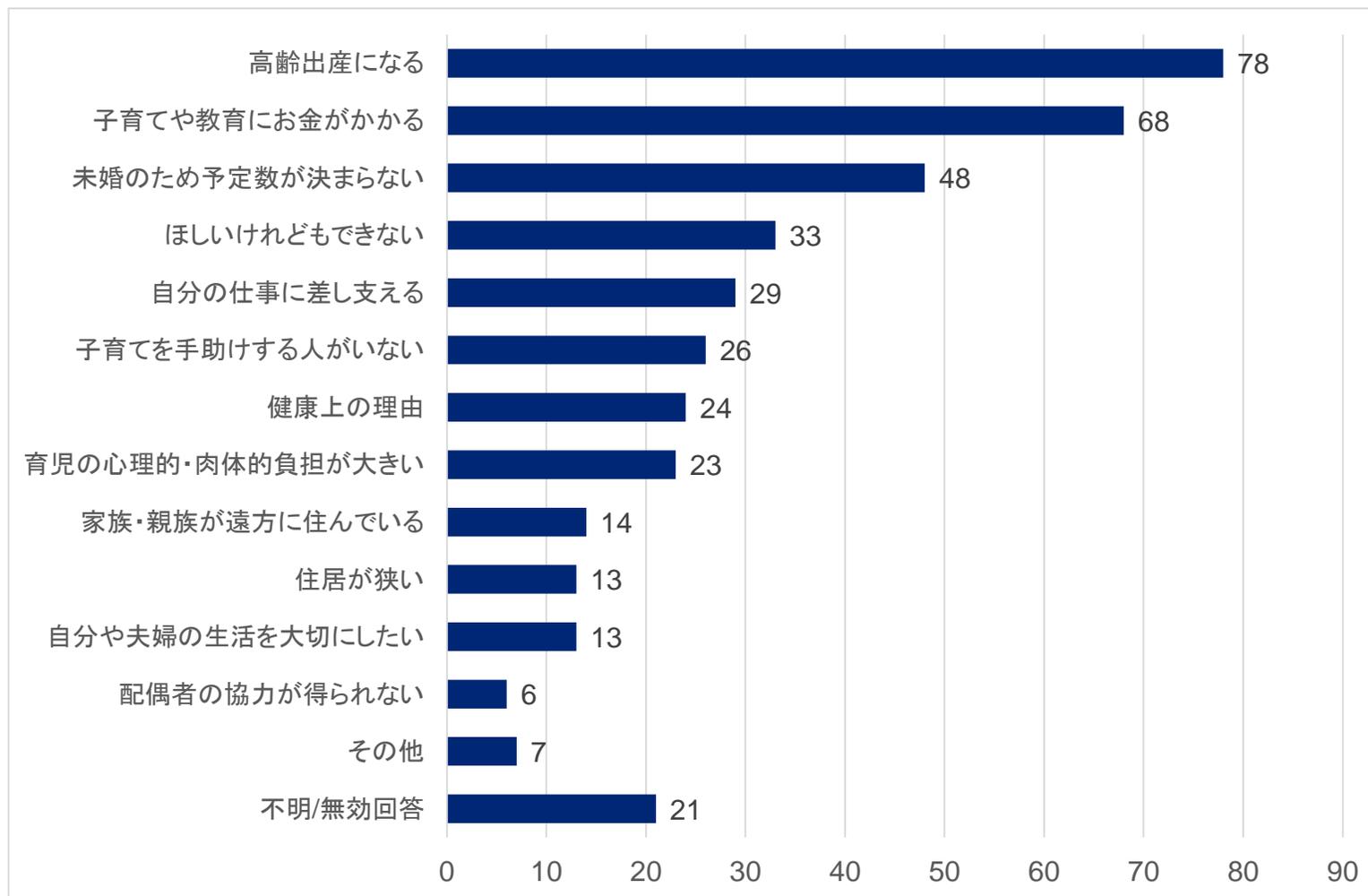
【問9】理想的な子どもの数として「2人」と回答する人が最も多く、理想的な子どもの平均値は2.33人となっています

図41 現在の子ども数、今後の子ども数、理想的な子どもの数



【問10】「現在の子どもの数」と「今後の子どもの予定数」を足した数が、「理想的な子どもの数」より少ない理由としては、「高齢出産になる」が最も多くなっています

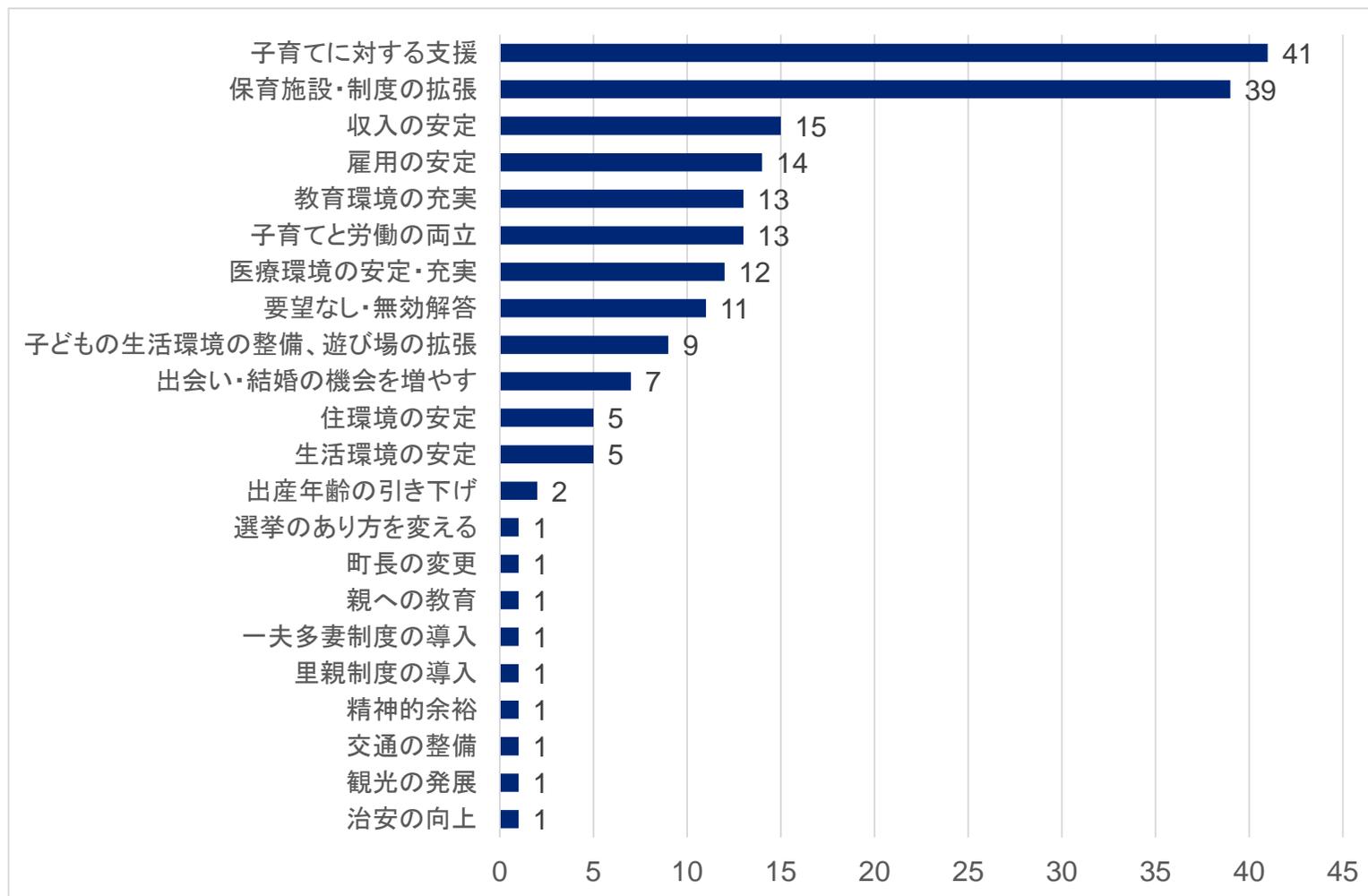
図42 問9で(A)と(B)を足した数が、(C)「理想的な子どもの数」より少ない理由



出所：ニセコ町町民アンケート

【問11】子どもの数を増やすために必要な施策としては、「子育てに対する支援」が最も多く、「保育施設・制度の拡張」、「収入の安定」、「雇用の安定」が続きます

図43 【自由記述*】「現在の子ども数」を増やすため、「理想の子ども数」を実現するために必要と思う施策



*テキストマイニングにより集計。テキストマイニングとは定型化されていない文章の集まりを単語やフレーズに分解し、出現頻度や相関関係を分析して有用な情報を抽出する手法。 出所：ニセコ町町民アンケート

【問11】

実際の自由記述には、下記のようなものがありました

【自由記述】_記述例

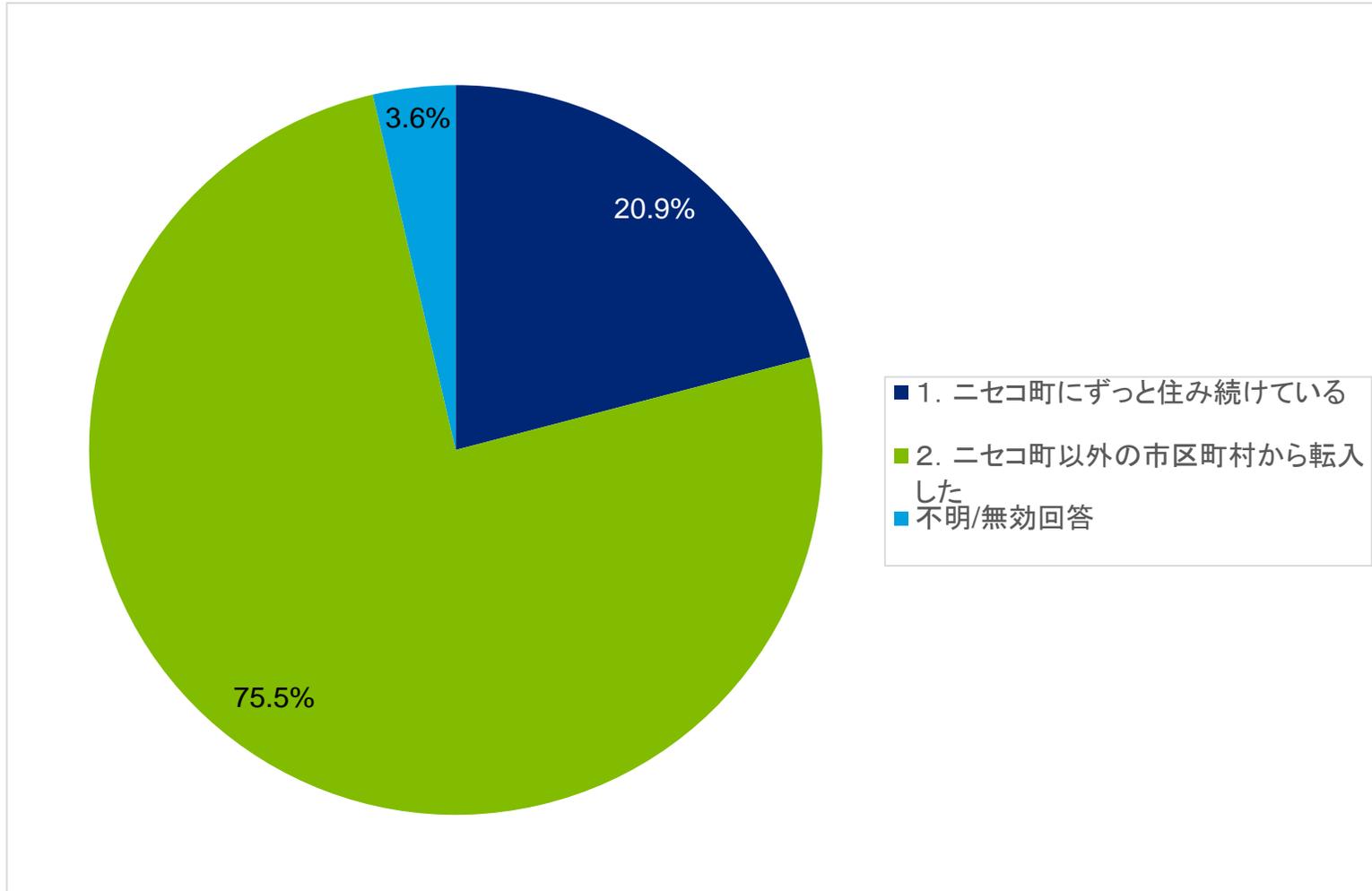
- 赤ちゃんのいるお母さんがたが集まれる場の提供。保育所等の拡充。
- 3世代で住んでいると、家計が別でも祖父母の収入も保育料に反映されているのがおかしいと思う。(幼児センター)通園バスがないのが不便(特に冬)。
- 独身の人には出会いの場を。子どもがほしいが金銭面で悩む人が多いと思うので、その補助があつたらいいと思います。
- 安定した雇用。移住者が多く、親族が遠方に住んでいる人が多いので、保育所の利便性を拡大させるなどのサポートをする。共働きをしながら安心して子どもを預けられる場所を充実させる。住宅の確保が困難なのが現状、もっと増やしてほしい。
- 共働きしたいが、子どもが病気になった時に見てくれる人(親)がいない(親は札幌)ので、働きに出られず困っている。そういう子を預かってくれる人がほしい(民間でもいいから)。→ひまな高齢者を登録制にして預かりが発生した時だけみてもらえたらよい。我が家はこれがネックになってニセコ町に定住するのをあきらめました。
- 子どもや家族が楽しめるレクリエーション施設を作る。学校や教育の充実。母親が子どもを安心して預けることのできる施設(しかも低料金)を作る。
- 保育時間を長くする。休日保育、協力保育をなくす。別途お金がかからないようにする。一人親世帯への灯油以外のサービスがほしいです(ガソリン代、光熱費など)。
- 冬季など子供と外出が減る時の子育て体験談が聞けたりする施設(相談できるところ。例・・保健師など健康上の心配を専門的にアドバイスしてくれる窓口も必要)健康上、不安があると母親はストレスを感じるから。
- 子育て世代でもできるパートが少ない。土日祝休みの募集が少ない。子供を預ける場所が少ない。幼児センターの受け入れを増やしてほしい。

出所：ニセコ町町民アンケート

(5) 転入について
【問12～問12-2】

【問12】回答者のうち、「ニセコ町以外の市町村から転入した」と回答した人が、75.5%を占めています

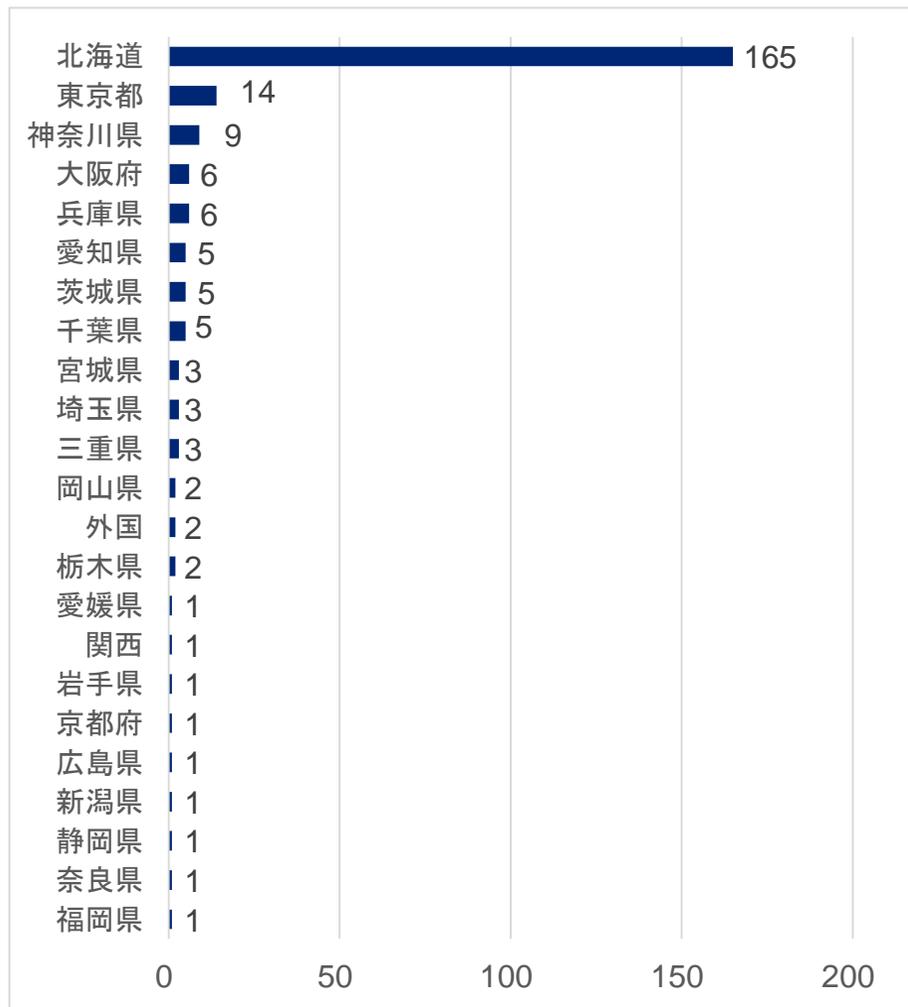
図44 転入経験について



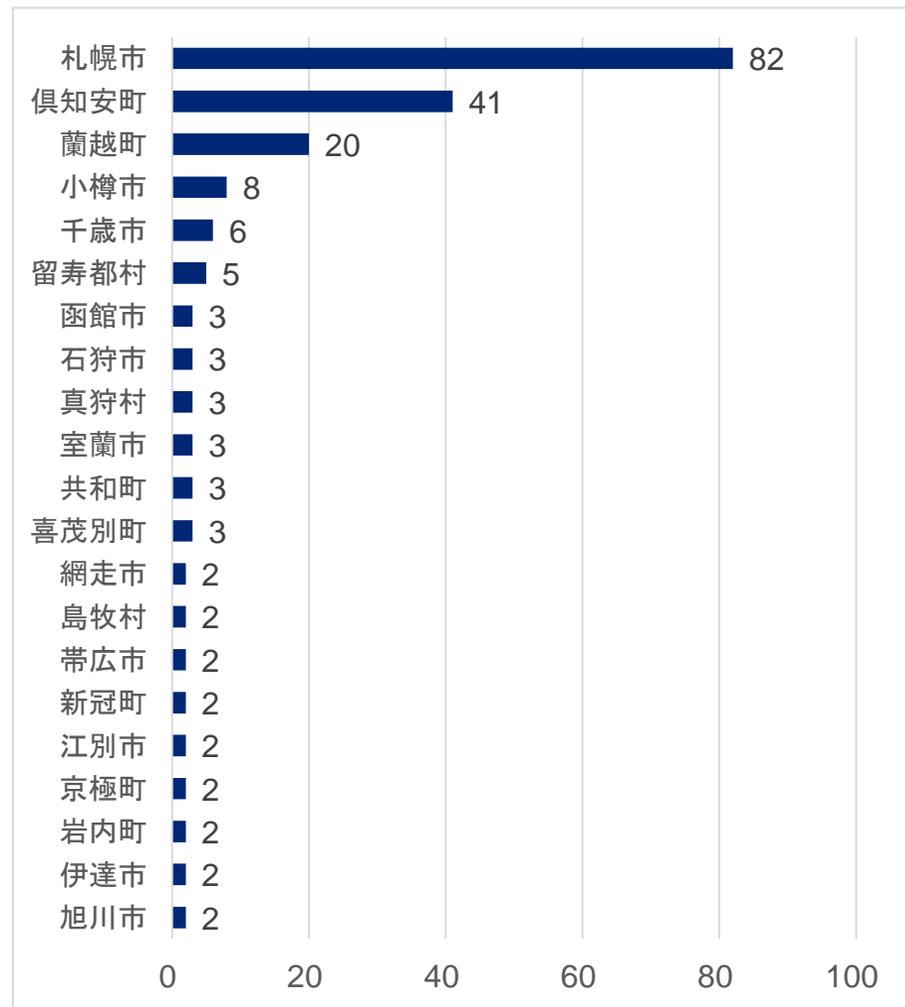
出所：ニセコ町町民アンケート

【問12】転入元で最も多いのは、北海道となっており、道内市町村で最も多かったのは札幌市となっています

図45 転入元(都道府県)



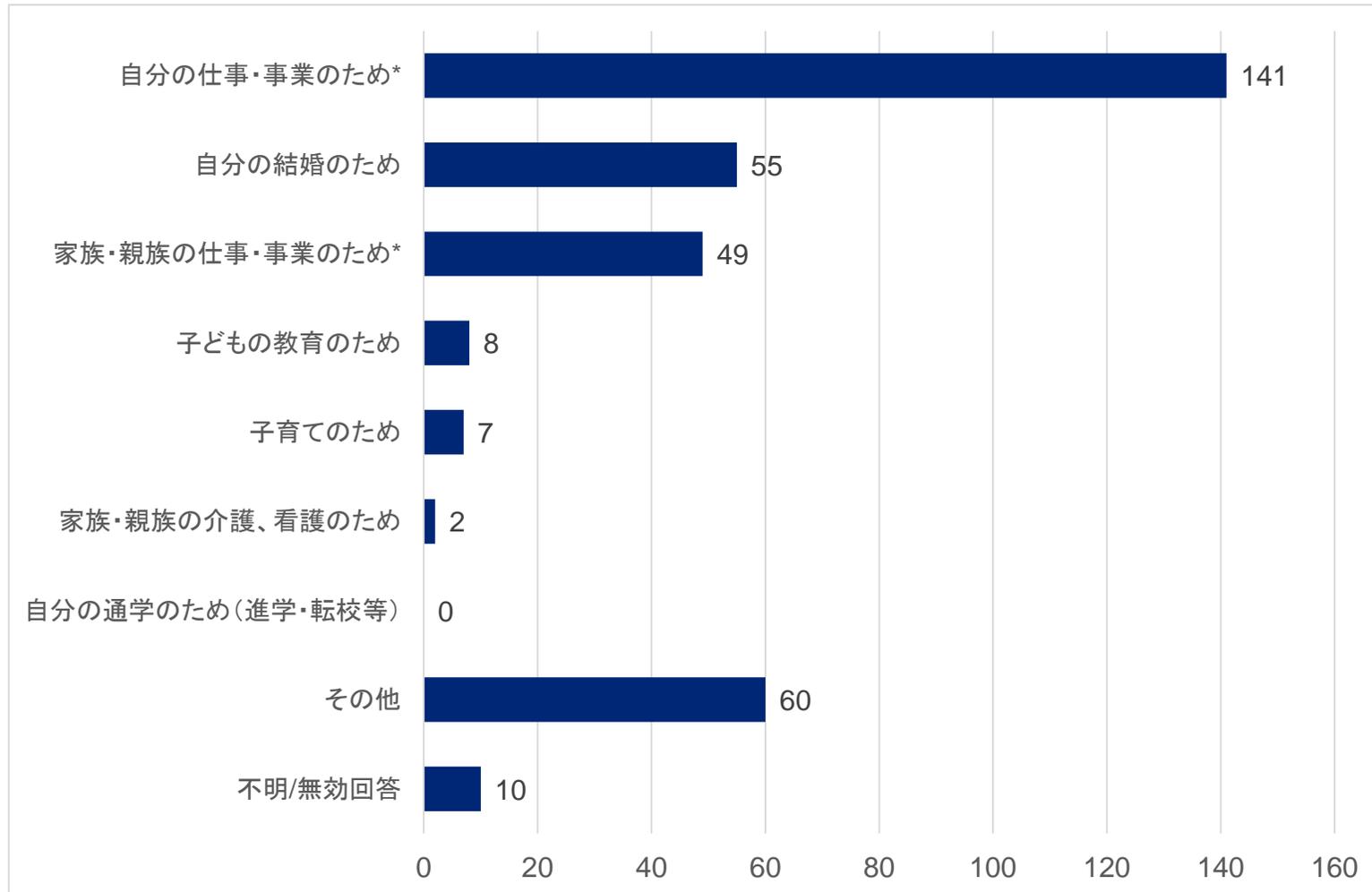
道内転入元(左のうち道内市町村からの転入者)



出所：ニセコ町町民アンケート

【問12-1】転入したきっかけとして、「自分の仕事・事業のため」と回答した人が最も多くなっています

図46 転入したきっかけ(問12で2を選択した回答者)

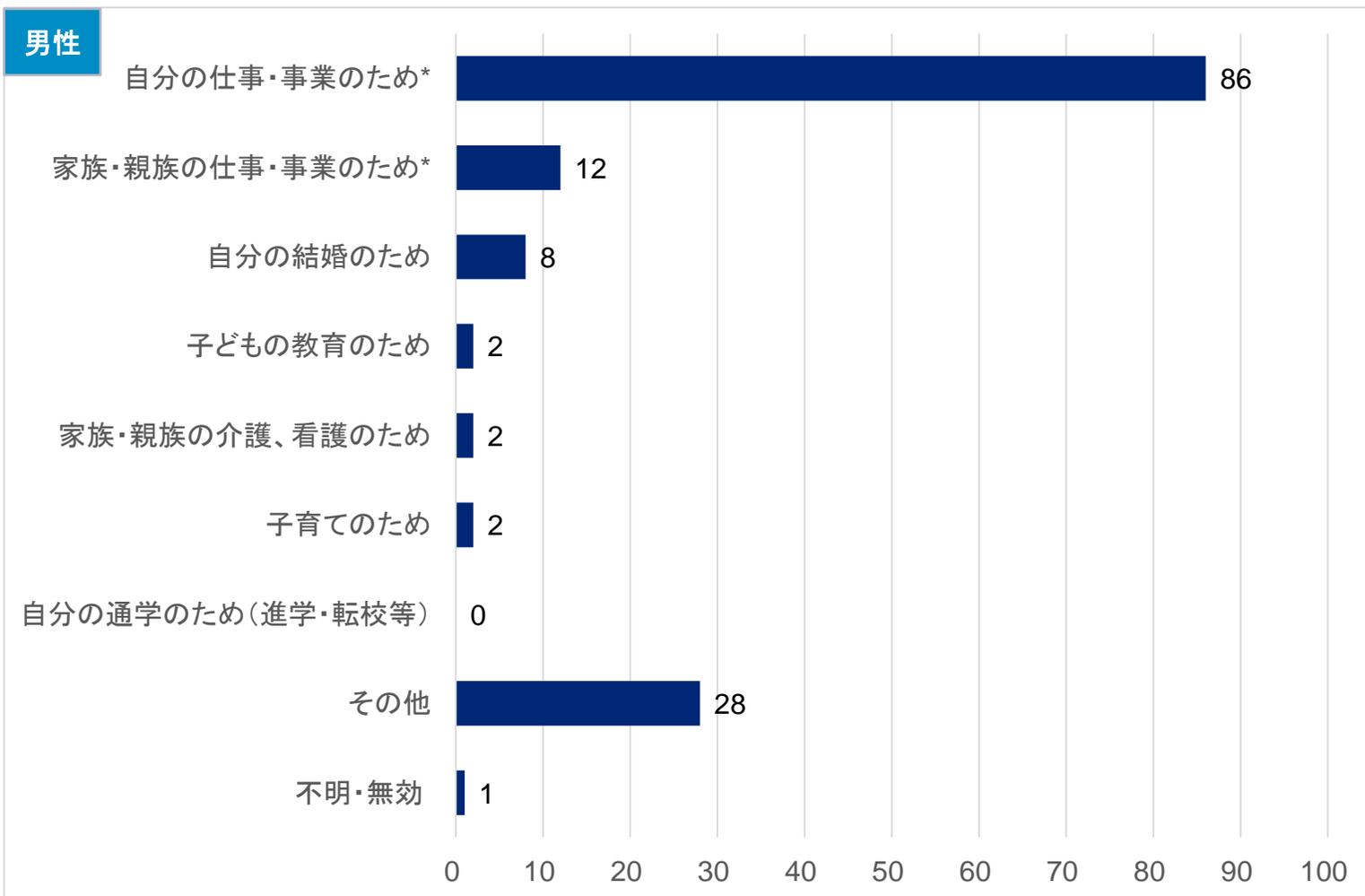


* 就職・起業・転職・退職・転勤等

出所: ニセコ町町民アンケート

【男女別】男性の場合、転入したきっかけとして、「自分の仕事・事業のため」と回答した人が最も多くなっています

図47 【男性】転入したきっかけ(問12で2を選択した回答者)

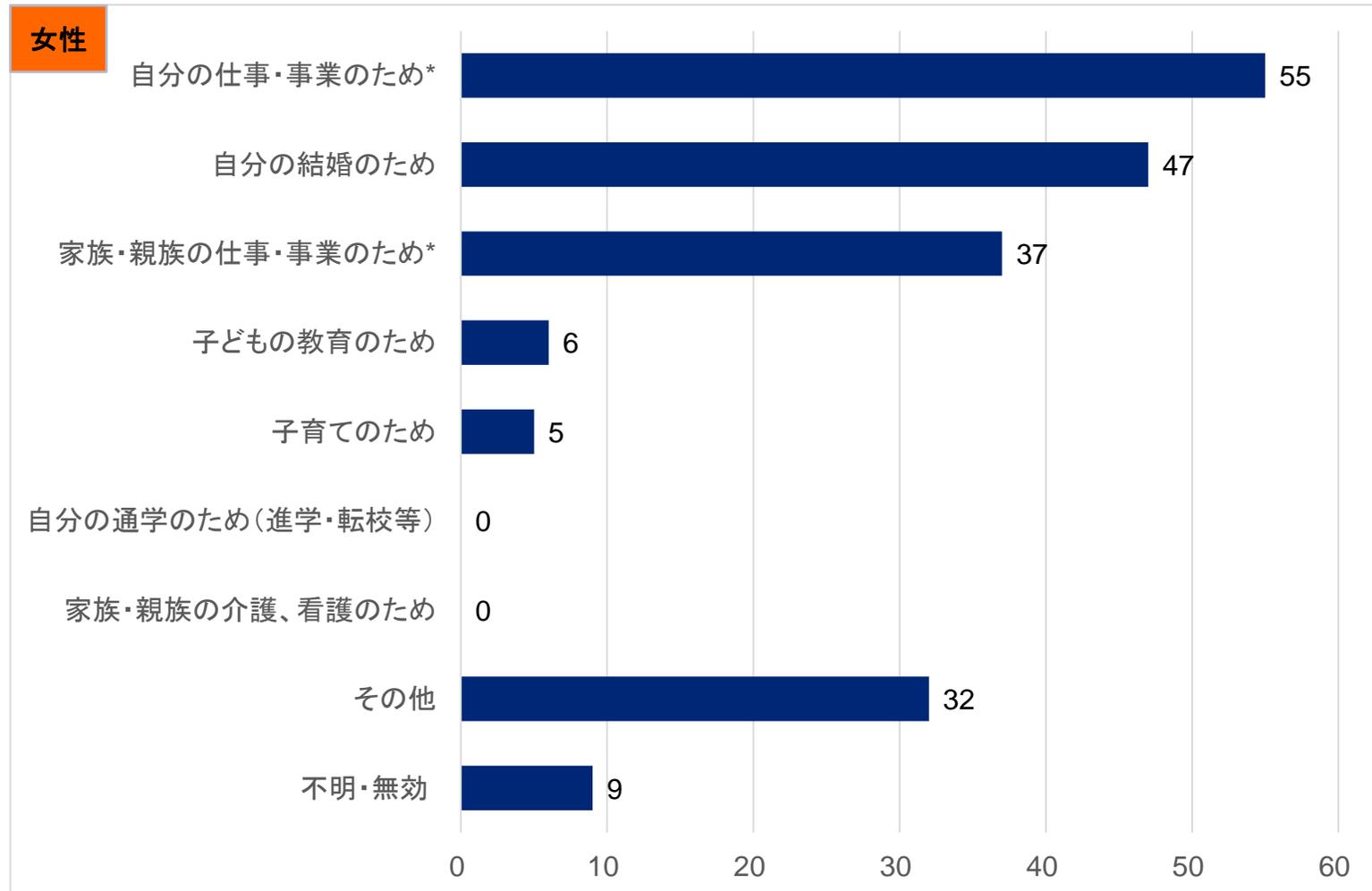


* 就職・起業・転職・退職・転勤等

出所: ニセコ町町民アンケート

【男女別】女性の場合も、転入したきっかけとして、「自分の仕事・事業のため」と回答した人が最も多く、「自分の結婚のため」が次いで多くなっています

図48 【女性】転入したきっかけ(問12で2を選択した回答者)



* 就職・起業・転職・退職・転勤等

出所: ニセコ町町民アンケート

【問12-1】

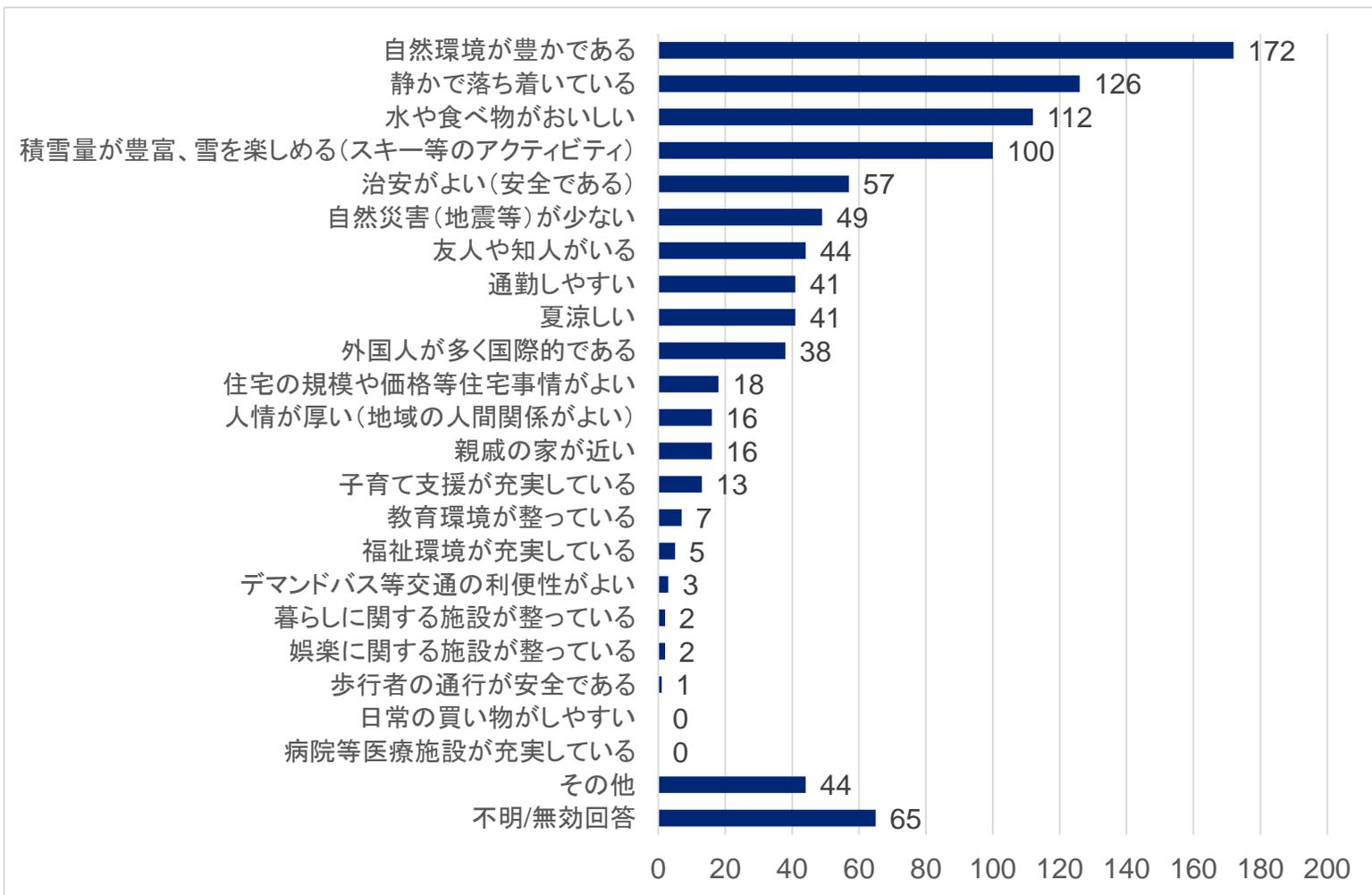
「その他」を選んだ方の回答には、下記のようなものがありました

【その他】_記述例

- 良い生活環境(自然など)の場所にすみたかったから。
- 住居購入。
- 予算に合った物件がニセコ町に見つかったため。
- 土地を購入できたため。
- スキー・スノーボードのため。
- 北海道で生活したかったため。
- ニセコ町に住みたかったから。
- 恋人と一緒に暮らすため。
- 故郷と環境が似ているから。
- 体調を崩し戻ってきた。
- 東京に住みたくないため。
- 町営住宅に入れたから。
- 自分の好きな事のため。
- 自己実現のため。

【問12-2】移住転入した際に、魅力的と感じた点について「自然環境が豊かである」が最も多くなっています

図49 移住転入先として選択した際に魅力的と感じた点(問12で2を選択した回答者、5つまで回答可)

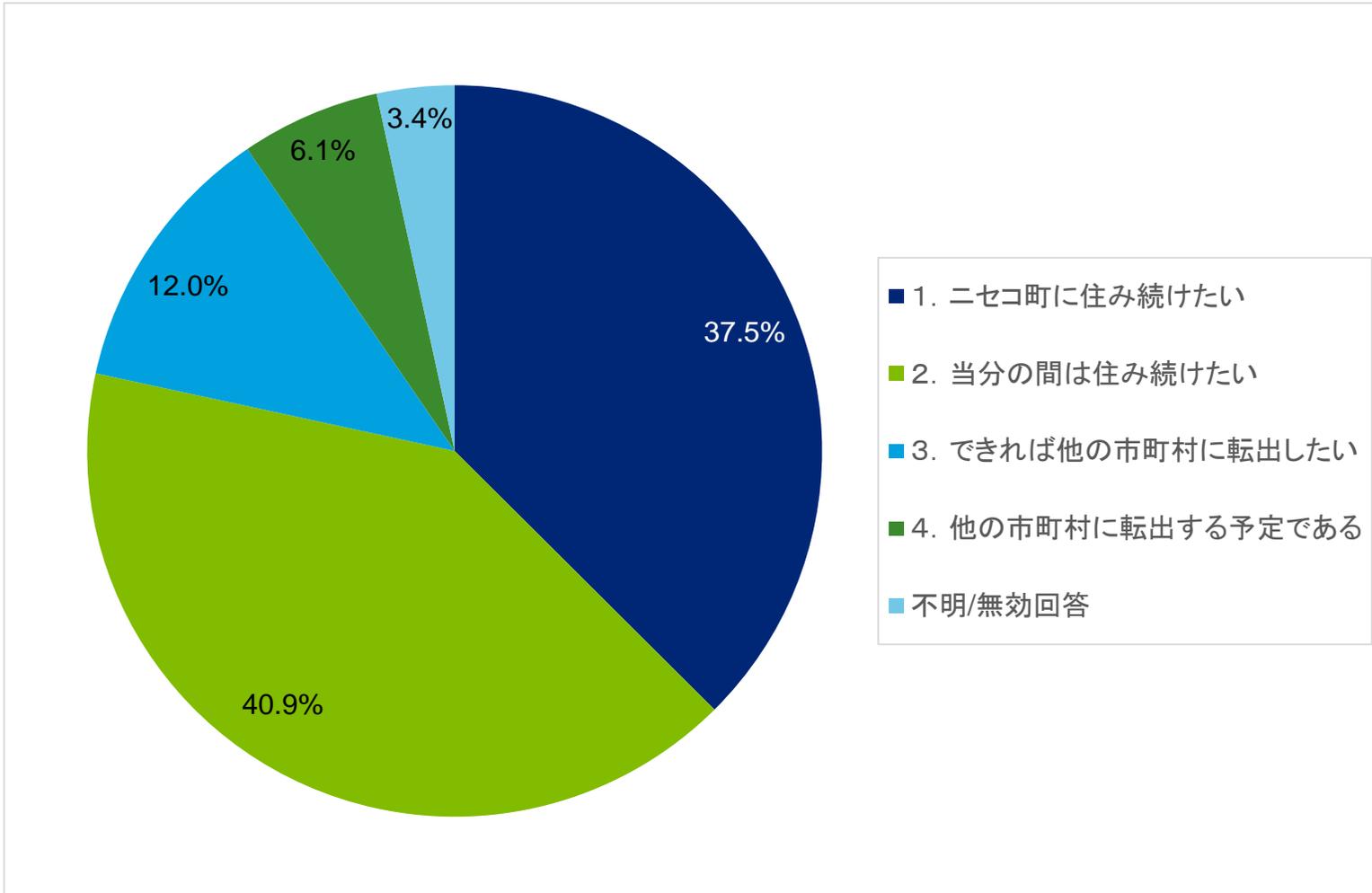


出所: ニセコ町町民アンケート

(6) 転出について
【問13～問13-2】

【問13】「ニセコ町に住み続けたい」、「当分の間は住み続けたい」と回答した人が、80%近くを占めています

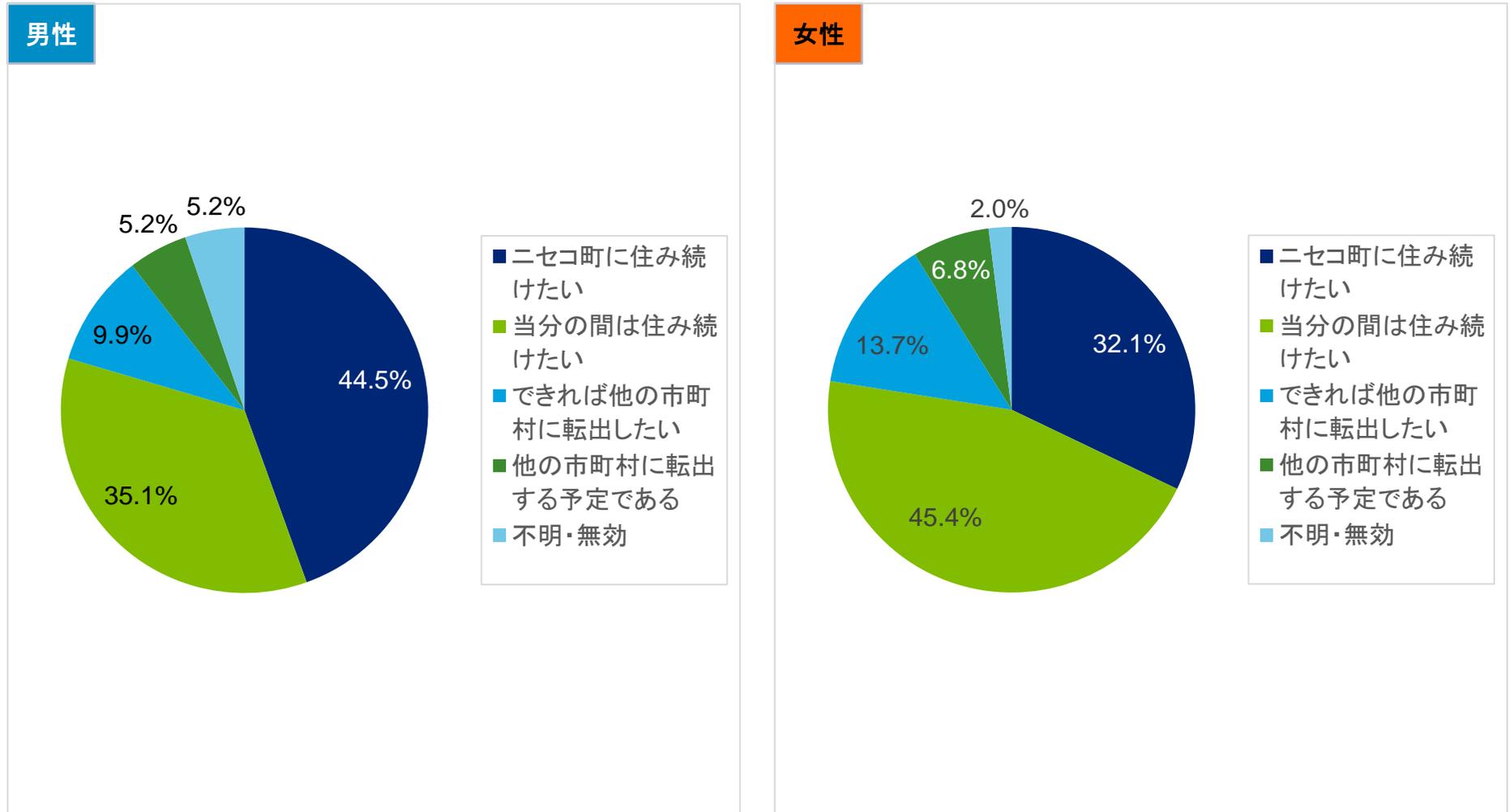
図50 今後もニセコ町に住み続けたいか



出所：ニセコ町町民アンケート

【男女別】「ニセコ町に住み続けたい」と回答した割合は、男性が44.5%と女性よりも多くなっています

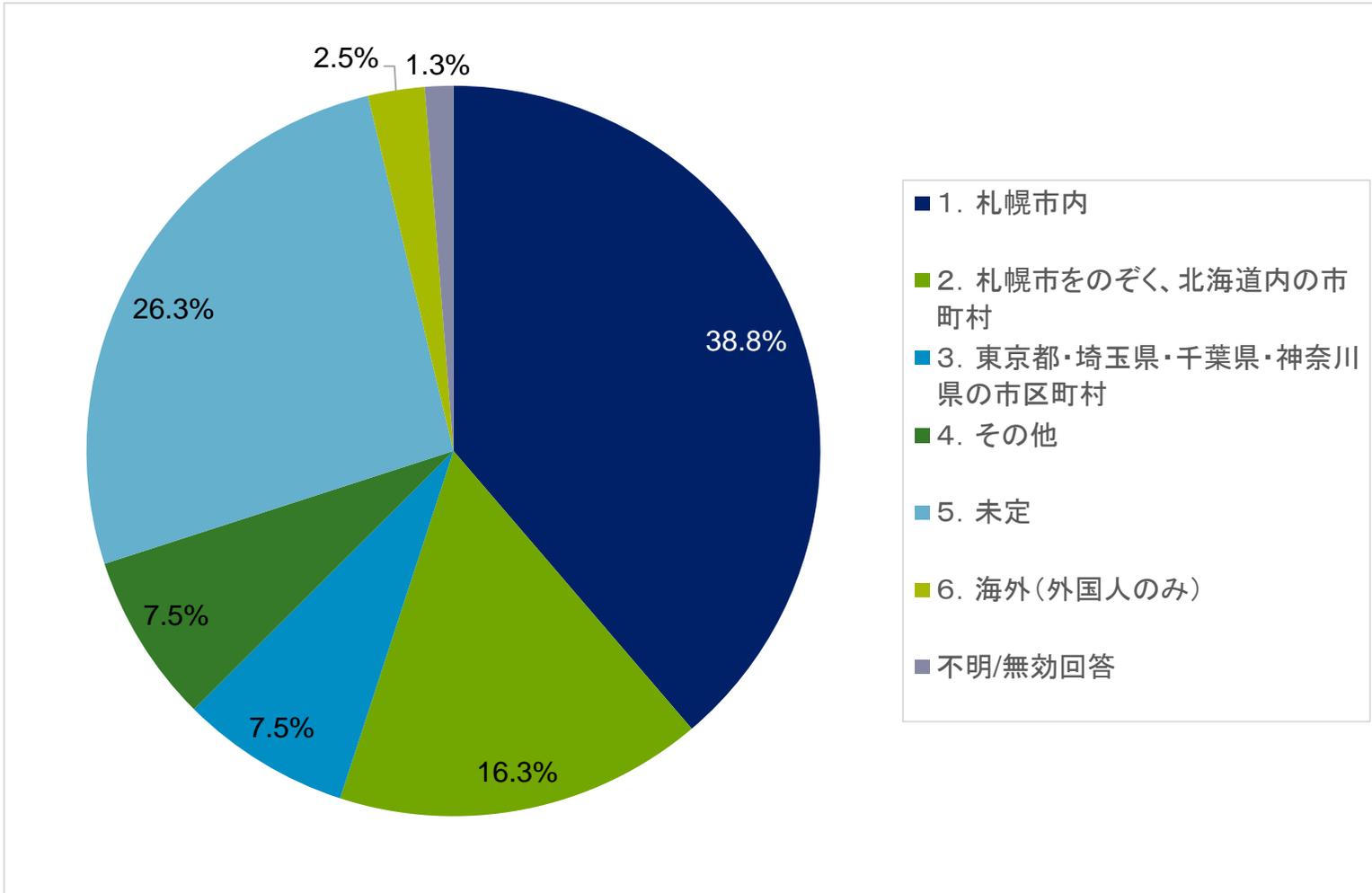
図51 【男女別】今後もニセコ町に住み続けたいか



出所：ニセコ町町民アンケート

【問13-1】「できれば他の市町村に転出したい、転出する予定である」と回答した人が考える転出先としては、「札幌市内」が約4割と最も多くなっています

図52 希望の転出先と考える市町村(問13で3、4を選択した回答者)



出所：ニセコ町町民アンケート

【年齢別】年齢別にみても、どの年齢層でも転出先として札幌市内、札幌を除く道内市町村を希望する人が多くなっています

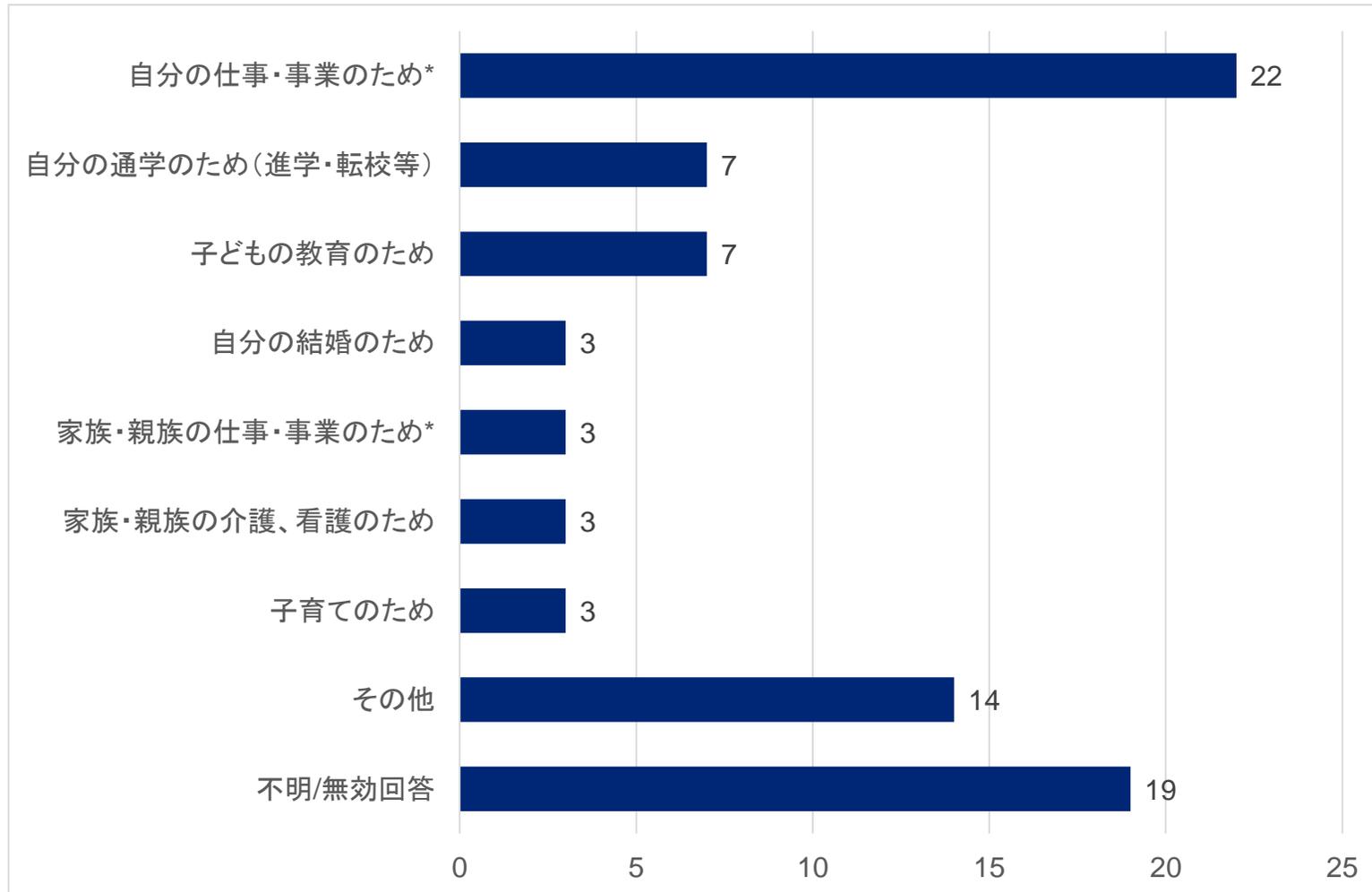
図53 年齢別×転出先

	札幌市内	札幌を除く 道内市町村	東京、埼玉、 千葉、神奈川 の市区町村	海外	その他	未定	不明・無効	合計
15～19歳	6	1	3	0	0	3	0	13
20～24歳	0	1	1	0	1	0	0	3
25～29歳	5	0	0	0	0	1	0	6
30～34歳	4	1	0	1	1	2	0	9
35～39歳	6	2	1	1	1	3	0	14
40～44歳	5	5	1	0	2	9	1	23
45～49歳	2	3	0	0	0	1	0	6
50～54歳	1	0	0	0	0	0	0	1

出所：ニセコ町町民アンケート

【問13-2】転出を考える、又は転出を決めた理由としては、「自分の仕事・事業のため*」が最も多くなっています

図54 転出を考える、又は転出を決めた理由(問13で3、4を選択した回答者)



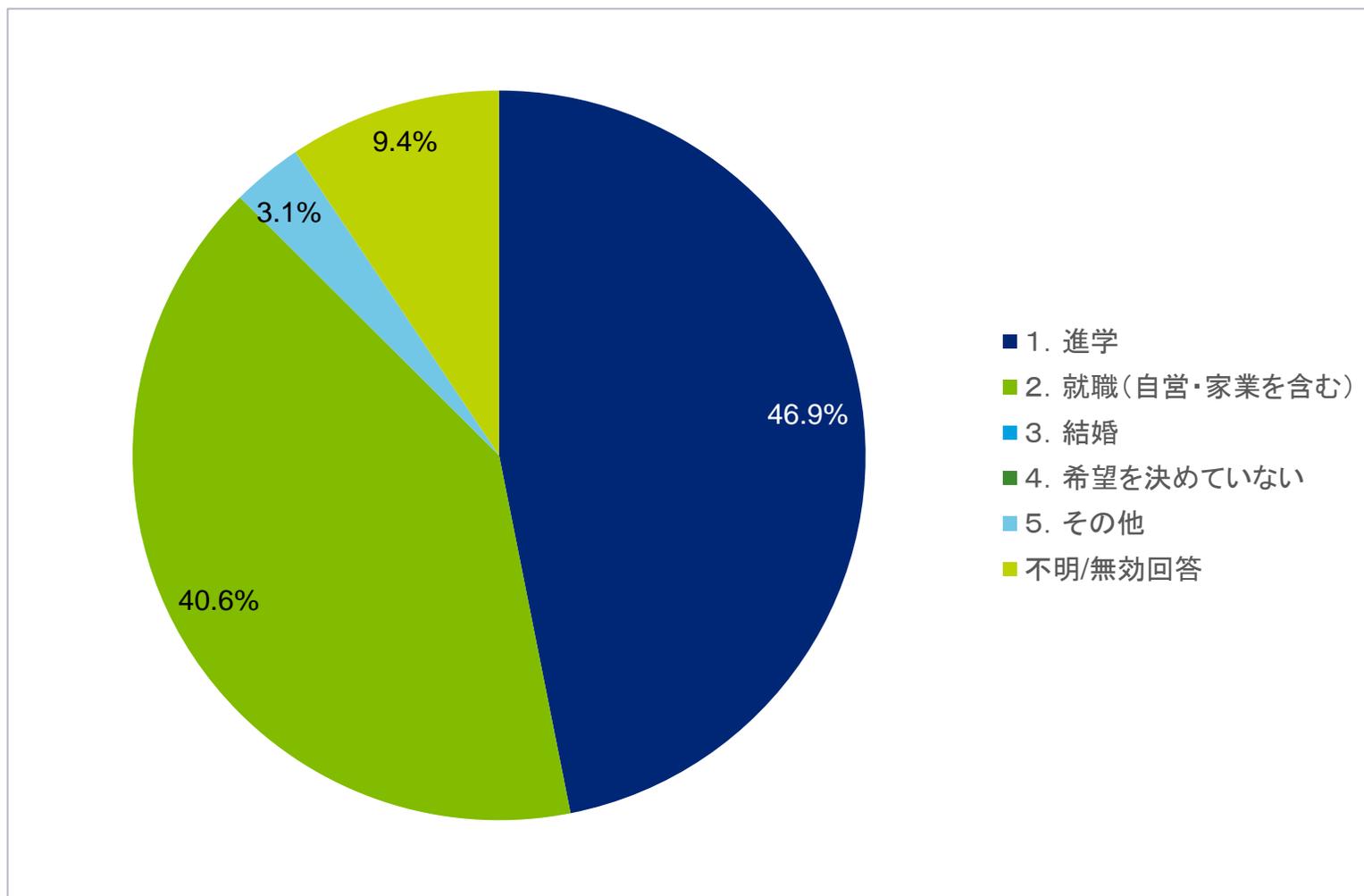
* 就職・起業・転職・退職・転勤等

出所: ニセコ町町民アンケート

**(7) 学生向け部分について
【問14～問18】**

【問14】卒業後の進路希望について、「進学」を希望する学生が最も多く、次に「就職(自営・家業を含む)」が多くなっています

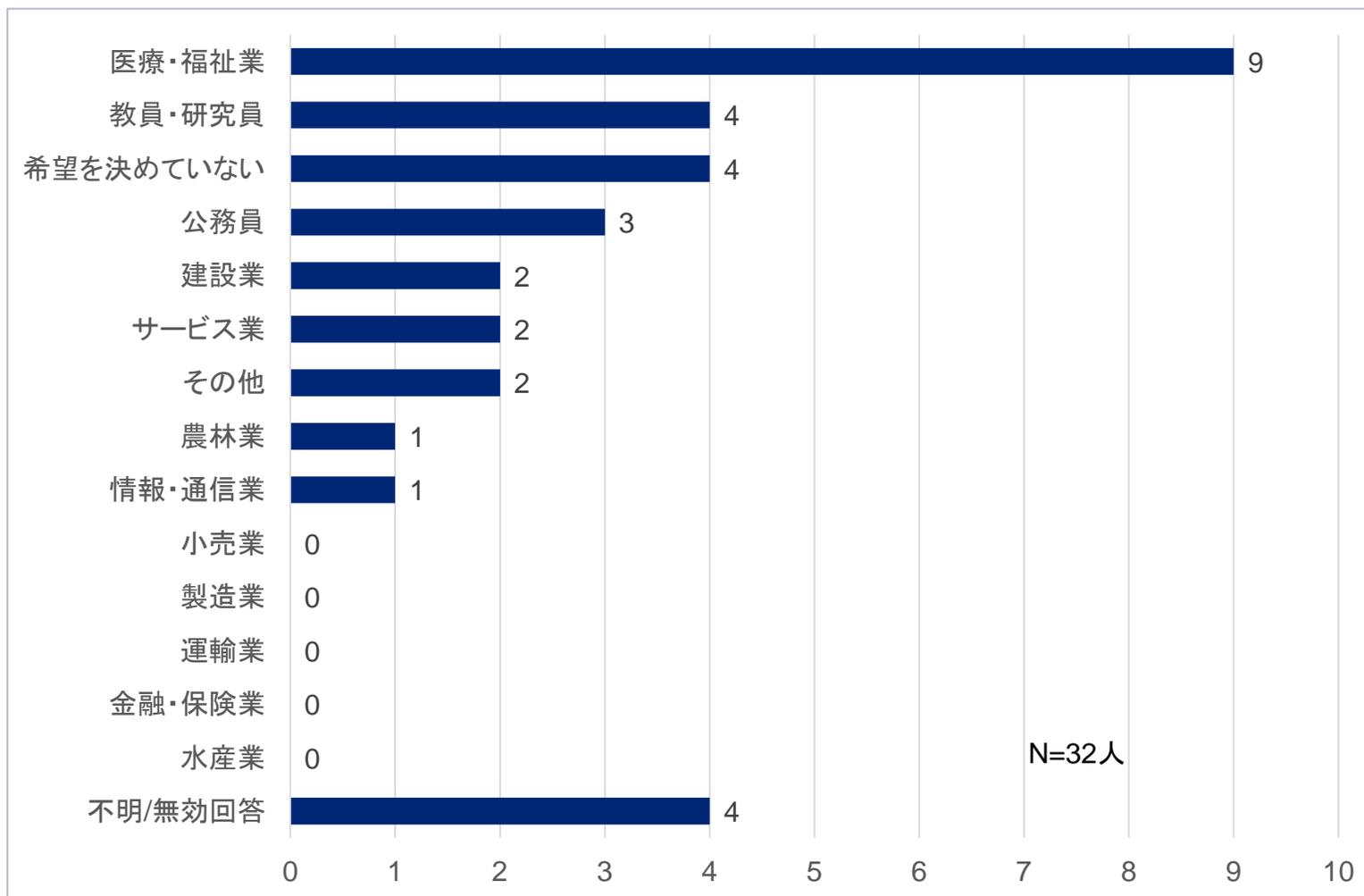
図55 卒業後の進路希望について



出所：ニセコ町町民アンケート

【問15】将来の希望職種について、「医療・福祉業」を希望する学生が最も多くなっています

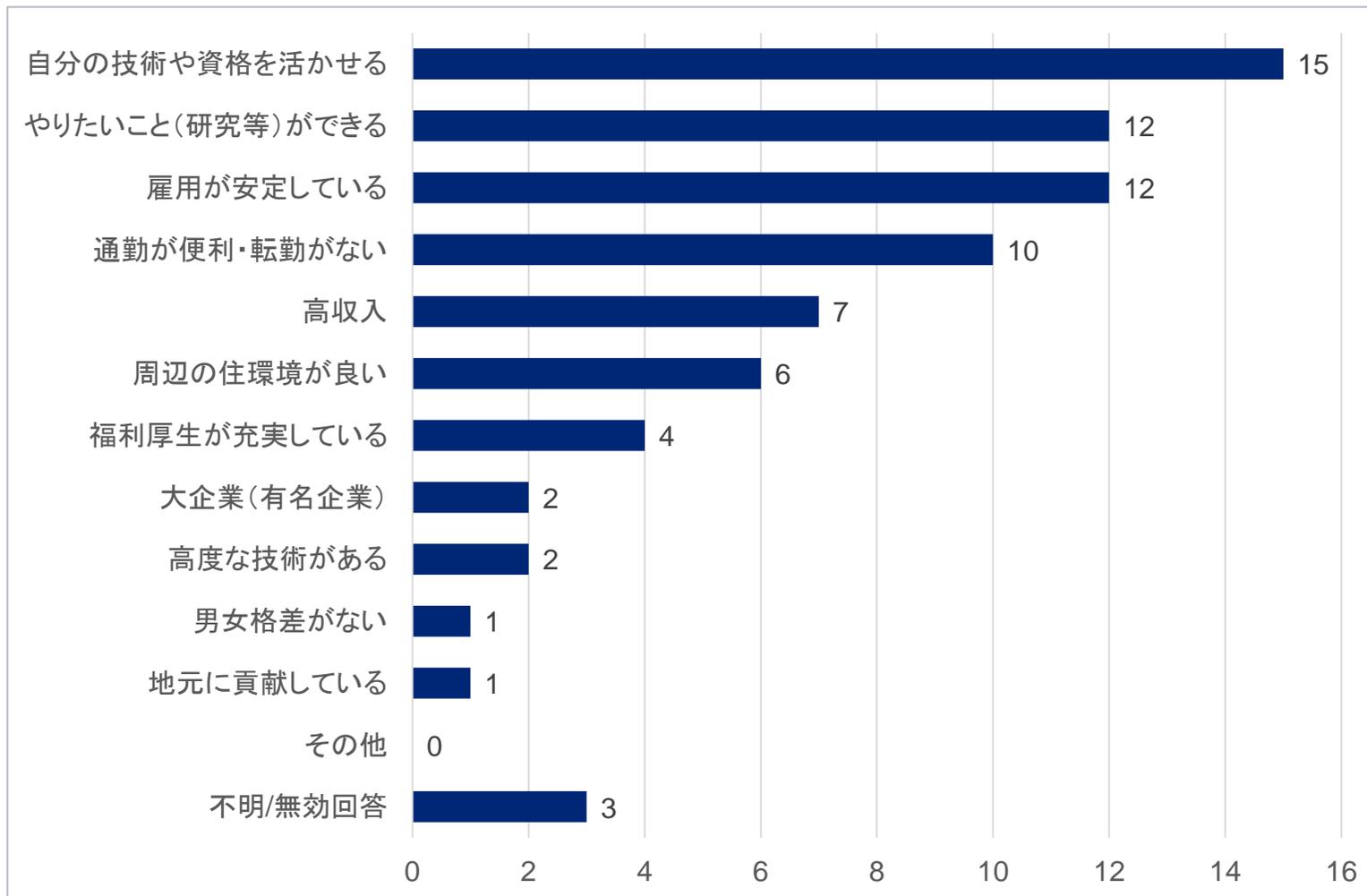
図56 将来の希望職種について



出所：ニセコ町町民アンケート

【問16】就職希望企業を選択する条件としては、「自分の技術や資格を活かせる」が最も多くなっています

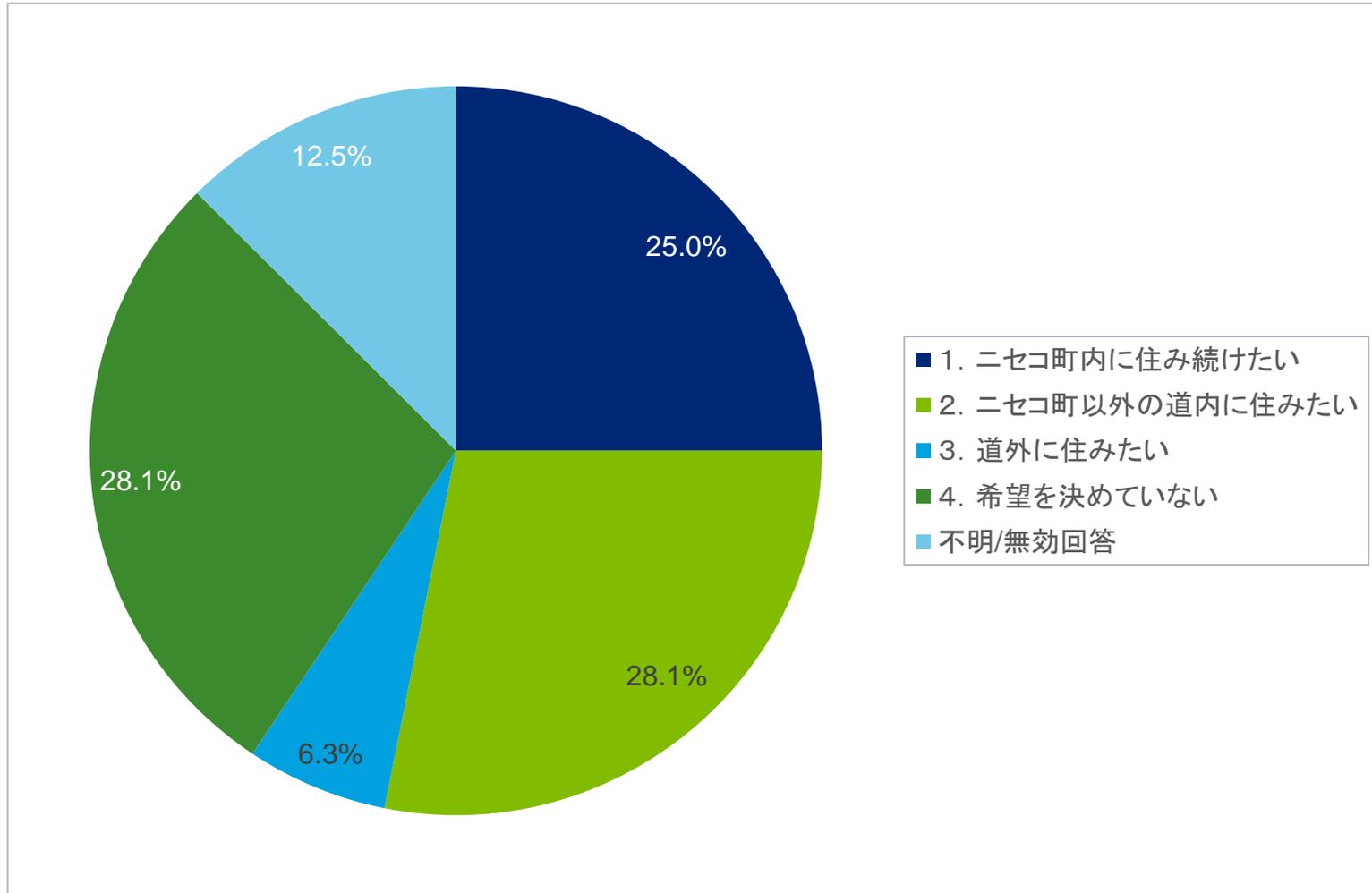
図57 就職希望企業を選択する際の条件について(3つまで回答可)



出所：ニセコ町町民アンケート

【問17】卒業後の居住希望地として、「ニセコ町内に住み続けたい」と回答している学生は、4人に1人となっています

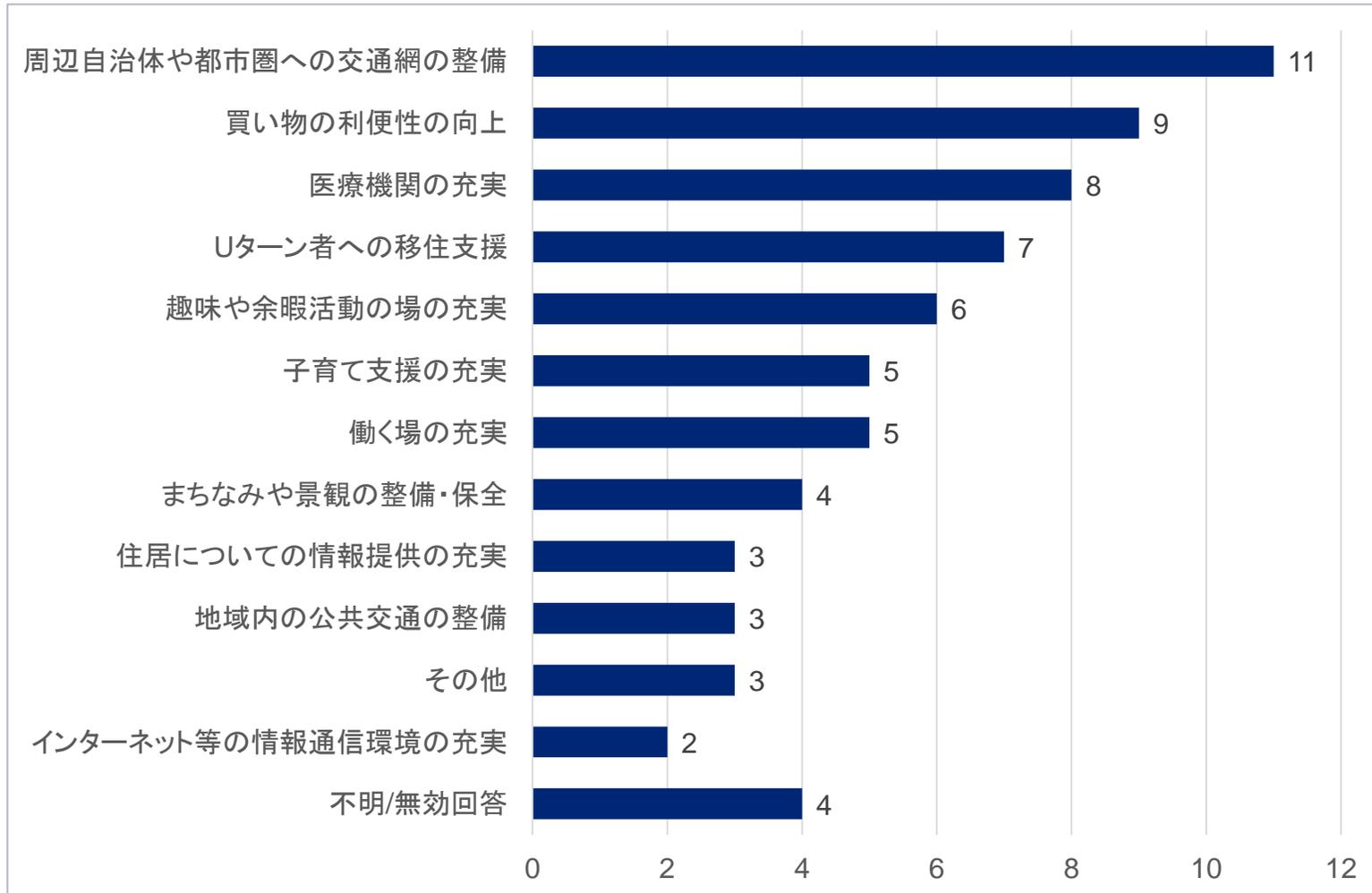
図58 卒業後の居住希望地について



出所：ニセコ町町民アンケート

【問18】学生が考える、ニセコ町に住み続けたり、将来戻ってきたりするために必要なこととして、「周辺自治体や都市圏への交通網の整備」が最も多くなっています

図59 卒業後ニセコ町に住み続けたり、将来戻ってきたりするために必要なこと(3つまで回答可)



出所：ニセコ町町民アンケート